目次へ 戻る 次へ 索引へ 検索する

SPEEDIA V1500

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

プリンタを設置・操作する前に必ずお読みください。
また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

CASIO

安全上のご注意

製品を設置・ご使用になる前に必ずお読みください。

このたびは、SPEEDIA V1500シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この「取扱説明書」は、SPEEDIA V1500シリーズを安全に正しくご使用いただくためにプリンタの正しい使いかた・点検・不具合が起きたときの処置のしかたなどについて説明したものです。プリンタをご使用の前に必ずお読みください。ご使用中もお手元に置いてご利用いただけるよう、印刷してご使用ください。サーバーをご使用の場合は、本CD-ROMのデータを共有フォルダにコピーして、プリンタをご使用になる方全員が参照できるようにしておくことをおすすめします。

本書の適用機種：SPEEDIA V1500

注意表示について

本製品は内部に高温・高電圧部品を使用しています。お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、本書では、製品の取り扱いを誤ったときに生じる危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに、次のような注意表示をしています。

⚠警告　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う事があります。

⚠注意　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うまたは、財産に損害を与える事があります。

絵表示について

本書にはさらに次のような絵表示をしています。

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。
左の例は、高電圧部分につき注意が必要なことを意味します。

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。
左の例は、分解禁止を意味します。

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。左の例は電源プラグをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

⚠警告

<電源に関する警告>

AC100V、50/60Hz、15A以上の専用コンセント以外には接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

電源プラグやコンセント及び、プリンタ側の差し込み口(インレット)に付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、発熱や火災の原因になる事があります。

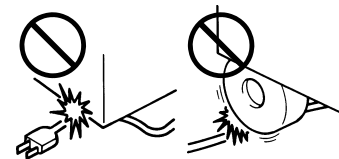
アース線を第３種接地工事をしたアース端子に接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災・感電の恐れがあります。アース接続ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管(引火や爆発の恐れがあります。)
- 電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れて危険です。)
- 水道管(配管の途中がプラスチック等になっている事が多いため、アースの役割を果たしません。)

タコ足配線や電源コードの継ぎ足し(容量不足の延長コード)は使用しないでください。また、パソコン等の補助コンセントには接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

⚠警告

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重たいものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災・感電の恐れがあります。電源コードに傷や亀裂が付いたときは、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡し、新しい電源コードに交換してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

プリンタの電源スイッチをONにしたままプラグを抜き差ししないでください。プラグが変質し、火災の原因になる事があります。

<製品の取り扱いに関する警告>

製品の上に水の入った容器(コップ・花瓶・植木鉢など)や金属物(クリップ・ホチキスの針等)を置かないでください。こぼれたり、製品の中に入った場合、火災・感電の恐れがあります。万一製品の中に異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠警告

万一製品から煙が出ている、変な臭いや異音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。お客様による修理や注油は危険ですので絶対にしないでください。

製品を分解・改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。製品の調整・点検の際は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠注意

<電源に関する注意>

アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り付けてください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから取り外してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になる事があります。

電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。発熱や火災の原因になることがあります。

⚠注意

本製品を移動するときや、お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や、電源コードが傷ついて火災の原因になる事があります。

連休などで、本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

パソコンと同じコンセントを使用すると、パソコンの画面がちらついたり、誤動作によりパソコンのデータが消える事があります。プリンタの電源コードをパソコンと別の専用コンセントに差し替えてください。

<設置場所に関する注意>

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になる事があります。
プリンタ本体は床から35cm以上離して設置してください。

安全のため次の温度や湿度を満足する場所に設置してください。
　周囲温度：10〜32℃
　周囲湿度：20〜80%RH(相対湿度)

- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器又は静電気防止マットなどを使用してください。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物(強燃性スプレー等)やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には設置しないでください。火災の原因になる事があります。

⚠注意

狭い部屋で長時間使用するときは、換気にご注意ください。プリンタの排気が直接人に当たらないように設置してください。気分が悪くなることがあります。また、カーテンや衣類等に長期間排気が当たらないようにしてください。汚れ(シミ)が付くことがあります。

製品の通風口をふさがないでください。通風口をふさいだまま使用すると、製品内部の温度が上昇して、火災の原因になる恐れがあります。

キャスターが付いた台の上に設置するときは、必ずキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になる事があります。

大切な家具などの上に設置しないでください。長時間同じ場所に設置しておくと、製品のゴム足が設置した場所に付着して汚す事があります。

テレビやラジオの近くに設置しないでください。受信障害の原因になる事があります。

<製品の取り扱いに関する注意>

シェルは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする事があります。シェルを閉めるときは必ず周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

用紙排出口付近の定着ユニットは高温になりますので手を触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

詰まった用紙を取り除いたり、消耗品を交換するときなどはプリンタの突起部に触れてけがをしないようにご注意ください。

詰まった用紙を取り除くときは、内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったまま使用すると火災の原因になる事があります。
なお、用紙が定着ユニットの内部に残って取り除けないときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、お買い求めの販売店にご連絡ください。

製品内部の電極や金属部品に手を触れないでください。感電の恐れがあります。製品のお手入れは、必ず電源スイッチを切ってから行なってください。

布のカバーなどを掛ける場合は、電源を切った後、製品の内部が十分冷えきってから掛けてください。製品の内部が熱いうちに掛けると、火災の原因になる事があります。

トナーやドラムに毒性はありませんが、トナーが手や皮膚についたときはすぐに洗い流してください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流し、眼科医の診療を受けてください。

消耗品の交換の際は、トナーで周囲を汚さないように紙などを敷いて行なってください。万一トナーが衣服に付いたときは、ぬらさずに、掃除機で吸い取ってください。

⚠注意

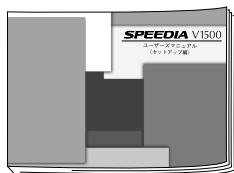
<持ち運び・廃棄に関する注意>

製品を持ち運ぶ際は必ず2人以上で運んでください。図のように製品の取っ手をしっかりと持って、静かに持ち上げます。腰を傷めたり、製品を落としてけがをしないように十分ご注意ください。製品重量は、約25kgあります。
オプションの拡張ペーパフィーダや両面印刷装置をご使用のときは、本体から取り外して別々に運んでください。

使用済みの消耗品は焼却しないでください。一部可燃性の材料を使用しているため、火災・やけど・ガスの発生などで思わぬ事故の原因になります。カシオは地球環境保護のために、使用済みのドラムセットとトナーセットを無償で回収しています。詳しくは別売のドラムセットまたはトナーセットに同梱されている案内書をご覧ください。やむを得ず廃棄する場合は、一般の不燃物(廃プラスチック・金属)扱いで廃棄してください。なお、地方自治体の条例により廃棄・分別の方法が指定されている場合はそれに従って廃棄してください。

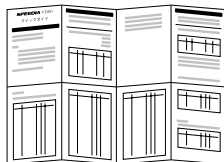
マニュアルの構成

本製品には、次の説明書とCD-ROMマニュアルが付属しています。

ユーザーズマニュアル(セットアップ編)…本書

必ずお読みください。
プリンタの設置からプリンタドライバのインストールまでの手順、操作パネルの表示、基本的な印刷、消耗品の交換などが記載されています。

プリンタソフトウェアCD-ROM内に収録(PDFマニュアル)

- ユーザーズマニュアル(応用編)
  カラー調整などの各種ユーティリティ、拡大印刷や製本印刷などさまざまな機能の使い方を説明しています。
- ユーザーズマニュアル(セットアップ編)
  本書の内容をPDF形式で収録してあります。

クイックガイド

用紙の設定、操作パネルのメッセージ、紙づまりの対処方法が記載されています。専用袋に入れ、プリンタに貼り付けてご使用ください。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- SPEEDIA V1500 → V1500
- Microsoft® Windows® Server 2003 operating system日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows2000の総称 → Windows

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「JIS C 61000-3-2適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

商標について

SPEEDIAはカシオ計算機株式会社の商標です。
CASIO®はカシオ計算機株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
TrueTypeは、米国Apple Computer Inc.の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Adobe、PostScriptおよびReaderは、米国及びその他の国々で登録されたAdobe Systems Incorporatedの登録商標または商標です。
Scalable FontはAgfa Monotype Corporationからライセンスされています。
CG OmegaはAgfa Monotype Corporationの製品です。
CG TimesはThe Monotype CorporationのライセンスをうけたTimes New Romanを基にしたAgfa Monotype Corporationの製品です。
TaffyはAdobe Tekton Regularに対応するAgfa Monotype Corporationの製品です。
CandidはAdobe Cartaに対応するAgfa Monotype Corporationの製品です。
CG、Candid、TaffyはAgfa Monotype Corporationの各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、TimesはLinotype-Hell AGあるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf DingbatsはInternational Typeface Corporationの各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill SansはThe Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
WingdingsはMicrosoft Corporationの各国での登録商標または商標です。
AgfaからライセンスされたMarigoldはArthur Bakerの各国での登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

Windows x64対応について

本プリンタはWindows XP x64 Edition / Server 2003 x64 Edition環境でもご使用頂けるようになりましたが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

1. セットアッププログラムでのプリンタドライバのセットアップはできません。
2. 各種ユーティリティは使用できません。
3. TCP/IPを利用したネットワーク印刷は、「Standard TCP/IP Port」を使用してください。

詳しいセットアップ方法は、CD-ROM内に収録のREADME.TXTをご覧ください。

使用許諾契約

プリンタに付属のCD-ROMに含まれているプログラム(ただし、Adobe Readerは除くものとする)およびドキュメンテーションはカシオ計算機株式会社(以下、カシオ計算機という)が提供するものです。プログラムおよびドキュメンテーション(以下、総称して本ソフトウェアという)をお使いになる前に、以下の項目をお読み下さい。

プログラムをインストールした時点で、お客様は、カシオ計算機との間で本契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応するカシオ計算機プリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを1部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権はカシオ計算機またはカシオ計算機のライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードはカシオ計算機及びカシオ計算機のライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第1条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 譲渡
お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。
(1) 本ソフトウェアに対応するカシオ計算機プリンタと一緒に譲渡する。
(2) 本ソフトウェアのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。
(3) 当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。

4. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、カシオ計算機は、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

5. 保証
(1) カシオ計算機及びカシオ計算機のライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

6. 責任の限定
   カシオ計算機及びカシオ計算機のライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、カシオ計算機がたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。
   また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、カシオ計算機及びカシオ計算機のライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

7. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
   本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
   お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについてカシオ計算機とお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様とカシオ計算機との間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

※Adobe Reader の使用について

Adobe Readerはカシオ計算機がアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

※商標について

Adobe Readerは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
Windows、Windows NT は米国内及び各国で登録されたMicrosoft Corporationの登録商標です。
その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

目　次

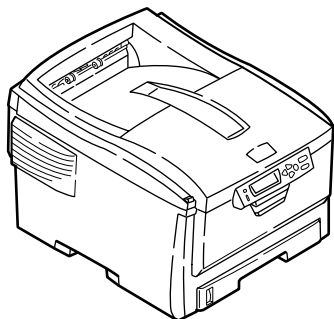
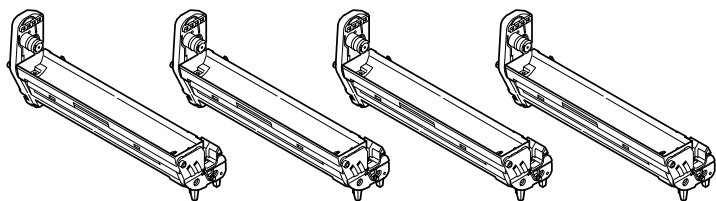
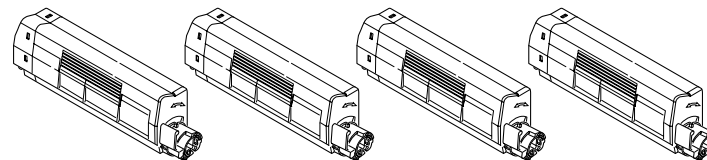
1 プリンタを設置します

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

⚠注意 ケガをするおそれがあります。

このプリンタは重量が約25Kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

□ プリンタ(本体)

□ ドラムセット
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各1個ずつ）

□ スタータトナーセット
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各1個ずつ）

注 スタータトナーセットをドラムセットに取り付けた状態で、プリンタ内部にセットされています。

□ プリンタソフトウェアCD-ROM
□ LEDレンズクリーナ
□ 電源コード
□ 保証書請求用ハガキ
□ ユーザーズマニュアル(セットアップ編)(本書)
□ クイックガイド
□ クイックガイド専用袋

・プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
・梱包箱、緩衝材はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　：　10～32°C
  周囲湿度　：　20～80%RH(相対湿度)
  最大湿球温度　：　25℃
- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

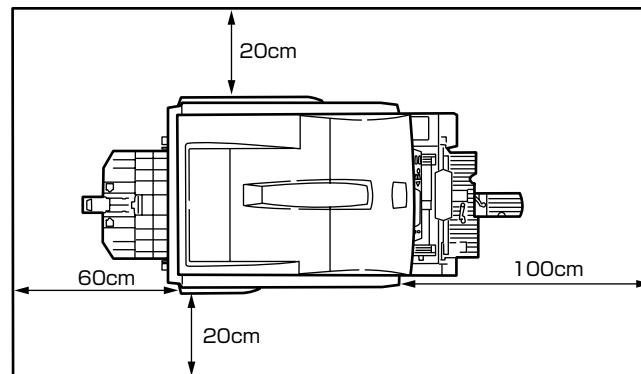
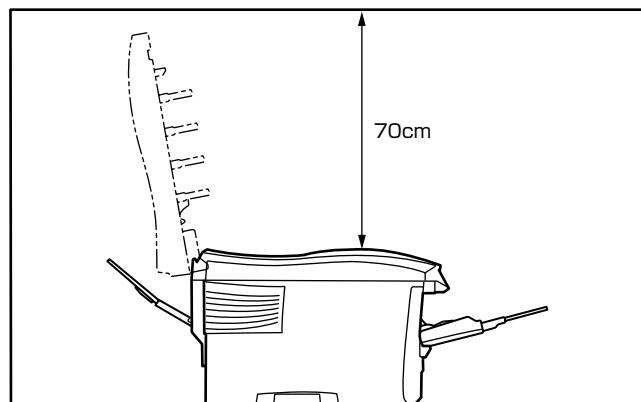
・高温や火気の近くには設置しないでください。
・化学反応を起こすような場所(実験室など)には設置しないでください。
・アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
・小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
・不安定な場所(ぐらついた台や傾いた所など)には設置しないでください。
・湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
・潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
・振動が多い場所には設置しないでください。

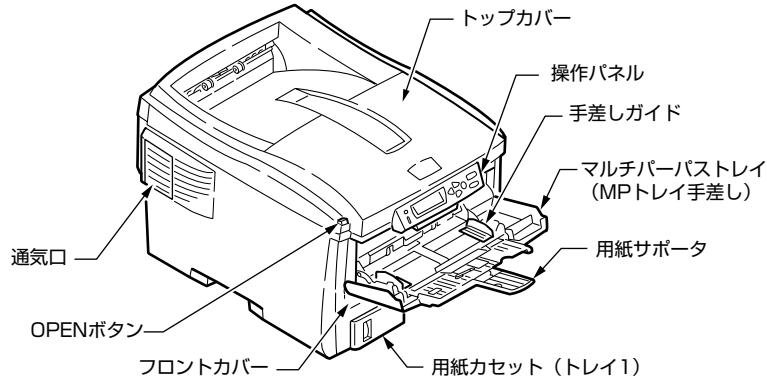
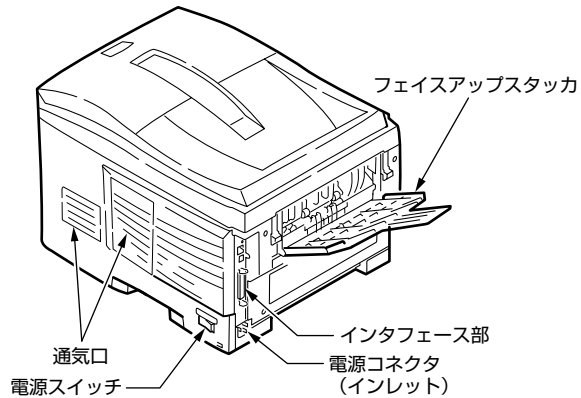
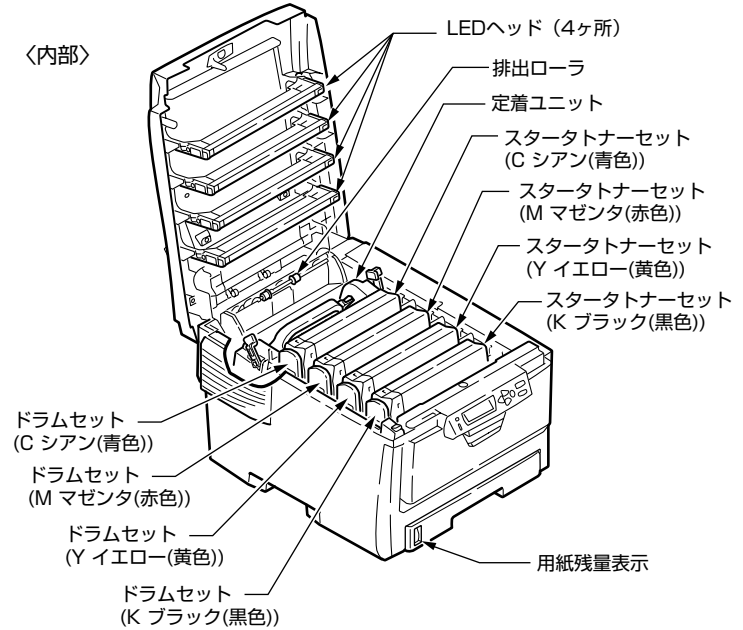
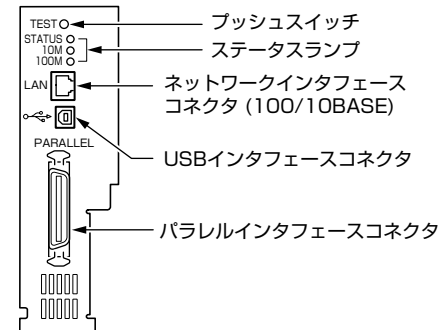
⚠注意

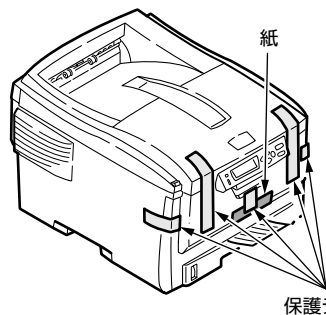
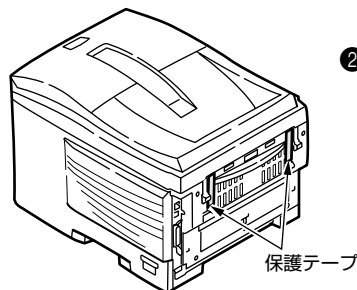
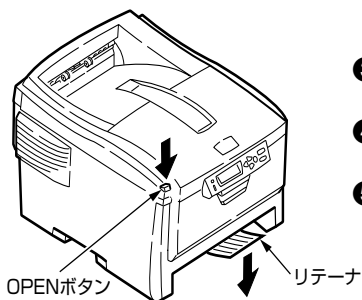
・プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
・毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
・密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
・強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
・モニタやテレビから離して設置してください。
・プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。
・このプリンタは重量が約25kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

設置スペース

- プリンタの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタの周りに十分なスペースを取ってください。

平面図

側面図

プリンタ各部の名前

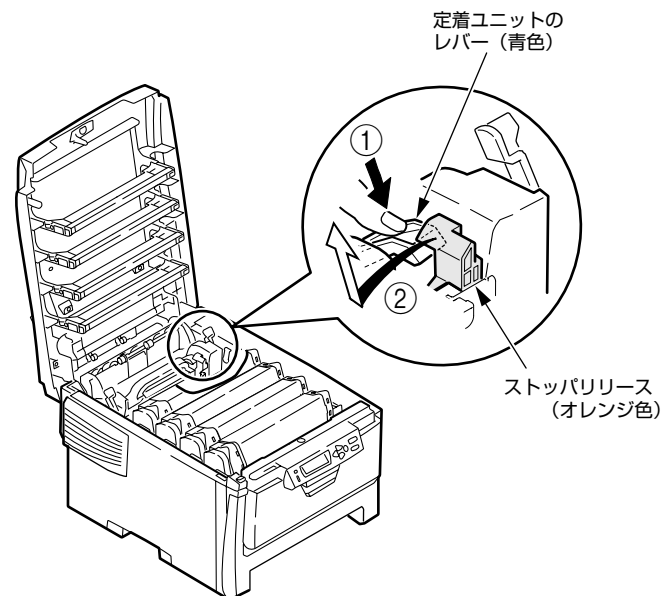
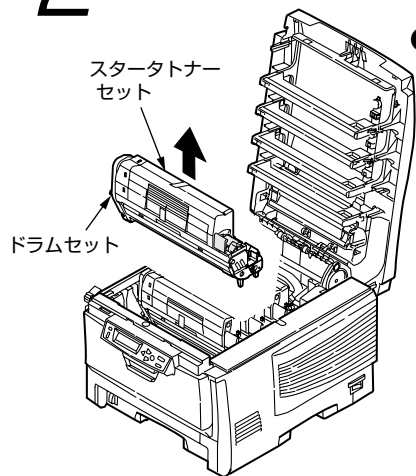
〈正面〉

〈背面〉

〈内部〉

〈インタフェース部〉

付属品を取り付けます

7 保護具を取り外します。

❶プリンタ前面の保護テープ（5ヶ所）と紙をはがします。

❷プリンタ後面の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

❸用紙カセットを抜きます。

❹リテーナを下向きに引き抜きます。

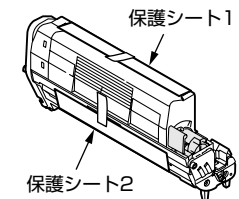
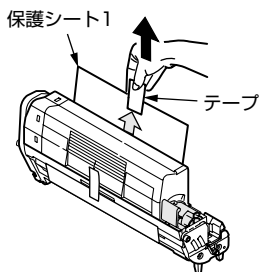
❺OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

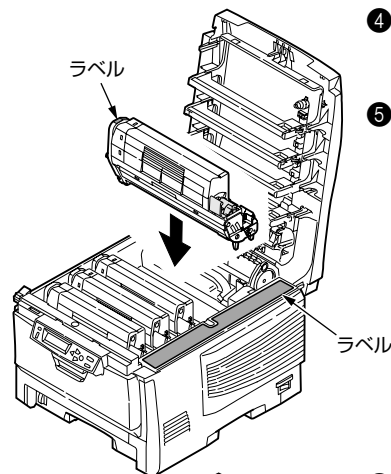
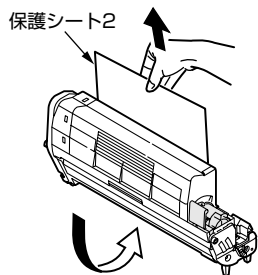
❻定着ユニット のレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパリリース（オレンジ色）を取り外します。

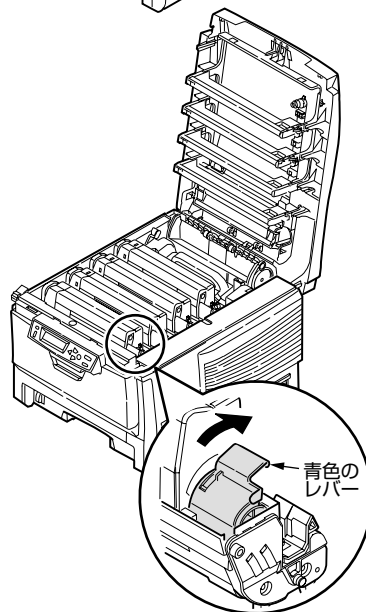
定着ユニットレバー（青色）はバネが強いので、ケガをしないようご注意ください。
ストッパリリースはプリンタを輸送するときに使います。必ず保管してください。

2 ドラムセットをセットします。

❶スタータトナーセットを付けたまま、ドラムセット（4個）を静かに取り出します。

注 ここでは、スタータトナーセットの青いレバーは動かさないでください。

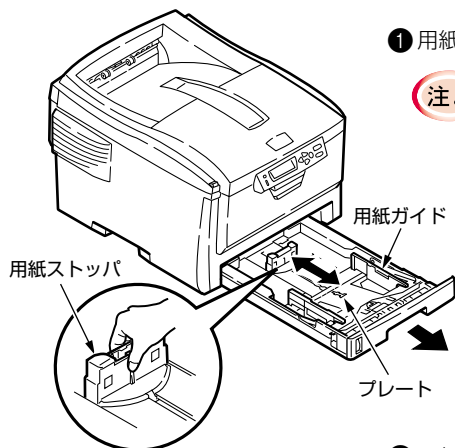
注
・ ドラム(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
・ ドラムセットは、直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも5分以上は放置しないでください。

スタータトナーセット
ドラムセット

❷保護シート１を止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

保護シート1
保護シート2
テープ

❸保護シート２を矢印の方向に引き抜きます。

❹ドラムセットのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせます。

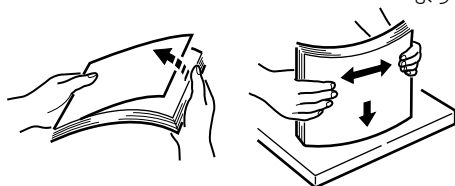
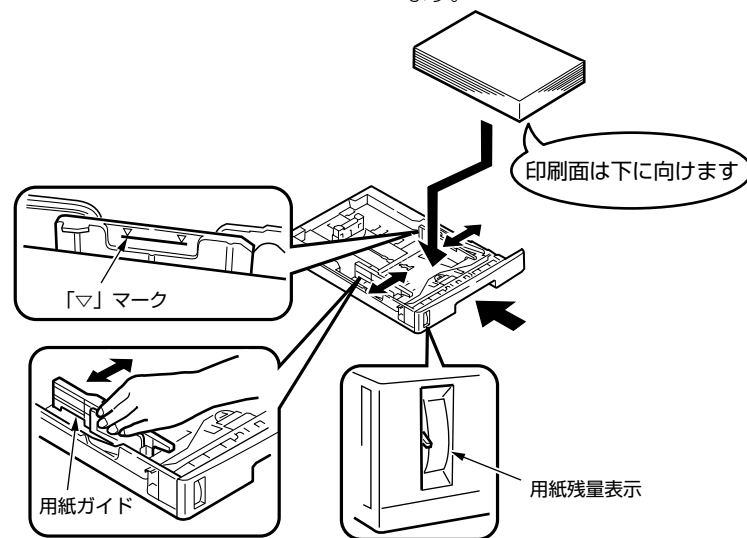
❺ドラムセット（4個）を静かに戻します。

❻トナーセットの青色のレバーを矢印の方向にいっぱいまで回します。

注
・スタータトナーセット(製品購入時に添付されているトナーセット)は、A4, 5%の印刷密度の場合、約1500枚印刷可能です。
・操作パネルの［トナーヲ　コウカンシテクダサイ］の表示がいつまでも消えないときは、トナーセットのレバーが矢印の方向にいっぱいまで動かされているか確認してください。
・別売のトナーセットを使用した後は、スタータトナーセットは使用できなくなります(「5４＊：＊トナーセンサーエラー」表示)。最初にスタータトナーセットを使用し、「トナー　ナシ」になってから、別売のトナーセットをご使用ください。

3 用紙カセットに用紙をセットします。

❶用紙カセットを引き出します。

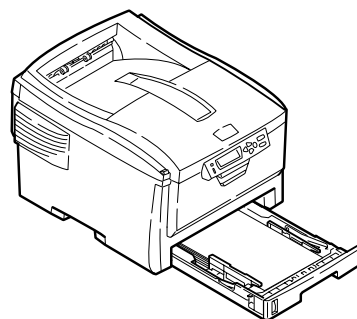
注 用紙カセットを引き抜いて落とさないようご注意ください。安全のために、用紙カセットを取り外して用紙をセットすることをお勧めします。
プレートについているゴムは、はがさないでください。

❷用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

❸用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

メモ 用紙については、6章の「使用できる用紙」(120ページ)を参考にしてください。
プリンタに適していない用紙の場合、プリンタが故障するおそれがあります。

❹印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。(連量70kg（坪量81.4g/m²）紙で300枚)

❺用紙ガイドで用紙を固定します。

❻用紙カセットをプリンタに戻します。

電源を入れます

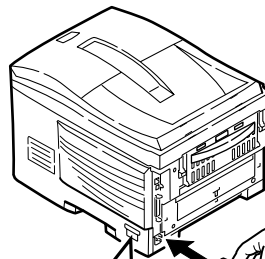
電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流(AC)　：　100V±10%
  電源周波数　：　50Hzまたは60Hz±2Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は950Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- UPS(無停電電源)を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。

警告　火災や感電のおそれがあります。

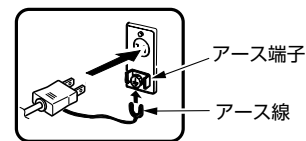
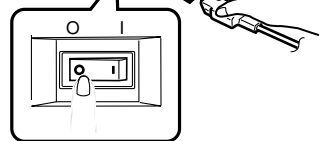
- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。感電、発熱や火災の原因になります。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格15A以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

1 電源コードを接続します。

電源スイッチがOFF(○)になっていることを確認してください。

❶ 電源コードをプリンタに差し込みます。

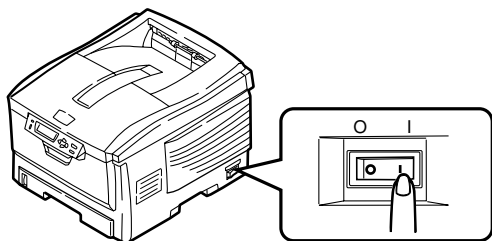
❷ アース線をコンセントのアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

警告　感電のおそれがあります。

必ずアース線を接続してください。

電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。感電、発熱や火災の原因になります。

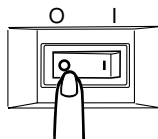
アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り付けてください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから取り外してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になる事があります。
電源プラグやコンセント及び、プリンタ側の差し込み口(インレット)に付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、発熱や火災の原因になります。

2 電源スイッチのON（｜）を押します。

完全に起動すると[オンライン]表示になります。

オンライン	. AUTO トレイ1

電源を切ります

ハードディスク(オプション)を取り付けていない場合は、そのまま電源を切ってください。

印刷中は電源を切らないでください。

ハードディスク(オプション)を取り付けている場合は、いきなり電源を切らずに下記の手順で電源を切ります。

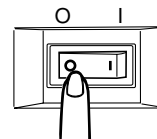
・いきなり電源を切ると、ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。
・[シャットダウン　メニュー]はオプションのハードディスク装着時のみ表示されます。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[シャットダウン　メニュー]を表示します。

❷ 「設定/実行」スイッチを押し、[シャットダウン　スタート/ジッコウ]を表示します。

❸ 「設定/実行」スイッチを押します。

[シャットダウン]と表示され、シャットダウン処理が開始されます。

❹ [デンゲンヲ　キッテクダサイ/シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら、電源スイッチのOFF(O)を押します。

メニューマップ/ステータスページ印刷をします

プリンタが正常に動作することを確認します。

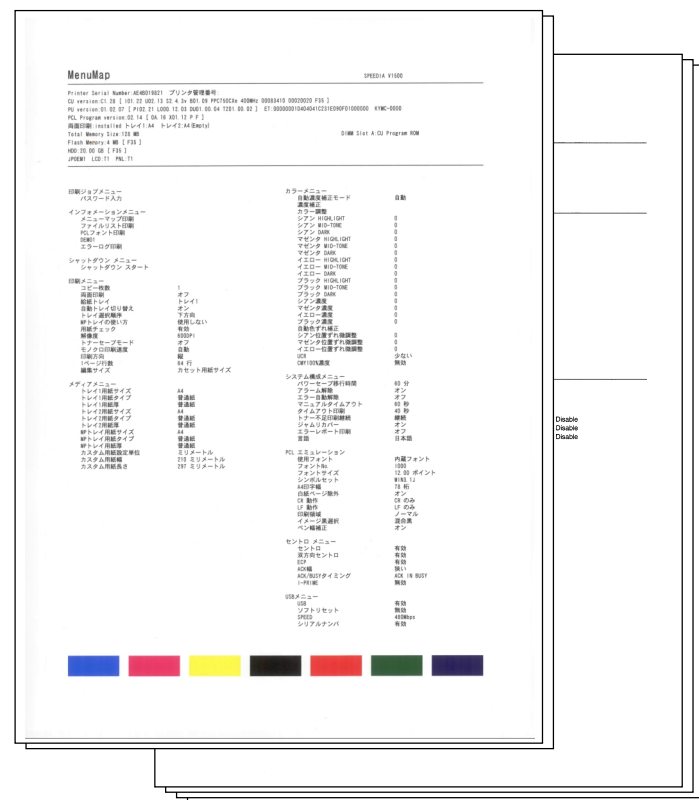
❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[インフォメーション　メニュー]を表示します。

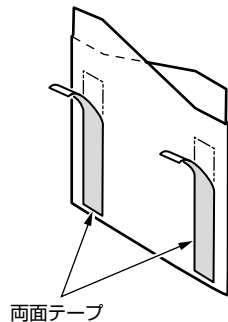
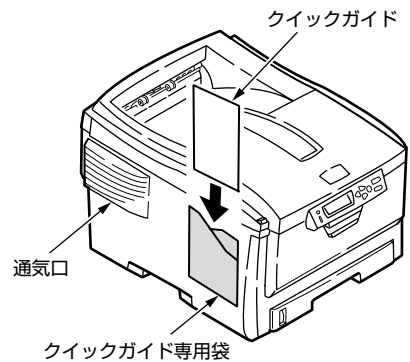
❸ 「設定／実行」スイッチを押し、[メニューマップ　インサツ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

メニューマップ印刷が開始されます。(2枚)
続いてネットワークの設定情報(Network Information)が印刷されます。(4枚)

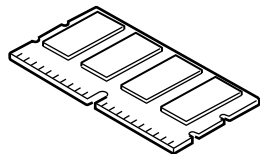
(サンプル)

クイックガイドの収納

クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付け、クイックガイドをしまいます。

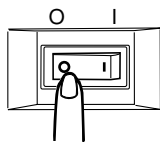
1 クイックガイド専用袋を裏側にして、両面テープ（2ヶ所）をはがします。

2 クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付けます。

注 プリンタの通気口を塞がないように貼り付けてください。

オプション品について

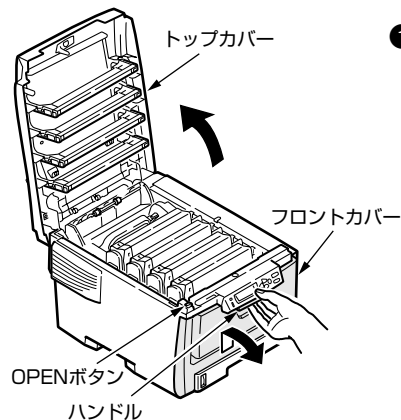
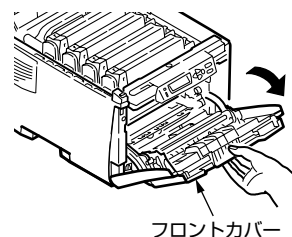
増設メモリモジュール

プリンタのメモリ容量を増やすボードです。複雑なデータでメモリ不足のエラー[メモリーヲ　ツイカシテクダサイ]が発生するときや、部単位印刷で[チョウアイ　エラー]が表示されるときに追加します。

型名	メモリ量（総メモリ量）
なし(標準)	64MB（64MB）
V15-SDR64M	+64MB（128MB）

・必ずカシオ計算機純正品を使用してください。カシオ計算機純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
・両面印刷や製本印刷・長尺印刷を行う場合は、64MB増設メモリモジュールの追加を推奨します。
・メモリ用スロットは1スロットです。

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源をONのまま取り付けると、プリンタまたは増設メモリモジュールが故障するおそれがあります。

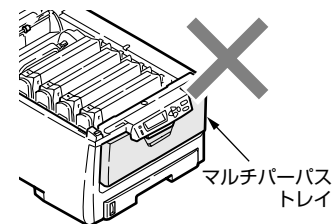
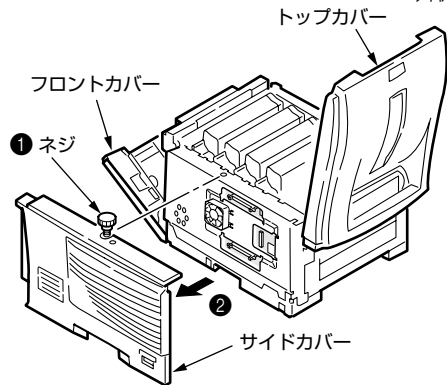
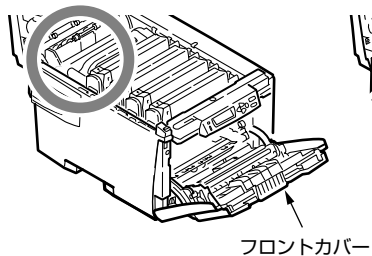
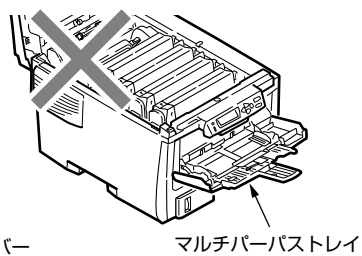
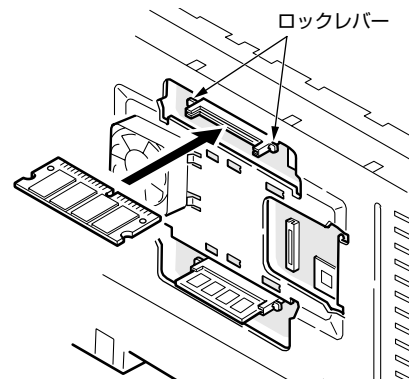
ハードディスク(オプション)が付いているプリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

❶ OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

❷ フロントカバー中央のハンドルを押し上げ、フロントカバーを手前に開きます。

注 マルチパーパストレイとは開け方が異なります。(下図を参照)

3 サイドカバーを外します。

❶ネジ（1 ケ所）をゆるめます。

❷サイドカバーを外します。
サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

メモ サイドカバーが外れない場合は、フロントカバーが開いているか確認してください。

【フロントカバーが開いた状態】　【マルチパーパストレイが開いた状態】

4 メモリを取り付けます。

❶メモリを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

❷空きスロットにメモリを差し込みます。

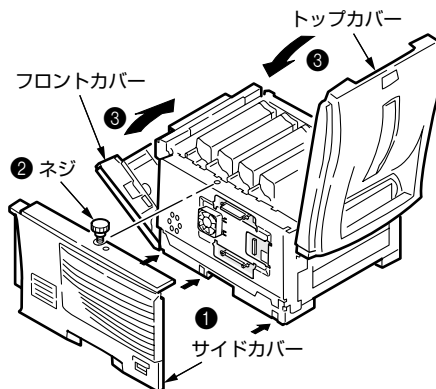
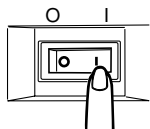
❸左右のロックレバーで確実に固定されていることを確認します。

- 電子部品やコネクタ端子には触らないでください。
- メモリの向きにご注意ください。メモリの端子部には切り欠き部分があり、スロットのコネクタと勘合するようになっています。

5 サイドカバーを取り付けます。

❶ サイドカバー下側のツメ（3 本）をプリンタの穴に差し込みながら、サイドカバーを取り付けます。

❷ ネジ（1 ケ所）で固定します。

❸ トップカバーとフロントカバーを閉じます。

6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

注 [サービスコール031 ：エラー]が表示された場合は、メモリを取り付け直してください。

7 メニューマップ/ステータスページ印刷を行い、増設メモリモジュールが正しく取り付けられていることを確認します。

```
MenuMap

Printer Serial Number:3227B52JN1P0
CU version:V1.02 [ I01.03 U02.08 S2.
PU version:01.00.02 [ PI02.21 L000.1
PCL Program version:02.06 [ 0A.16 X0
PSE Program version:3010, PSE83 00.0
両面印刷:uninstalled トレイ1:A4
Total Memory Size:128 MB
Flash Memory:4 MB [ F35 ]
HDD:10.06 GB [ F35 ]
JP1  LCD:T1  PNL:T1  DPR:1.3 32
```

❶ メニューマップ / ステータスページ印刷をします。

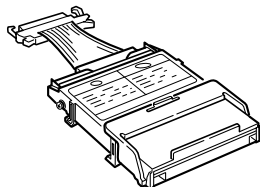
詳しくは「メニューマップ/ステータスページ印刷をします」(25ページ) をご覧ください。

❷ ヘッダ部分の「Total Memory Size」に表示される総メモリ量を確認します。

Total Memory Size の容量が正しく表示されない場合は、メモリを取り付け直してください。

ハードディスク

プリンタに追加するハードディスクです。確認印刷、認証印刷、印刷ジョブの保存、バッファ印刷を行う場合や、部単位印刷で[チョウアイ　エラー]が表示されるときに使用します。フォントをダウンロードすることはできません。

ハードディスクを装着した場合はシャットダウンメニューを実行して電源を切ってください。いきなり電源を切ると、ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。

型名：V15-HDD

メモ　ハードディスクは、「PCL」、「キョウツウ」および「PSE」の3つのパーティションに分割されており、出荷時またはハードディスク初期化時には各パーティションのサイズは下記のように割り当てられます。

PCL	20%
キョウツウ	79%
PSE	1%

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

O　I

2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

❶ OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

❷ フロントカバー中央のハンドルを押し上げ、フロントカバーを手前に開きます。

注 マルチパーパストレイとは開け方が異なります。（下図を参照）

3 サイドカバーを外します。

❶ネジ（1ケ所）をゆるめます。

❷サイドカバーを外します。
サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

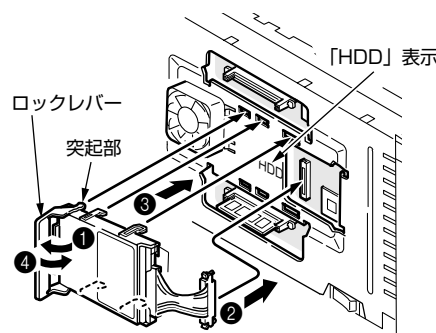
メモ　サイドカバーが外れない場合は、フロントカバーが開いているか確認してください。

4 ハードディスクを取り付けます。

❶ハードディスクのロックレバーを引き起こします。

❷ハードディスクを持ち、コントロール基板上のコネクタにケーブルを差し込みます。

❸「HDD」の表示のラインに合わせてハードディスクをセットします。

❹ロックレバーをカチッと音がするまで倒します。

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

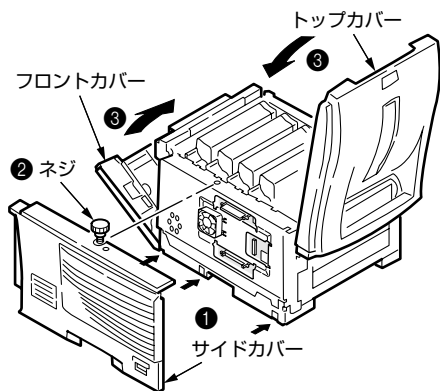
1

オプション品について

5 サイドカバーを取り付けます。

❶ サイドカバー下側のツメ（3本）をプリンタの穴に差し込みながら、サイドカバーを取り付けます。

❷ ネジ（1ケ所）で固定します。

❸ トップカバーとフロントカバーを閉じます。

6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

7 メニューマップ印刷を行い、ハードディスクが正しく取り付けられていることを確認します。

MenuMap

Printer Serial Number:3227B52JN1P0
CU version:V1.02 [I01.03 U02.08 S2.4
PU version:01.00.02 [PI02.21 L000.12
PCL Program version:02.06 [0A.16 X01
PSE Program version:3010, PSE83 00.01
両面印刷:uninstalled トレイ1:A4
Total Memory Size:128 MB
Flash Memory:4 MB [F35]
HDD:10.06 GB [F35]
JPT LCD:T1 PNL:T1 DPR:1.3 32

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ/ステータスページ印刷をします」(25ページ) をご覧ください。

❷「HDD」にハードディスクの容量が表示されていることを確認します。

ハードディスクの容量は、左図の例とは異なる場合があります。

HDDの容量が表示されない場合は、ハードディスクを取り付け直してください。

続けて、プリンタドライバでハードディスクを認識させるための設定が必要です。

プリンタドライバをセットアップしていない場合は、3章〜5章を参照して、プリンタドライバをセットアップした後、次ページ以降の手順で設定してください。

8 プリンタドライバで［ハードディスク］を設定します。

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。

（WindowsXPの画面）

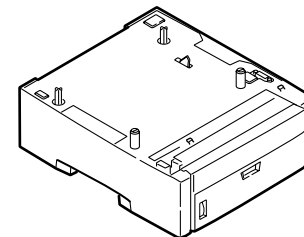
❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003 では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷［CASIO SPEEDIA V1500］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［ハードディスク］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

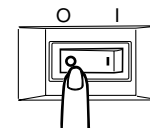
拡張ペーパフィーダセット

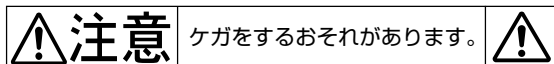
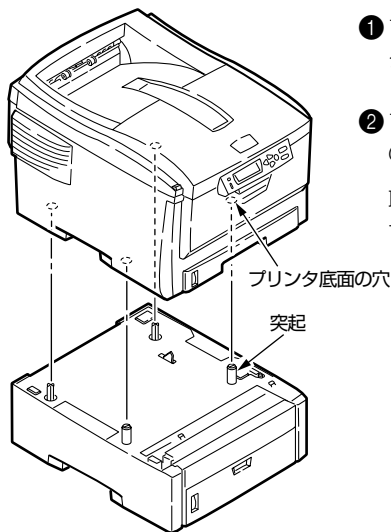
プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイです。トレイ2と呼ぶことがあります。連量70kg（坪量81.4g/m²）紙の場合530枚セットでき、標準の用紙カセット、マルチパーパストレイと合わせて930枚を連続して印刷できるようになります。

・A6用紙は使用できません。

型名：V15-CPF

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

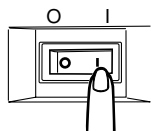
電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

ハードディスク（オプション）が付いているプリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（24ページ）をご覧ください。

2 プリンタを拡張ペーパフィーダセットに載せます。

⚠注意 ケガをするおそれがあります。

このプリンタは約25kg あります。2人以上で持ち上げてください。

❶ プリンタ底面の穴と拡張ペーパフィーダセットの突起を合わせます。

❷ プリンタを拡張ペーパフィーダセットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

3 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

[サービスコール182：エラー]が表示された場合は、拡張ペーパフィーダセットを取り付け直してください。

4 メニューマップ印刷を行い､拡張ペーパフィーダセットが正しく取り付けられていることを確認します。

```
MenuMap
Printer Serial Number:3227B52JN1P0  プリンタ
CU version:V1.02 [ I01.03 U02.08 S2.4.2c B01.
PU version:01.00.02 [ PI02.21 L000.12.03 T201
PCL Program version:02.06 [ 0A.16 X01.06 P F
PSE Program version:3010, PSE83 00.01
両面印刷:uninstalled トレイ1:A4  トレイ2:A4
Total Memory Size:64 MB
Flash Memory:4 MB [ F35 ]
HDD:uninstalled
JP1  LCD:T1  PNL:T1  DPR:1.3 32
```

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ/ステータスページ印刷をします」(25ページ) をご覧ください。

❷ ヘッダ部分に「トレイ2」が表示されていることを確認します。

トレイ2が表示されない場合は、拡張ペーパフィーダセットを取り付け直してください。

5 プリンタドライバでトレイの数を設定します。

プリンタドライバで拡張ペーパフィーダセットを認識させるための設定が必要です。
プリンタドライバをセットアップしていない場合は、3章～5章を参照し、プリンタドライバをセットアップしてから以下の設定を行ってください。

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。(Windows XP では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] をクリックします。Windows Server2003 では [スタート] - [設定] - [プリンタと FAX] を選択します。)

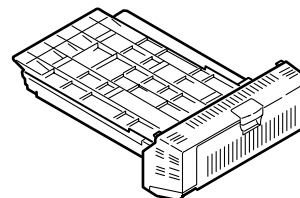
❷ [CASIO SPEEDIA V1500] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [デバイスオプション] タブの [利用可能な装置] の [トレイ数] で現在のトレイの総数を入力し、[OK] をクリックします。

メモ TCP/IP でネットワーク接続をしている場合、[プリンタの情報を取得する] をクリックすると、自動的に設定されます。

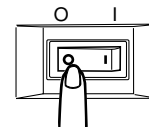
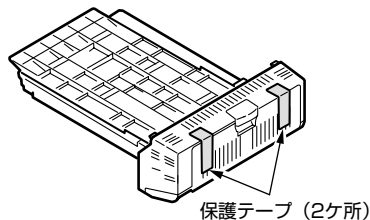
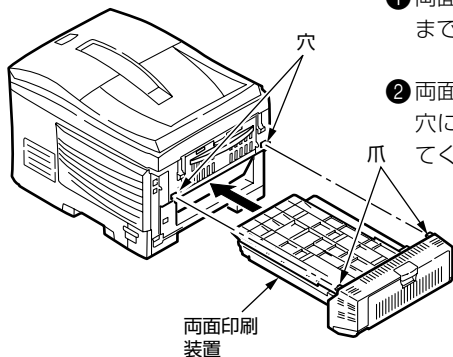
両面印刷装置

用紙の両面に印刷するユニットです。

・両面印刷には増設メモリモジュールの追加を推奨します。詳しくは「増設メモリモジュール」(27ページ)をご覧ください。

型名：V15-RIS

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

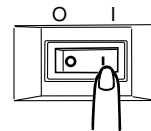
電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

ハードディスク(オプション)が付いているプリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

2 両面印刷装置の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

3 両面印刷装置を取り付けます。

❶両面印刷装置をプリンタ背面下部に奥までしっかりと差し込みます。

❷両面印刷装置の両端の爪がプリンタの穴にしっかり入っていることを確認してください。

メモ　両面印刷装置を軽く引いても抜けないことを確認してください。
少し持ち上げながら抜くと取り外せます。

4 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

O　I

注　[サービスコール181：エラー]が表示された場合は、両面印刷装置を取り付け直してください。

5 メニューマップ印刷を行い、両面印刷装置が正しく取り付けられていることを確認します。

MenuMap

Printer Serial Number:3227B52JN1P0
CU version:V1.02 [I01.03 U02.08 S2.
PU version:01.00.02 [P102.21 L000.1
PCL Program version:02.06 [0A.16 X0
PSE Program version:3010, PSE83 00.0
両面印刷:installed トレイ1:A4
Total Memory Size:64 MB
Flash Memory:4 MB [F35]
HDD:uninstalled
JP1 LCD:T1 PNL:T1 DPR:1.3 32

❶メニューマップ印刷をします。

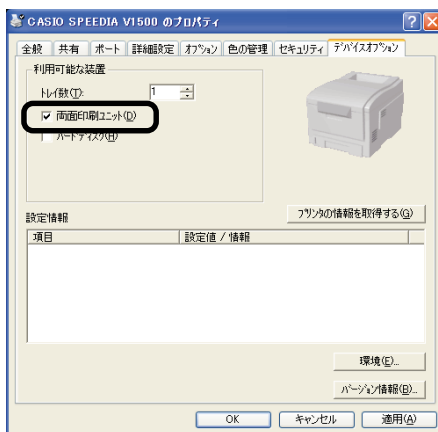
詳しくは「メニューマップ/ステータスページ印刷をします」(25ページ) をご覧ください。

❷ヘッダ部分に「両面印刷：installed」が表示されていることを確認します。

注　両面印刷装置：uninstalledが表示される場合は、両面印刷装置を取り付け直してください。

6 プリンタドライバで両面印刷装置の設定をします。

プリンタドライバで両面印刷装置を認識させるための設定が必要です。
プリンタドライバをセットアップしていない場合は、3章〜5章を参照し、プリンタドライバをセットアップしてから以下の設定を行ってください。

注 WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。(Windows XP では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] をクリックします。Windows Server2003 では [スタート] - [設定] - [プリンタと FAX] を選択します。)

❷ [CASIO SPEEDIA V1500] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [デバイスオプション] タブの [利用可能な装置] の [両面印刷ユニット] にチェックを付け、[OK] をクリックします。

メモ TCP/IP でネットワーク接続をしている場合、[プリンタの情報を取得する] をクリックすると、自動的に設定されます。

 両面印刷装置は以下の手順で外します。

❶ プリンタの電源を OFF にします。

 電源の切り方は「電源を切ります」(24 ページ) をご覧ください。

❷ 両面印刷装置を持ち上げながら取り外します。

2 操作パネルとメニューについて

操作パネル

「オンライン」ランプ(緑)

点灯：データを受信できる状態です。(オンライン)
点滅：受信したデータを処理しています。
消灯：データを受信できない状態です。(オフライン)

「点検」ランプ(赤)

点灯：ワーニングが発生しました。印刷は可能です。
点滅：エラーが発生しました。印刷できません。
消灯：通常状態です。

表示部

プリンタの状態や、障害が発生したときの内容を表示します。1行16文字で2行に表示します。

＋「 メニュー ＋」スイッチ

オンライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。
オフライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。
メニュー中：　メニューの表示内容(カテゴリ、項目、値)を先に進めます。2秒以上押すと早送りします。

「戻る」スイッチ

オンライン中：メニューを抜けてオンラインに移行します。
オフライン中：無効です。
メニュー中：　(カテゴリ表示中)メニューを抜けてオンラインに移行します。(項目表示中)表示項目のカテゴリを表示します。(値点滅表示中)値の点滅表示を止め、確定値を表示します。

－「メニュー －」スイッチ

オンライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。
オフライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。
メニュー中：　メニューの表示内容(カテゴリ、項目、値)を手前に戻します。2秒以上押すと早戻しします。

「設定／実行」スイッチ

オンライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。
オフライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。
メニュー中：　(カテゴリ表示中)表示カテゴリの先頭項目および値を表示します。(項目表示中)値表示を点滅させ、内容の変更を可能にします。(値点滅表示中)メニューの値を確定します。

「オンライン」スイッチ

オンライン中：オフラインに移行します。
オフライン中：オンラインに移行します。
メニュー中：　メニューを抜けてオンラインに移行します。
エラー中：　「nnn：tttttt　ヨウシ　ガ　チガイマス」、「nnn：tttttt　サイズ　ガ　チガイマス」が表示されている場合は、現在セットされている用紙で強制的に印刷を実行します。
また、「mmm　ヲ　MPトレイニ　イレテ／オンライン　スイッチヲ　オシテクダサイ」が表示されている場合は、MPトレイに用紙セット後、このスイッチを押すと印刷します。

「キャンセル」スイッチ

オンライン中：2秒以上押すと、処理中の1ジョブをキャンセルします。印刷中のジョブは印刷を中止して削除されます。受信中のジョブはそのジョブの区切りまで受信して削除されます。
オフライン中：2秒以上押すと、印刷または受信中断中のジョブを削除します。
メニュー中：　メニューを抜けてオンラインに移行します。処理中のジョブがあってもジョブの削除は行いません。
エラー中：　「nnn：ttttt　サイズガ　チガイマス」、「nnn：ttttt　ヨウシガ　チガイマス」、「nnn：ttttt　ヨウシガ　アリマセン」、「nnn：トレイ1　ガ　アイテイマス」、「nnn：トレイ1　ガ　アリマセン」が表示されている場合、2秒以上押すと処理中の1ジョブを削除します。受信中のジョブはそのジョブの区切りまで受信して削除されます。

プリンタのユーザメニュー一覧

ユーザメニューの各カテゴリを設定できます。
一覧で◎と表示される設定値は、プリンタドライバの設定が優先され、プリンタのユーザメニューで設定された値は無効になります。

変更方法

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、設定する「カテゴリ」を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを押し、設定する「項目」を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

❺ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを押し、「設定値」を表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

メモ フラッシュメモリ、ハードディスク(オプション)の初期化や、ハードディスクのパーティションのサイズ変更、特定パーティションの初期化では、「ジッコウシマスカ？」と表示されます。実行してもよいかもう一度ご確認ください。

実行する場合は 「設定／実行」スイッチを押します。続いて「スグニジッコウシマスカ？」と表示されます。

実行する場合は 「設定／実行」スイッチを押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。[デンゲンヲ キッテクダサイ／シャットダウン カンリョウ]が表示されたら電源をOFF/ONします。各変更が行われます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

「USBメニュー」、「セントロメニュー」カテゴリの設定値を変更したときは、電源をOFF/ONしてください。

ハードディスク(オプション)が付いている電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

「設定値」の網かけは初期の値です。
◎：プリンタドライバの設定が優先
○：プリンタの設定が優先またはプリンタで設定が必要
−：プリンタドライバ使用時は無効

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｲﾝｻﾂ ｼﾞｮﾌﾞ ﾒﾆｭｰ *	ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ	****	認証印刷、確認印刷のパスワードを４桁の数字(0～9)で設定します。 ＊：オプションのハードディスク装着時に表示。	○
	ｼﾞｮﾌﾞ ｾﾚｸﾄ	ｼﾞｮﾌﾞ ﾅｼ ｽﾍﾞﾃﾉ ｼﾞｮﾌﾞ (ﾌｧｲﾙ名)	印刷を行うジョブを設定します。 「ジョブナシ」以外は印刷可能なファイルがあるときに表示します。	○
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ ﾒﾆｭｰ	ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	メニューリストを印刷します。	−
	ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	ファイルリストを印刷します。	−
	PCL ﾌｫﾝﾄｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	PCL のフォントリストを印刷します。	−
	DEMO1	ｼﾞｯｺｳ	デモ印刷をします。	−
	ｴﾗｰﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	エラーログを印刷します。	−
ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ ﾒﾆｭｰ *	ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ ｽﾀｰﾄ	ｼﾞｯｺｳ	ファイルシステム保護のために電源オフシーケンスを行います。 ＊：オプションのハードディスク装着時に表示。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ	1 〜 999	コピー枚数を設定します。	◎
	ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾝｻﾂ *	ｵﾝ ｵﾌ	両面印刷を指定します。 *：オプションの両面印刷装置装着時に表示。	◎
	ﾄｼﾞｶﾀ *	ﾖｺﾄｼﾞ ﾀﾃﾄｼﾞ	両面印刷の綴じ方を指定します。 *：オプションの両面印刷装置を装着し、［リョウメン　インサツ］が［オン］のときに表示。	◎
	ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ1 ﾄﾚｲ2　* MP ﾄﾚｲ	給紙トレイを選択します。 *：トレイ2は、オプションの拡張ペーパフィーダセット装着時に表示。	◎
	ｼﾞﾄﾞｳ ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ	ｵﾝ ｵﾌ	自動トレイ切替をするかどうか設定します。	◎
	ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸｼﾞｭﾝｼﾞｮ	ｼﾀ ﾎｳｺｳ ｳｴ ﾎｳｺｳ ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	自動トレイ選択／自動トレイ切り換え時の、選択順序の優先順位を指定します。	○
	MP ﾄﾚｲ ﾉ ﾂｶｲｶﾀ	ﾖｳｼｶﾞｲ ﾉ ﾄｷ ｼﾖｳｼﾅｲ	マルチパーパストレイの使い方を設定します。	○
	ﾖｳｼﾁｪｯｸ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	用紙サイズのチェックをするかどうか設定します。	◎
	ｶｲｿﾞｳﾄﾞ	600× 1200DPI 600DPI	解像度を選択します。	◎
	ﾄﾅｰｾｰﾌﾞﾓｰﾄﾞ	ｵﾝ ｵﾌ	トナーセーブモードの有効／無効を切り替えます。	◎
	ﾓﾉｸﾛ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ 24PPM 16PPM 20PPM	モノクロ印刷速度を設定します。 詳しくは、「モノクロ（白黒）を高速で印刷したい」（応用編）をご覧ください。	○
	ｲﾝｻﾂ ﾎｳｺｳ	ﾀﾃ ﾖｺ	印刷方向を設定します。	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	1ﾍﾟｰｼﾞ ｷﾞｮｳｽｳ	5 ｷﾞｮｳ 〜 60 ｷﾞｮｳ 〜 64 ｷﾞｮｳ 〜 128 ｷﾞｮｳ	1ページに印刷できる行数を設定します。	－
	ﾍﾝｼｭｳ ｻｲｽﾞ	ｶｾｯﾄ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ LETTER EXECUTIVE LEGAL14 LEGAL13.5 LEGAL13 A4 A5 A6 B5 ｶｽﾀﾑ COM-9 ENVELOPE COM-10 ENVELOPE MONARCH ENV DL ENVELOPE C5 ENVELOPE ﾊｶﾞｷ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ ﾌｳﾄｳ1 ﾌｳﾄｳ2 ﾌｳﾄｳ3 ﾌｳﾄｳ4	コンピュータから用紙サイズを指定しなかった場合の用紙の編集サイズを設定します。［カセット　ヨウシ　サイズ］を選択すると、現在選択されているトレイの用紙サイズを編集サイズとします。	－
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4 A5 A6 B5 LEGAL14 LEGAL13.5 LEGAL13 LETTER EXECUTIVE ｶｽﾀﾑ	トレイ1の用紙サイズを設定します。	○
	ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾗｲｶﾐ	トレイ1の用紙種類を設定します。	◎
	ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱｳｪｲﾄ	ﾌﾂｳｼ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ	トレイ1の用紙厚さを設定します。	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼｻｲｽﾞ *	A4 A5 B5 LEGAL14 LEGAL13.5 LEGAL13 LETTER EXECUTIVE ｶｽﾀﾑ	トレイ２の用紙サイズを設定します。 ＊：オプションの拡張ペーパフィーダセット装着時に表示。	○
	ﾄﾚｲ2 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ *	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ	トレイ２の用紙種類を設定します。 ＊：オプションの拡張ペーパフィーダセット装着時に表示。	◎
	ﾄﾚｲ2 ﾒﾃﾞｨｱｳｪｲﾄ *	ﾌﾂｳｼ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	トレイ２の用紙厚さを設定します。 ＊：オプションの拡張ペーパフィーダセット装着時に表示。	◎
	MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4 A5 A6 B5 LEGAL14 LEGAL13.5 LEGAL13 LETTER EXECUTIVE ｶｽﾀﾑ COM-9 ENVELOPE COM-10 ENVELOPE MONARCH ENV DL ENVELOPE C5 ENVELOPE ﾊｶﾞｷ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ ﾌｳﾄｳ1 ﾌｳﾄｳ2 ﾌｳﾄｳ3 ﾌｳﾄｳ4	マルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。	○
	MP ﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ OHP ﾗﾍﾞﾙｼ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ	マルチパーパストレイの用紙種類を設定します。	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	MP ﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	マルチパーパストレイの用紙厚さを設定します。	◎
	ｶｽﾀﾑﾖｳｼ ｻｲｽﾞ	ｲﾝﾁ ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙を設定するときの単位を設定します。	◎
	ﾖｳｼﾊﾊﾞ ｻｲｽﾞ	64 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 216 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙の用紙幅を設定します。 「カスタムヨウシ　サイズ」で［インチ］を選択するとインチに換算した値になります。	◎
	ﾖｳｼﾅｶﾞｻ ｻｲｽﾞ	148 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 1200 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙の用紙長を設定します。 「カスタムヨウシ　サイズ」で［インチ］を選択するとインチに換算した値になります。	◎
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ ﾓｰﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭﾄﾞｳ	濃度補正と階調補正を自動で行うか設定します。	○
	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ	ｼﾞｯｺｳ	実行を選択すると、プリンタは直ちに濃度補正を行います。アイドル状態で実行してください。	○
	ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲ	ﾊﾟﾀｰﾝ ｲﾝｻﾂ	カラー調整パターンを印刷します。	○
	C HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○
	C MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	C DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○
	M HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○
	M MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○
	M DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○
	Y HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○
	Y MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○
	Y DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	K HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○
	K MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○
	K DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○
	C ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。 ４色分設定後、「カラーメニュー」の「ノウドホセイ」を実行してください。	○
	M ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。 ４色分設定後、「カラーメニュー」の「ノウドホセイ」を実行してください。	○
	Y ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。 ４色分設定後、「カラーメニュー」の「ノウドホセイ」を実行してください。	○
	K ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。 ４色分設定後、「カラーメニュー」の「ノウドホセイ」を実行してください。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	ｼﾞﾄﾞｳ ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ	ｼﾞｯｺｳ	このメニューを実行すると、プリンタは自動色ずれ補正動作を実行します。アイドル状態で実行してください。	○
	C ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの画像位置ズレを微調整します。	○
	M ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの画像位置ズレを微調整します。	○
	Y ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの画像位置ズレを微調整します。	○
	UCR	ｽｸﾅｲ ﾌﾂｳ ｵｵｲ	カラー印刷するときの墨版（黒）の量を選択できます。墨版の量を多くすると他の３色のトナー量の節約になります。	○
	CMY 100% ﾉｳﾄﾞ	ﾑｺｳ ﾕｳｺｳ	CMY100%階調値に対する100%出力を有効とするかどうかを選択します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ	5 ﾌﾝ 15 ﾌﾝ 30 ﾌﾝ 60 ﾌﾝ 240 ﾌﾝ	省電力モードに入るまでの時間を設定します。	○
	ｱﾗｰﾑ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝ ｼﾞｮﾌﾞ	復旧可能エラー表示の解除タイミングを設定します。 ［オン］は「オンライン」スイッチを押すまでエラーを表示します。 ［ジョブ］は次のジョブを受信するまでエラーを表示します。	○
	ｴﾗｰ ｼﾞﾄﾞｳ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝ ｵﾌ	メモリオーバフロー発生時、自動的にプリンタを復旧させるかを設定します。	○
	ﾏﾆｭｱﾙ ﾀｲﾑｱｳﾄ	60 ﾋﾞｮｳ 30 ﾋﾞｮｳ ｵﾌ	手差し印刷時の用紙がセットされるのを待つ時間を設定します。	○
	ﾀｲﾑｱｳﾄ ｲﾝｻﾂ	ｵﾌ 5 ﾋﾞｮｳ ～ 40 ﾋﾞｮｳ ～ 90 ﾋﾞｮｳ ～ 300 ﾋﾞｮｳ	データを受信しなくなってから強制印刷するまでの時間を設定します。	○
	ﾄﾅｰﾌｿｸ ｲﾝｻﾂｹｲｿﾞｸ	ｹｲｿﾞｸ ﾁｭｳｼ	［トナー　フソク］が表示されたときに印刷を継続させるかどうか設定します。 チュウシの場合は［***　トナーフソク］(***はトナー色）が表示されるとオフライン状態になります。	○
	ｼﾞｬﾑ ﾘｶﾊﾞｰ	ｵﾝ ｵﾌ	紙づまりの後、つまったページから印刷するかどうか設定します。	○
	ｴﾗｰﾚﾎﾟｰﾄ	ｵﾝ ｵﾌ	ポストスクリプトエラーが発生したとき、エラーレポートを印刷するかどうか設定します。	－
	ｹﾞﾝｺﾞ	ﾆﾎﾝｺﾞ ｴｲｺﾞ	操作パネルの表示言語を設定します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内 容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｼﾖｳ ﾌｫﾝﾄ	ﾅｲｿﾞｳ ﾌｫﾝﾄ ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ﾌｫﾝﾄ	使用するフォントの場所を指定します。[ダウンロードフォント］はRAMにフォントがダウンロードされている場合に表示されます。	−
	ﾌｫﾝﾄ No.	I000 〜	使用するフォントの番号を選択します。	−
	ﾌｫﾝﾄ ﾋﾟｯﾁ	0.44 CPI 〜 10.00 CPI 〜 99.99 CPI	フォントの幅を設定します。 （単位：character/inch） ［フォントNo.］で選択されたフォントが固定スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。	−
	ﾌｫﾝﾄ ｻｲｽﾞ	4.00 ﾎﾟｲﾝﾄ 〜 12.00 ﾎﾟｲﾝﾄ 〜 999.75 ﾎﾟｲﾝﾄ	フォントの高さを設定します。 （単位：ポイント） ［フォントNo.］で選択されたフォントが比例スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。	−
	ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ	WIN3.1J* 〜	シンボルセットを選択します。	−
	A4 ｲﾝｼﾞ ﾊﾊﾞ	78 ｹﾀ 80 ｹﾀ	A4用紙の自動改行する桁数を設定します。	−
	ﾊｸｼ ﾍﾟｰｼﾞ ｼﾞｮｶﾞｲ	ｵﾌ ｵﾝ	空白ページを印刷しないようにするか設定します。	−
	CR ﾄﾞｳｻ	CR ﾉﾐ CR+LF	CRコード受信時の動作を設定します。	−
	LF ﾄﾞｳｻ	LF ﾉﾐ LF+CR	LFコード受信時の動作を設定します。	−
	ｲﾝｻﾂ ﾘｮｳｲｷ	ﾉｰﾏﾙ 1/5 ｲﾝﾁ 1/6 ｲﾝﾁ	用紙の印刷不可能領域を設定します。	−
	ｲﾒｰｼﾞ ｸﾛ ｾﾝﾀｸ	ｺﾝｺﾞｳ ｸﾛ ﾀﾝｼｮｸ ｸﾛ	イメージデータの黒をCMYK混色で印刷するか、ブラックトナーのみで印刷するか設定します。	◎
	ﾍﾟﾝﾊﾊﾞ ﾎｾｲ	ｵﾝ ｵﾌ	細い線を見えるように補正します。	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内 容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｾﾝﾄﾛ ﾒﾆｭｰ	ｾﾝﾄﾛ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	パラレルインタフェースの有効／無効を設定します。	○
	ｿｳﾎｳｺｳ ｾﾝﾄﾛ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	双方向通信の有効／無効を設定します。	○
	ECP	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	ECPモードの有効／無効を設定します。	○
	ACK ﾊﾊﾞ	ｾﾏｲ ﾌﾂｳ ﾋﾛｲ	コンパチ受信時のACK幅を設定します。	○
	ACK/BUSY ﾀｲﾐﾝｸﾞ	ACK IN BUSY ACK WHILE BUSY	コンパチ受信時のBUSY信号とACK信号の出力順序を設定します。	○
	I-PRIME	3 ﾏｲｸﾛﾋﾞｮｳ 50 ﾏｲｸﾛﾋﾞｮｳ ﾑｺｳ	I-PRIME信号の有効時間／無効を設定します。	○
USB ﾒﾆｭｰ	USB	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	USBインタフェースの有効／無効を設定します。	○
	ｿﾌﾄ ﾘｾｯﾄ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	ソフトリセットコマンドの有効／無効を設定します。	○
	SPEED	12Mbps 480Mbps	USBインタフェースの最大転送速度を設定します。	○
	ｼﾘｱﾙ ﾅﾝﾊﾞｰ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	USBシリアルナンバーの有効／無効を指定します。 USBシリアルナンバーは、PCが接続されているUSBデバイスを識別するために使用されます。	○
NETWORK MENU	TCP/IP	ENABLE DISABLE	TCP/IPプロトコルの有効/無効を設定します。	○
	NETBEUI	ENABLE DISABLE	NetBEUIプロトコルの有効/無効を設定します。	○
	NETWARE	ENABLE DISABLE	NetWareプロトコルの有効/無効を設定します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
NETWORK MENU	FRAME TYPE	AUTO 802.2 802.3 ETHERNETII SNAP	フレームタイプを設定します。	○
	IP ADDRESS SET	AUTO MANUAL	IP アドレスの設定方法を設定します。 TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。	○
	IP ADDRESS	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。 TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	SUBNET MASK	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。 TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	GATEWAY ADDRESS	192.168.100.254	ゲートウェイアドレスを設定します。 TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	INITIALIZE NIC ?	EXECUTE	ネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。	○
	WEB/IPP	ENABLE DISABLE	WEB/IPP の有効 / 無効を設定します。	○
	TELNET	ENABLE DISABLE	TELNET の有効 / 無効を設定します。	○
	FTP	ENABLE DISABLE	FTP の有効 / 無効を設定します。	○
	SNMP	ENABLE DISABLE	SNMP の有効 / 無効を設定します。	○
	LAN	NORMAL SMALL	NORMAL：一般にはこの設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが 2,3 台の小さな LAN に接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL：コンピュータが 2,3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合に効率よく動作できない場合があります。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
NETWORK MENU	HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	HUB LINK SETTING を設定します。	○
ﾒﾓﾘ ﾒﾆｭｰ	ｼﾞｭｼﾝ ﾊﾞｯﾌｧ ｻｲｽﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ 0.5MB 1MB 2MB 4MB 8MB 16MB	受信バッファサイズを設定します。 装着しているメモリ容量により、設定値が異なります。	○
	FLASHﾒﾓﾘ ｼｮｷｶ	ｼﾞｯｺｳ	FLASH メモリのイニシャライズを行います。	○
ﾃﾞｨｽｸ ﾒﾝﾃﾅﾝｽ* *：オプションのハードディスク装着時に表示。	HDD ｼｮｷｶ	ｼﾞｯｺｳ	ハードディスクのパーティション分割を行い、各パーティションをフォーマットします。	○
	ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ ｻｲｽﾞ	ｼﾞｯｺｳ	パーティションサイズの変更を行います。	○
	PCL/ｷｮｳﾂｳ/PSE	nnn% / mmm% / lll %	変更後のパーティションサイズを割合で指定します。	○
	HDD ﾌｫｰﾏｯﾄ	PCL ｷｮｳﾂｳ PSE	指定パーティションのフォーマットを行います。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｼｽﾃﾑ ﾎｾｲ ﾒﾆｭｰ	X ﾎｾｲ	0.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	全体の印刷位置を0.25mm単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○
	Y ﾎｾｲ	0.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	全体の印刷位置を0.25mm単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。 PSではマイナス方向の補正は無効です。	○
	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ X ﾎｾｲ *	0.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	両面印刷の裏面全体の印刷位置を0.25mm単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。 *：オプションの両面印刷装置装着時に表示。	○
	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ Y ﾎｾｲ *	0.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	両面印刷の裏面全体の印刷位置を0.25mm単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。 PSではマイナス方向の補正は無効です。 *：オプションの両面印刷装置装着時に表示。	○
	PCL ﾄﾚｲ2 ID # *	1 ～ 5 ～ 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ2指定の#を指定します。 *：オプションの拡張ペーパフィーダセット装着時に表示。	○
	PCL MP ﾄﾚｲ ID #	1 ～ 4 ～ 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、マルチパーパストレイ指定の#を指定します。	○
	ﾄﾞﾗﾑｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	ｵﾌ ｵﾝ	印刷前にドラムのクリーニング動作を行います。画質改善の効果がある場合があります。	◎
	ﾍｷｻ ﾀﾞﾝﾌﾟ	ｼﾞｯｺｳ	16進ダンプで印刷します。16進ダンプの印刷を終了するには、電源をOFFにします。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ	ﾒﾆｭｰ ﾘｾｯﾄ	ｼﾞｯｺｳ	メニューの設定値を初期化します。	○
	ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲﾁ ﾎｿﾞﾝ	ｼﾞｯｺｳ	現在のメニュー設定を保存します。	○
	ﾎｿﾞﾝﾒﾆｭｰ ﾆ ﾓﾄﾞｽ	ｼﾞｯｺｳ	保存しているメニュー設定に変更します。 メニューを保存したときのみ表示されます。	○
	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｷﾉｳ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	パワーセーブモードの有効/無効を設定します。 有効時のパワーセーブ移行時間は［システムコウセイメニュー］の［パワーセーブ イコウジカン］で設定します。	○
	ﾌﾂｳｼ ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。	○
	ﾌﾂｳｼ ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。	○
	OHP ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHPシートに印刷してかすれる場合に値を変更します。	○
	OHP ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHPシートに印刷してかすれる場合に値を変更します。	○

注 メモリメニュー、ディスクメンテナンスメニュー、システムホセイメニューは工場出荷時の設定ではユーザメニューに表示されません。管理者メニューで「MEMORY MENU」、「DISK MAINTENANCE」、「SYS ADJUST MENU」の設定を「ENABLE」に変更するとユーザメニューに表示されます。詳しくは50ページをご覧ください。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	区分
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｼﾞｭﾐｮｳ ﾒﾆｭｰ	ﾄｰﾀﾙ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	総印刷枚数を表示します。	–
	ﾄﾚｲ1 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	トレイ１の総印刷枚数を表示します。	–
	ﾄﾚｲ2 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ*	nnnnnn	トレイ２の総印刷枚数を表示します。 *：オプションの拡張ペーパフィーダセット装着時に表示。	–
	MPﾄﾚｲ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	マルチパーパストレイの総印刷枚数を表示します。	–
	ｶﾗｰ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	カラーページ印刷を行ったページ数を表示します。	–
	ﾓﾉｸﾛ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	モノクロページ印刷を行ったページ数を表示します。	–
	K ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	黒のドラムの残り寿命を表示します。	–
	C ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	シアンのドラムの残り寿命を表示します。	–
	M ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	マゼンタのドラムの残り寿命を表示します。	–
	Y ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	イエローのドラムの残り寿命を表示します。	–
	ﾍﾞﾙﾄ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	転写ベルトユニットの残り寿命を表示します。	–
	ﾃｲﾁｬｸｷ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	定着ユニットの残り寿命を表示します。	–
	K ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K=xxx %	黒トナーの残量を表示します。	–
	C ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K=xxx %	シアントナーの残量を表示します。	–
	M ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K=xxx %	マゼンタトナーの残量を表示します。	–
	Y ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K=xxx %	イエロートナーの残量を表示します。	–

トナー残量は目安です。以下の場合には正しい残量は表示されません。

- ドラム交換時に使用途中のトナーセットを付けた場合

プリンタのアドミニストレータメニュー一覧

ユーザメニューの各カテゴリの有効/無効などを設定できます。無効のカテゴリはユーザメニューに表示されません。
システム管理者の方のみ使用してください。

変更方法

❶ プリンタの電源をOFFにします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

❷ 「設定／実行」スイッチを押しながらプリンタの電源をONにします。

［OP MENU］が表示されたら指を離します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、設定する「カテゴリ」を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは −「メニュー−」スイッチを数回押し、設定する「項目」を表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押します。

❼ ＋「メニュー＋」スイッチまたは −「メニュー−」スイッチを数回押し、「設定値」を表示します。

❽ 「設定／実行」スイッチを押し、値の右側に［＊］を付けます。

❾ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
OP MENU	ALL CATEGORY	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ユーザメニューのすべてのカテゴリの有効／無効を設定します。
	PRINT JOBS MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インサツジョブメニューの有効／無効を設定します。
	INFORMATION MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インフォメーションメニューの有効／無効を設定します。
	SHUTDOWN MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	シャットダウンメニューの有効／無効を設定します。
	PRINT MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インサツメニューの有効／無効を設定します。
	MEDIA MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	メディアメニューの有効／無効を設定します。
	COLOR MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	カラーメニューの有効／無効を設定します。
	SYS CONFIG MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	システムコウセイメニューの有効／無効を設定します。
	PCL EMULATION	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	PCL エミュレーションメニューの有効／無効を設定します。
	PARALLEL MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	セントロメニューの有効／無効を設定します。
	USB MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	USB メニューの有効／無効を設定します。
	NETWORK MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NETWORK メニューの有効／無効を設定します。
	MEMORY MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	メモリメニューの有効／無効を設定します。
	DISK MAINTENANCE	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ディスクメンテナンスメニューの有効／無効を設定します。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
OP MENU	SYS ADJUST MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	システムホセイメニューの有効 / 無効を設定します。
	MAINTENANCE MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	メンテナンスメニューの有効 / 無効を設定します。
	USAGE MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ジュミョウメニューの有効 / 無効を設定します。
COLOR MENU	RESET C GAMMA	EXECUTE	シアンの濃度履歴データをリセットします。通常は使用しないでください。
	RESET M GAMMA	EXECUTE	マゼンタの濃度履歴データをリセットします。通常は使用しないでください。
	RESET Y GAMMA	EXECUTE	イエローの濃度履歴データをリセットします。通常は使用しないでください。
	RESET K GAMMA	EXECUTE	ブラックの濃度履歴データをリセットします。通常は使用しないでください。
BLOCK DEV MENU	INITIAL LOCK	YES NO	フラッシュメモリの初期化の有効 / 無効を設定します。［YES］にするとメモリメニューの［FLASH メモリショキカ］は表示されません。
CONFIG MENU	NEARLIFE LED	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	トナー残量が少なくなった場合や、ドラムセット、定着ユニット、転写ベルトユニットの寿命が近づいた場合に、点検ランプを点灯させるかを設定します。 ワーニングのメッセージは表示されます。
FILE SYS MAINTE	CHK FILE SYS	OFF FLASH HDD	ファイルシステムの空き容量と管理データの修復を行います。
	CHK ALL SECTORS	OFF ON	エラー訂正不能セクタの修正とファイルシステムの空き容量と管理データの修復を行います。
	HDD	ENABLE DISABLE	オプションのハードディスクの使用 / 不使用を設定します。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
SIDM MENU	SIDM MANUAL ID#	0 ～ 2 ～ 9	MANUAL-1 ID No. FX/PPR/ESCP エミュレーションでの CSF コントロールコマンド（ESC EM Pn）において MANUAL 指定の Pn を設定します。
	SIDM MANUAL2 ID#	0 ～ 3 ～ 9	MANUAL-2 ID No. FX/PPR エミュレーションでの CSF コントロールコマンド（ESC EM Pn）において MANUAL 指定の Pn を設定します。
	SIDM MP TRAY ID#	0 ～ 4 ～ 9	MP Tray ID No. FX/PPR/ESCP エミュレーションでの CSF コントロールコマンド（ESC EM Pn）において TRAY0（MP Tray）指定の Pn を設定します。
	SIDM TRAY1 ID#	0 1 ～ 9	Tray 1 ID No. FX/PPR/ESCP エミュレーションでの CSF コントロールコマンド（ESC EM Pn）において TRAY1 指定の Pn を設定します。
	SIDM TRAY2 ID# (実装時のみ表示)	0 ～ 2 ～ 5 ～ 9	Tray 2 ID No. FX/PPR/ESCP エミュレーションでの CSF コントロールコマンド（ESC EM Pn）において TRAY2 指定の Pn を設定します。

3 ネットワーク接続で Windows にセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

● Windows Server 2003
Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
ただし、32ビット版のみの対応です。

● WindowsXP
WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98
WindowsMe/98日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows2000
Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

・日本語以外のOSには対応していません。
・MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

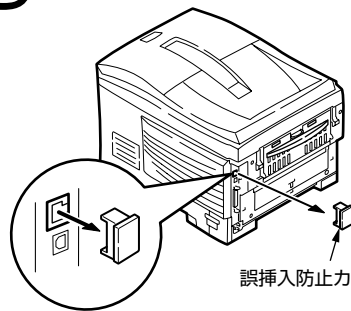
プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル(カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート)とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉

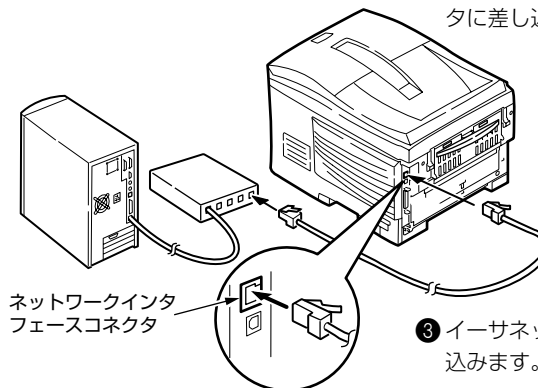
〈ハブ〉

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

メモ　プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

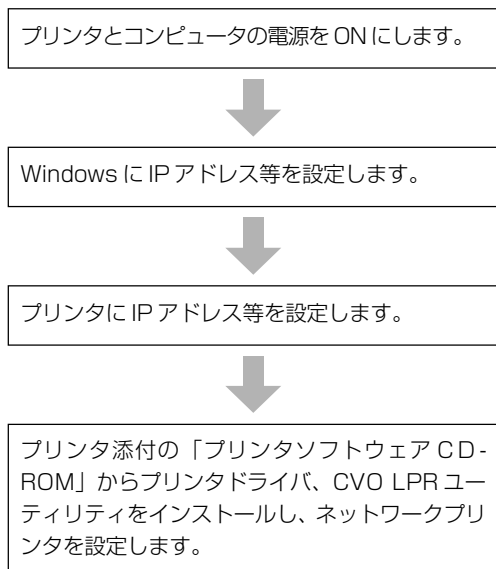
3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ プリンタのネットワークインタフェースコネクタに挿入されている誤挿入防止カバーを外します。

メモ　誤挿入防止カバーは捨てずに保管し、ネットワーク接続しない場合に挿入してください。

❷ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

メモ　ネットワーク接続のセットアップ手順は、WindowsXP/2000/Server2003の場合、「WindowsXP/2000/Server2003にセットアップします」(56ページ)、WindowsMe/98の場合、「WindowsMe/98にセットアップします」(64ページ)をご覧ください。

WindowsXP/2000/Server2003にセットアップします

セットアップの流れ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

Windows に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバ、CVO LPR ユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

セットアップします

ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバ、BOOTPサーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
現在のプリンタに設定されているI P アドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報(Network Information)については、「メニューマップ／ステータスページ印刷をします」(25ページ)をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ(DHCPなど)は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ
・プリンタはネットワークPlug&Playに対応しています。接続しているコンピュータがすべてWindowsXP/2000/Server2003の場合や、接続しているルータがネットワークPlug&Playに対応している場合は、ネットワーク上にサーバが存在しなくても自動的にIPアドレスを設定します。コンピュータとプリンタにIPアドレスを手動で設定する必要はありませんので、「手順4　プリンタドライバをインストールします」(60ページ)からセットアップしてください。
・コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピュータ
- IPアドレス　：192.168.0.1～254のいずれか
- サブネットマスク　：255.255.255.0
- ゲートウェイ　：0.0.0.0(使用しません)
- DNS　：使用しません

プリンタ
- IPアドレス　：192.168.0.1～254のいずれか(コンピュータと異なるもの)
- サブネットマスク　：255.255.255.0
- ゲートウェイ　：0.0.0.0
- DHCP/BOOTPを使用する　：チェックしない
- RARPを使用する　：チェックしない
- サーバを使用しないアドレス解決　：チェックしない
- LAN　：SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	：WindowsXP Home Edition
プリンタ	：SPEEDIA V1500
IPアドレス	：192.168.0.3(コンピュータ)、192.168.0.2(プリンタ)
サブネットマスク	：255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	：192.168.0.1

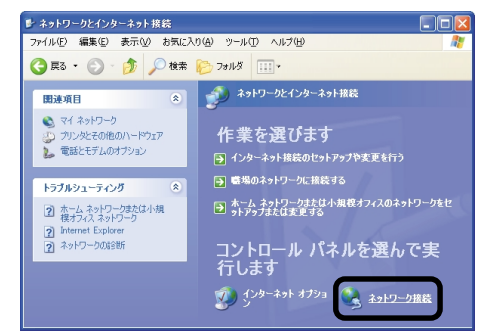
1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

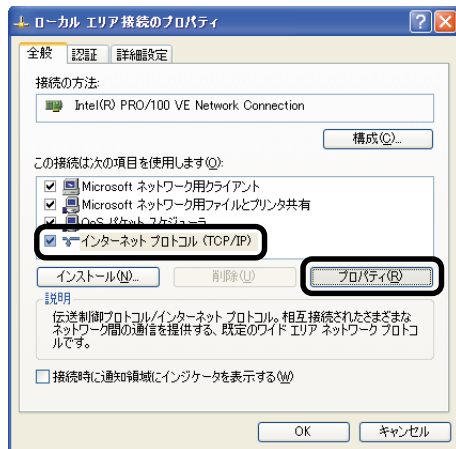
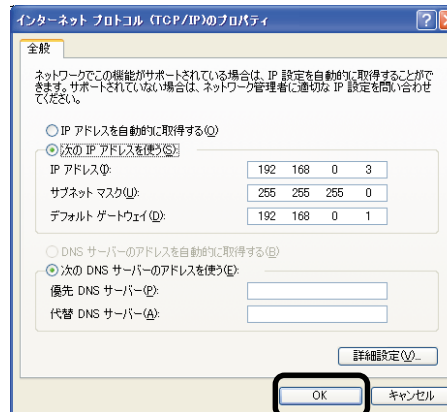
2 Windows に IP アドレス等を設定します。

すでにWindowsにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタにIPアドレス等を設定します」(59ページ)へ進みます。

❶ Windowsを起動します。

❷ WindowsXPの場合、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。
[コントロールパネルを選んで実行します]の[ネットワーク接続]をクリックします。

Windows2000/Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[ネットワーク接続]をクリックします。

❸ [ローカルエリア接続]をダブルクリックし、[プロパティ]をクリックします。

❹ [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し、[プロパティ]をクリックします。

❺ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバを入力し、[OK]をクリックします。

メモ
- DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択し、IPアドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。

❻ [ローカルエリア接続]を閉じます。

3 プリンタにIPアドレス等を設定します。

注 すでにプリンタにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順4「プリンタドライバをインストールします」(60ページ)へ進みます。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[NETWORK　MENU]を表示します。

❸ 「設定/実行」スイッチを押します。

❹ [TCP/IP/ENABLE　*]と表示されていることを確認します。

[TCP/IP/DISABLE　*]と表示されている場合は次の設定を行います。

① 「設定/実行」スイッチを押します。

② 「メニュー+」スイッチを押し、[TCP/IP/ENABLE]を表示します。

③ 「設定/実行」スイッチを押し、値の右側に[*]を付けます。

④ 「戻る」スイッチを押します。

❺ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[IP　ADDRESS]を表示します。

❻ 「設定/実行」スイッチを押します。

❼ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、IPアドレスの1桁目の値にします。

❽ 「設定/実行」スイッチを押し、次の桁に移動します。❼と❽を繰り返して、全ての桁の値を設定します。

❾ 「戻る」スイッチを押します。

以後、❹〜❽を繰り返し、[SUBNET　MASK](サブネットマスク)、[GATEWAY　ADDRESS](ゲートウェイアドレス)を設定します。

❿ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

4 プリンタドライバをインストールします。

❶ プリンタの電源がONで、Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

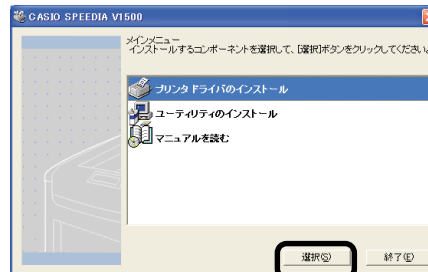
❷ [スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

❸ [リムーバブル記憶域があるデバイス]の[CSPDV15]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

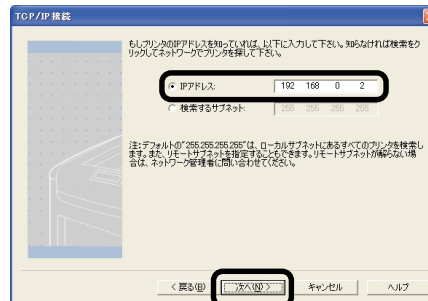
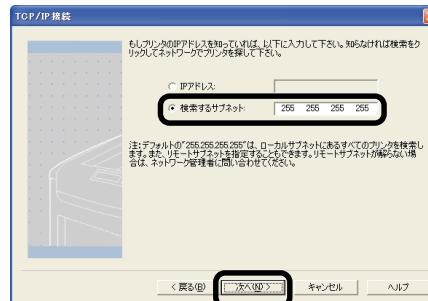
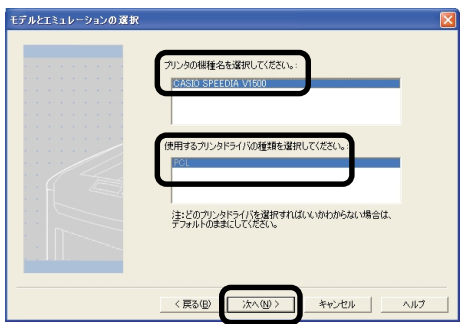
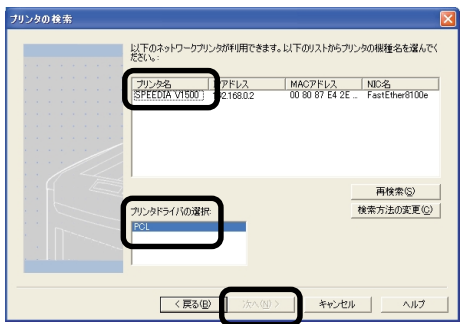
❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

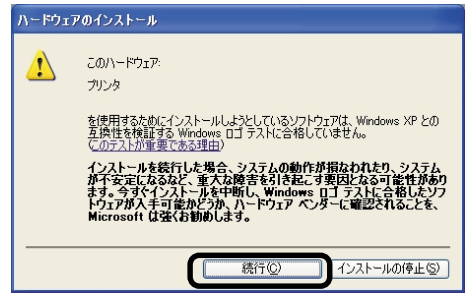
セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

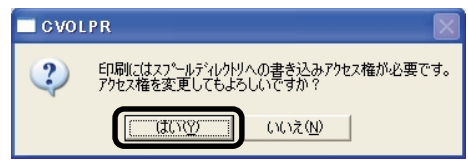
❽ [TCP/IPプロトコル]を選択し、[次へ]をクリックします。

❾ 手順3(59ページ)で設定したプリンタのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

プリンタのIPアドレスが自動取得の場合や、IPアドレスがわからない場合は、[検索するサブネット]を選択し、[次へ]をクリックします。

❿ 手順❾でプリンタのIPアドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

手順❾で[検索するサブネット]を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

⓬ 共有するか確認の画面が表示されるので、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [続行]をクリックします。

プリンタドライバとCVO LPRユーティリティとCVO Network Extensionがインストールされます。

⓮ CVO LPRユーティリティのポート変更画面が表示されるので、[OK]をクリックします。

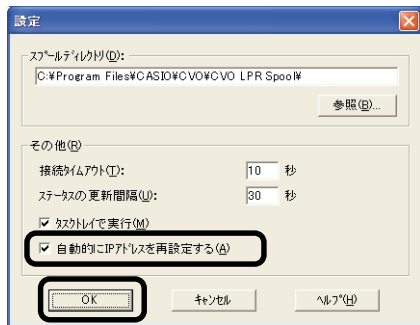
⓯ コンピュータのファイルシステムがNTFSの場合は、アクセス権を変更する画面が表示されますので[はい]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓲へ進みます。

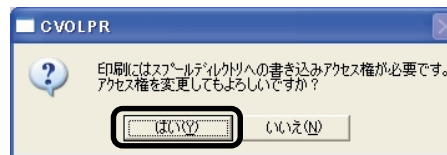
⑯ [完了]をクリックします。

⑰ [終了]をクリックします。

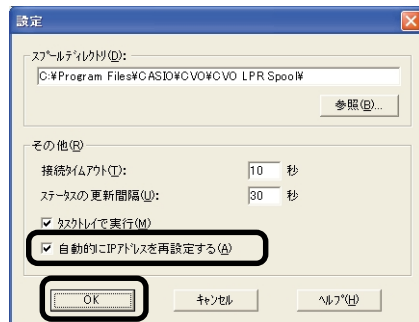
[プリンタ]または[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示され、CVO LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ プリンタのIPアドレスを自動取得している場合は、CVO LPRユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、[自動的にIPアドレスを再設定する］にチェックを付け、[OK］をクリックします。

☞ ⑮からの続き

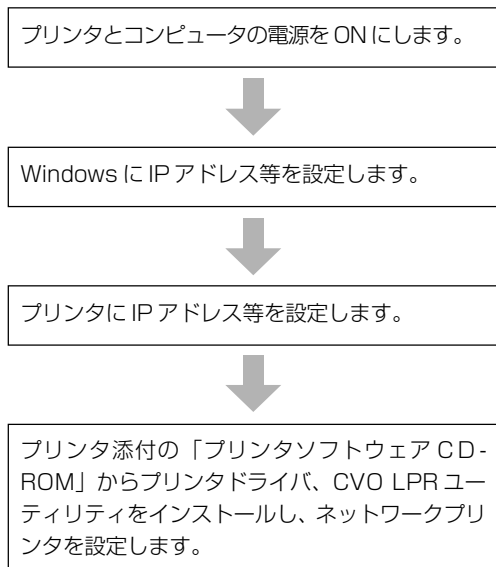
⑱ [完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

⑲ 再起動後、アクセス権を変更する画面が表示される場合は、[はい]をクリックします。

⑳ 再起動後、CVO LPRユーティリティのポート変更画面が表示される場合は、[OK]をクリックします。

[プリンタ]または[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示され、CVO LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ　プリンタのIPアドレスを自動取得している場合は、CVO LPRユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、[自動的にIPアドレスを再設定する］にチェックを付け、[OK］をクリックします。

5 6章「印刷します」（119ページ）へ進みます。

WindowsMe/98にセットアップします

セットアップの流れ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

Windows に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバ、CVO LPR ユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

セットアップします

ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバ、BOOTPサーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
現在のプリンタに設定されているI P アドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報(Network Information)については、「メニューマップ／ステータスページ印刷をします」(25ページ)をご覧ください。

・IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
・ネットワーク上に存在するサーバは、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。

メモ コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピュータ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0(使用しません)
DNS	: 使用しません

プリンタ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか(コンピュータと異なるもの)
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTPを使用する	: チェックしない
RARPを使用する	: チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決	: チェックしない
LAN	: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows98
プリンタ	: SPEEDIA V1500
IPアドレス	: 192.168.0.3(コンピュータ)、192.168.0.2(プリンタ)
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 WindowsMe/98 に IP アドレス等を設定します。

・すでにWindowsにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタにIPアドレス等を設定します」(66ページ)へ進みます。

❶ Windowsを起動します。

❷ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❸ [ネットワーク]をダブルクリックします。

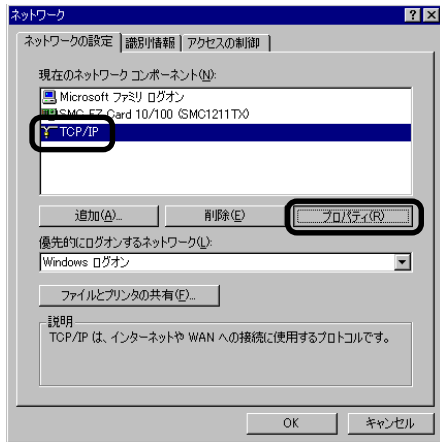
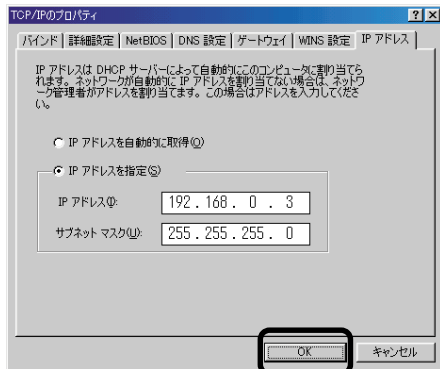
[現在のネットワークコンポーネント]に[TCP/IP→***(***はアダプタ名)]が表示されている場合は?
☞ ❼へ進みます。
WindowsMeで[ネットワーク]が表示されていない場合は?
☞ [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する]をクリックします。

❹「ネットワークの設定」タブの[追加]をクリックします。

❺ [プロトコル]を選択し、[追加]をクリックします。

❻ [Microsoft]を選択して[TCP/IP]を選択し、[OK]をクリックします。

☞ ❸からの続き

❼ [TCP/IP→***](***はアダプタ名)を選択し、[プロパティ]をクリックします。

❽ [IPアドレス]タブでIPアドレス、サブネットマスク、[ゲートウェイ]タブでゲートウェイ、[DNS設定]タブでDNSを入力し、[OK]をクリックします。

メモ DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得」を選択し、IPアドレスは入力しません。

❾ Windowsを再起動します。

3 プリンタにIPアドレス等を設定します。

注 すでにプリンタにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順4「プリンタドライバをインストールします」(67ページ)へ進みます。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ [＋]「メニュー＋」スイッチを数回押し、[NETWORK　MENU]を表示します。

❸ [○]「設定／実行」スイッチを押します。

❹ [TCP/IP／ENABLE　＊]と表示されていることを確認します。

[TCP/IP／DISABLE　＊]と表示されている場合は次の設定を行います。

① [○]「設定／実行」スイッチを押します。

② [＋]「メニュー＋」スイッチを押し、[TCP/IP／ENABLE]を表示します。

③ [○]「設定／実行」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

④ [◁]「戻る」スイッチを押します。

❺ [＋]「メニュー＋」スイッチを数回押し、[IP　ADDRESS]を表示します。

❻ [○]「設定／実行」スイッチを押します。

❼ [＋]「メニュー＋」スイッチまたは [－]「メニュー－」スイッチを数回押し、IPアドレスの1桁目の値にします。

❽ [○]「設定／実行」スイッチを押し、次の桁に移動します。❼と❽を繰り返して、全ての桁の値を設定します。

❾ 「戻る」スイッチを押します。

以後、❹〜❽を繰り返し、[SUBNET　MASK](サブネットマスク)、[GATEWAY　ADDRESS](ゲートウェイアドレス)を設定します。

❿ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

4 プリンタドライバをインストールします。

❶ プリンタの電源がONで、Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ マイコンピュータを開きます。

❸ [CSPDV15]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

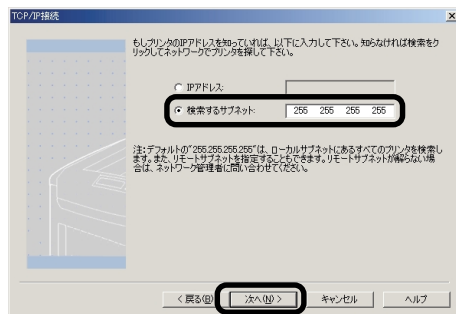
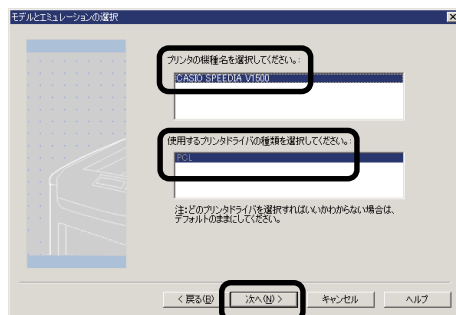
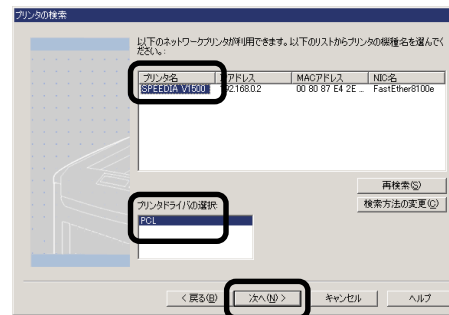
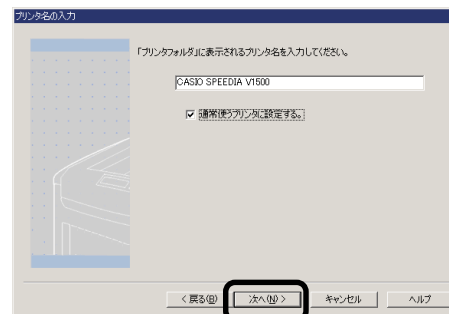
❺ 「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽ [TCP/IPプロトコル]を選択し、[次へ]をクリックします。

❾ プリンタのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

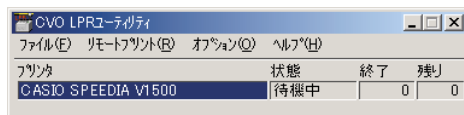
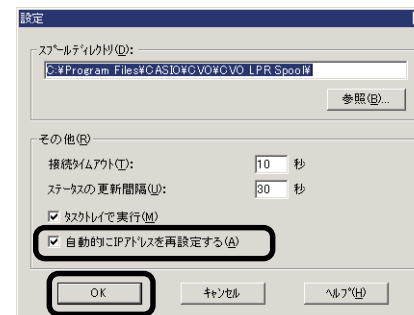
プリンタのIPアドレスがわからない場合は、[検索するサブネット]を選択し、[次へ]をクリックします。

⑩ 手順❾でプリンタのIPアドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

手順❾で[検索するサブネット]を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名を選択し、[次へ]をクリックします。

⑪ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

プリンタドライバとCVO LPRユーティリティとCVO Network Extensionがインストールされます。

⓬ CVO LPRユーティリティのポート変更画面が表示されるので、[OK]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?
☞ ⓰へ進みます。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ [終了]をクリックします。

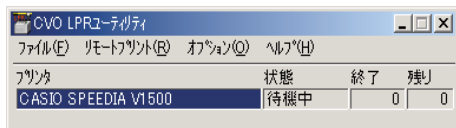
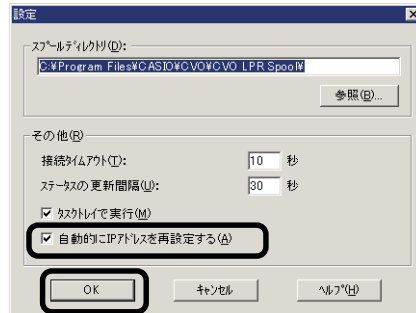
[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示され、CVO LPRユーティリティにプリンタ名が追加されます。

メモ プリンタのIPアドレスを自動取得している場合は、CVO LPRユーティリティ「オプション」メニューの[設定]を選択し、[自動的にIPアドレスを再設定する]にチェックを付け、[OK]をクリックします。

セットアップは終了です。

☞ ⓬からの続き

⓰ [再起動する]にチェックを付け、[完了]をクリックします。

Windowsが再起動されます。

⓱ 再起動後、CVO LPRユーティリティのポート変更画面が表示される場合は、[OK]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示され、CVO LPRユーティリティにプリンタ名が追加されます。

メモ　プリンタのIPアドレスを自動取得している場合は、CVO LPRユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的にIPアドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

セットアップは終了です。

5 6章「印刷します」（119ページ）へ進みます。

プリンタドライバを削除するには

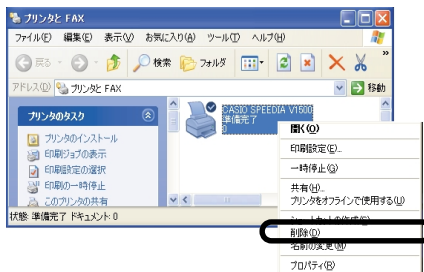
・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷[CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❸以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹「プリンタ」フォルダ(WindowsXP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❺[ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

プリンタドライバと一緒にインストールされるCVO LPRユーティリティとCVO Network Extensionは、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
CVO LPRユーティリティとCVO Network Extensionを削除する場合は、「CVO LPRユーティリティ」(応用編18ページ)、「CVO Network Extension」(応用編25ページ)をご覧ください。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❸ [CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします。(Windows Me/98の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

❼ [CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ(Windows XP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫ Windowsを再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは、3章〜5章をご覧ください。

・必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
・WindowsXPでは、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶〜❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

注

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（WindowsMe/98の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK　100Mランプ(緑)/LINK　10Mランプ(緑)を確認します。100BASE-TX/10BASE-Tで接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUSランプ(橙)を確認します。データを受信しているときに点滅します。「一定間隔(1秒あるいは0.1秒)で点滅」「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブのLINKランプが点灯しません。
- Pingに応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源がONになっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類が存在します。HUBとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源をONにします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源をONにするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「HUB LINK SETTING」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ ＋ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[NETWORK MENU]を表示します。

❷ 「設定 ／実行」スイッチを押します。

❸ ＋ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[HUB LINK SETTING]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

❺ ＋ 「メニュー＋」スイッチまたは − 「メニュー−」スイッチを数回押し、[10BASE-T HALF]を表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

- ハブの動作モード(100BASE-TX/10BASE-T、全二重/半二重)を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。(設定方法はHUBに付属のマニュアルをご覧ください。)

それでも問題が解決しない場合

WindowsMe/98

- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]-[ネットワークの設定タブ]-[現在のネットワークコンポーネント]で、[TCP/IP → ***](***はアダプタ名)が表示されていることを確認します。
- [TCP/IP → ***](***はアダプタ名)の[プロパティ]で、[IPアドレス],[サブネットマスク],[ゲートウェイ]が正しいか確認します。
- CVO LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、[リモートプリントメニュー]-[一時停止]のチェックを外します。
- 「CVO LPRユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IPアドレス]がプリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
  CVO LPRユーティリティの最新版はカシオ計算機ホームページ(http://casio.jp/ppr)で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦"CVO LPRユーティリティを削除"してから最新版をインストールしてください。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

WindowsXP/2000/Server2003

- [スタート]-[設定]-[ネットワークとダイアルアップ接続]-[ローカルエリア接続]をダブルクリックし、[プロパティ]に[インターネットプロトコル(TCP/IP)]が表示されていることを確認します。
- [インターネットプロトコル(TCP/IP)]の[プロパティ]をクリックし、[IPアドレス],[サブネットマスク],[デフォルトゲートウェイ]が正しいことを確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これはWindowsXP/2000/Server2003の仕様によるものです。
- 「CVO LPRユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IPアドレス]がプリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
  CVO LPRユーティリティの最新版はカシオ計算機ホームページ(http://casio.jp/ppr)で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦"CVO LPRユーティリティを削除"してから最新版をインストールしてください。
- CVO LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、[リモートプリントメニュー]-[一時停止]のチェックを外します。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

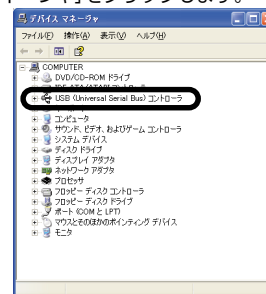
4 USB接続でWindowsにセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

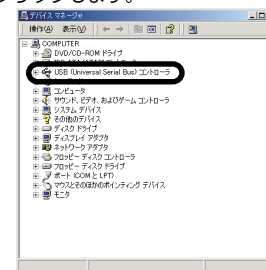
- Windows Server 2003
  Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機でUSBインタフェースを搭載している機種
  ただし、32ビット版のみの対応です。
- WindowsXP
  WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)でUSBインタフェースを搭載している機種
- WindowsMe/98
  WindowsMe/98日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)でUSBインタフェースを搭載している機種
- Windows2000
  Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)でUSBインタフェースを搭載している機種

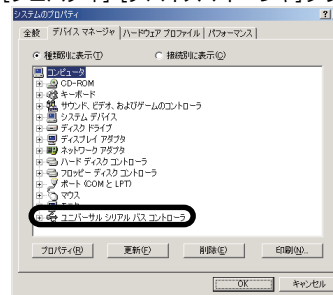
- Windows95/3.1からアップグレードインストールしたWindows Me/98での動作は保証できません。
- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- 印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全てのUSB機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「CASIO SPEEDIA V1500」「CASIO SPEEDIA V1500(コピー2)」「CASIO SPEEDIA V1500(コピー3)」と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源をONする順序によって変わります。
- USBハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続されたUSBハブに接続してください。

- USBインタフェースケーブルはUSB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。
- USB2.0の「Hi-Speed」モード(最大転送速度480Mbps)で使用するには、WindowsXP/2000で、USB2.0対応のインタフェースを搭載しているコンピュータを使用し、Microsoft社が公開しているUSB2.0ドライバがインストールされている必要があります。
- お使いのコンピュータがUSBに対応しているか確認できます。

〈WindowsXP〉

[スタート]-[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[ハードウェア]タブを開き、[デバイスマネージャ]をクリックします。

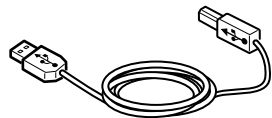
〈Windows2000/Server2003〉

[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[ハードウェア]タブを開き、[デバイスマネージャ]をクリックします。

〈WindowsMe/98〉

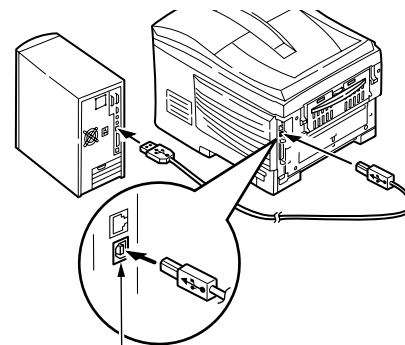
[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[デバイスマネージャ]タブを開きます。

(WindowsMe の画面)

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

・プリンタのケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のケーブルを別途用意してください。
・USB2.0の「Hi-Speed」モードで接続する場合は、Hi-Speed仕様のUSBケーブルを使用してください。

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

・プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。
・USBケーブルはコンピュータ、プリンタの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源をOFFにしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

注 USBケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USBケーブルをコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

メモ USB接続のセットアップ手順は、WindowsXP/Server2003の場合、「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(80ページ)、WindowsMe/98/2000の場合、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(84ページ)をご覧ください。

WindowsXP/Server2003にセットアップします

・WindowsXP/Server2003をお使いの方だけご覧ください。
・コンピュータの管理者の権限が必要です。

・USBインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタとWindowsXP/Server2003を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP/Server2003で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。

以下の説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

WindowsXP/Server2003 の CD-ROM ドライブを確認します。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

❷ [リムーバブル記憶域があるデバイス]-[CDドライブ(E:)]のカッコ内に表示されている英文字を確認します。

この場合は、[E]がCD-ROMのドライブです。

2 プリンタドライバをインストールします。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面で次の画面が表示されたら、[いいえ、今回は接続しません]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞ 「WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」(94ページ)へ進みます。

❹「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❺［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)を検索］のチェックを外します。

❻［次の場所を含める］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。 E:¥Winxp2k

❼「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ⓫へ進みます。

❽［完了］をクリックします。

❾［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❿「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。（Windows Server2003の場合、［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❼からの続き

⓫「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⓬[製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥Winxp2k

ファイルのコピーが開始されます。

⓭[完了]をクリックします。

⓮[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

⓯「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶コンピュータの電源をONにし、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

❷[コントロールパネルを選んで実行します]の[プリンタとFAX]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

❸[プリンタのタスク]-[プリンタのインストール]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[プリンタの追加]をダブルクリックします。）

❹「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

❺[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。

❻「次のポートを使用」画面で[USBxxx]（xxxはポートの番号）を選択し、[次へ]をクリックします。

❼[ディスク使用]をクリックします。

❽「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❾ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥Winxp2k

❿ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [テストページを印刷しますか？]で[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

セットアップは完了です。

WindowsMe/98/2000にセットアップします

Windows2000ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 コンピュータの電源をONにし、Windowsを起動します。

プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示さます。その場合には、[キャンセル]をクリックし、プリンタの電源をOFFにしてから次に進んでください。

2 セットアップププログラムを起動します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷ [マイコンピュータ]を開きます。

❸ [CSPDV15]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❷ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❸ [ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

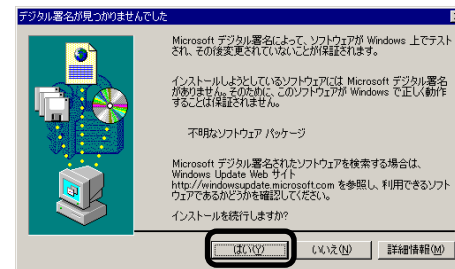
ネットワークで接続する場合は、「3　ネットワーク接続でWindowsにセットアップします」(53ページ)をご覧ください。

❹ポートで[USB]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

WindowsMe/98の場合は、ファイルのコピーが行われます。

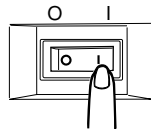
WindowsMe/98の場合
☞ 手順4(86ページ)へ進みます。

❻Windows2000で「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

ファイルのコピーが行われます。

☞ 手順4(86ページ)へ進みます。

4 USB ドライバをインストールします。

❶「ケーブル接続」の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
☞ ❸に進みます。

❷プリンタの電源をONにします。

USB ドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000の場合
☞ 87ページに進みます。

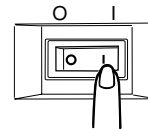
WindowsMeの場合
☞ 87ページに進みます。

Windows98の場合
☞ 89ページに進みます。

☞ ❶からの続き

❸ [再起動する]にチェックを付け、[完了]をクリックします。

Windowsが再起動されます。

❹ Windowsが完全に起動したら、プリンタの電源をONにします。

USBドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000の場合
☞ 87ページに進みます。

WindowsMeの場合
☞ 87ページに進みます。

Windows98の場合
☞ 89ページに進みます。

Windows2000の場合

❶ システム標準のUSBドライバが自動的にインストールされます。1～2分かかることがあります。

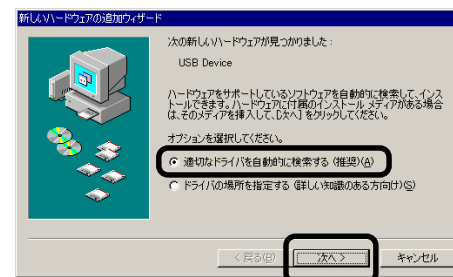
❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

WindowsMeの場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(95ページ)をご覧ください。

❶ [適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❷ [完了]をクリックします。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら？
☞ ❺へ進みます。

❸ 「CASIO SPEEDIA V1500」画面が表示されている場合は、[終了]をクリックします。

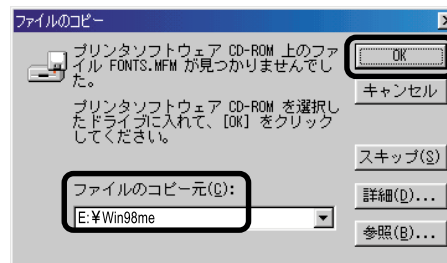
❹ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

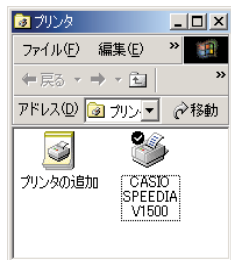
セットアップは完了です。

☞ ❷からの続き

❺ [ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥Win98me

ファイルのコピーが開始されます。

❻ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

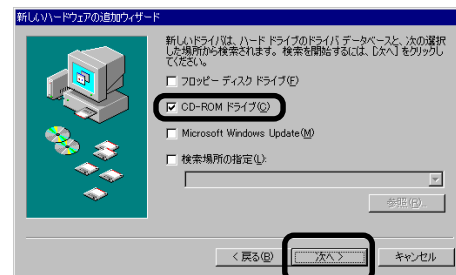
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

Windows98の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(97ページ)をご覧ください。

❶「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

❷ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ [CD-ROMドライブ]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

❹ [次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❺ [完了]をクリックします。

引き続きUSBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら？
☞ ❽へ進みます。

❻「CASIO SPEEDIA V1500」画面が表示されている場合は、[終了]をクリックします。

❼ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❺からの続き

❽「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、[OK]をクリックします。

❾ [ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。 E:¥Win98me

❿ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合 (WindowsMe/98/2000、USBインタフェース)

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。以下の手順に従ってセットアップを行います。

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ケーブルの接続」画面が表示されたら、USBケーブルの接続を確認し、電源をONにします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、Windowsを再起動した後、USBケーブルの接続を確認し、プリンタの電源をONにします。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(84ページ)をご覧ください。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ](WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX])を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択します。

❸ [詳細]タブの[印刷先のポート](WindowsXP/2000/Server2003では、[ポート]タブの[印刷するポート])で、接続先のポートを下記の設定にします。

WindowsXP/2000/Server2003…USBケーブルで接続する場合	[USBxxx]
WindowsMe/98…USBケーブルで接続する場合	[CVOUSBx]

- WindowsXP/2000/Server2003で、[印刷するポート]に[USBxxx]が表示されないときは、プリンタの電源がONになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。
- WindowsMe/98で[印刷先のポート]に[CVOUSBx]が表示されないときは、プリンタの電源がOFFになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度セットアップを行ってください。詳細は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(84ページ)をご覧ください。
- WindowsMe/98でセットアップ中に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(95ページ)、「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(97ページ)をご覧ください。
- WindowsMe/98の場合、ご利用の環境により[USBxxx]と表示される場合もあります。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合（WindowsMe/98/2000）

WindowsMe/98/2000とUSB接続する場合、プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行っているか確認してください。

1. プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。
2. USBケーブルを接続します。
3. プリンタの電源をONにします。
4. Windowsを起動します。
5. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」（Windows2000では「新しいハードウェアの検索ウィザード」）が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「プリンタソフトウェアCD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

WindowsXP/Server2003で、パソコンを起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示される場合

プリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップしていません。以下の手順に従って、セットアップしてください。

1. プリンタドライバを削除します。
2. 「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(80ページ)の手順に従ってセットアップします。

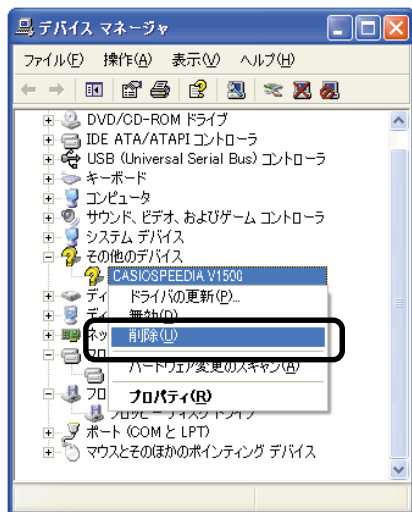
メモ 接続するポートを変えた場合も「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。できるだけ同じポートに接続してください。

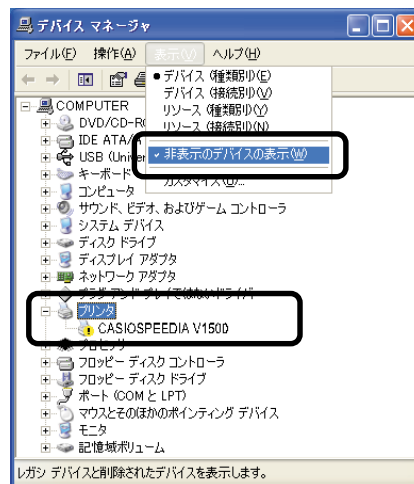
WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❷ [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。

❸ [その他のデバイス]の「CASIOSPEEDIA V1500」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

[その他のデバイス]が表示されなかったら？

[表示]メニューの[非表示のデバイスの表示]を選択し、[プリンタ]の[CASIOSPEEDIA V1500]をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

❹「デバイスの削除の確認」画面で[OK]をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックします。

❻ Windowsを再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞ 「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(80ページ)へ戻ります。

4 セットアップがうまくいかないとき

WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたドライバを引き続きインストールしてください。

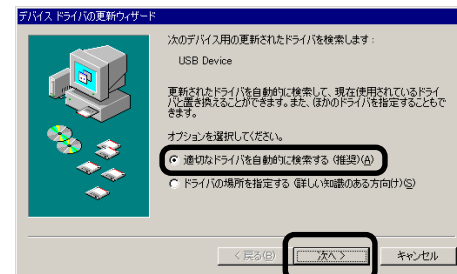
❶［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷［システム］をダブルクリックします。

❸［デバイスマネージャ］タブの［その他のデバイス］で［USB Device］を選択し、プロパティをクリックします。

❹［ドライバの再インストール］をクリックします。

❺「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❻「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

❼「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽［使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）］を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）」のチェックを外します。

❾ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。 E:¥Win98me

❿ [次へ]をクリックします。

⓫ 通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [印字テストを行いますか？]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

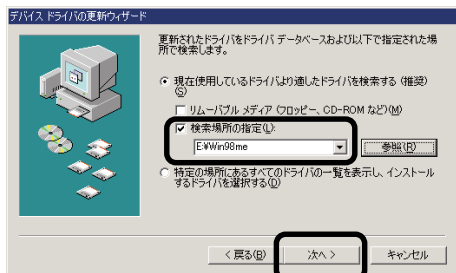
⓭ [完了]をクリックします。

⓮ [完了]をクリックします。

⓯ 「CVO USB Driverプロパティ」画面で[閉じる]をクリックします。

⓰ 「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックし、[コントロールパネル]を閉じます。

⓱ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

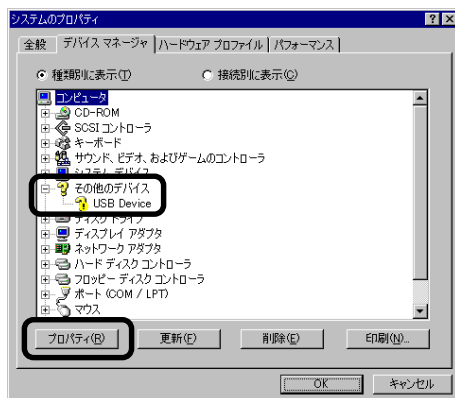
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたドライバを引き続きインストールしてください。

❶ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❷ [システム]をダブルクリックします。

❸ [デバイスマネージャ]タブの[その他のデバイス]で[USB Device]を選択し、プロパティをクリックします。

❹ [ドライバの再インストール]をクリックします。

❺「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

❻ [現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❽ [CD-ROM ドライブ]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

❾ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❿ [完了]をクリックします。

⓫「CVO USB Driverプロパティ」画面で[閉じる]をクリックします。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

⓬「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

⓭ [使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する(推奨)]を選択します。

⓮ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。 E:¥Win98me

⓯ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ]をクリックします。

⓰ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓱ [印字テストを行いますか？]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓲ [完了]をクリックします。

⓳「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックし、[コントロールパネル]を閉じます。

⓴ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

4
セットアップがうまくいかないとき

プリンタドライバを削除するには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷[CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❸以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹「プリンタ」フォルダ(WindowsXP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❺[ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。（WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

❸ [CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします（Windows Me/98の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。）

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

❼ [CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾〜❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ（Windows XP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ）の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫ Windowsを再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(80ページ)、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(84ページ)をご覧ください。

注

- 必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
- WindowsXPでは、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶〜❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98

[ドライバで使用されるファイル]以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003

[このドライバが使う追加ファイル]以下に記載されているバージョン

注

テストページ上に記載される[ドライバのバージョン](WindowsMe/98の場合、[ドライバ　バージョン])には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

USB接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
Windows95/3.1からアップグレードしたWindowsMe/98を使用しています。	動作保証できません。WindowsMe/98をクリーンインストールしたコンピュータを使用してください。
コンピュータがUSBインタフェースに対応していません。	デバイスマネージャでUSBコントローラが表示されるか確認してください。
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で[USB]を「ユウコウ」にしてください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に[検索場所の指定]、[場所の指定]が表示されます。	「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：「E:¥Win98me」 （ここではCD-ROMドライブがE：の場合を例にしています）
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
WindowsMe/98/2000で「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されません。	「セットアップがうまくいかないとき」をご覧ください。(92ページ)

5 パラレル接続でWindowsにセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

● Windows Server 2003
Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機で、双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
ただし、32ビット版のみの対応です。

● WindowsXP
WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98
WindowsMe/98日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
Internet Explorer 4.0以上がインストールされていること

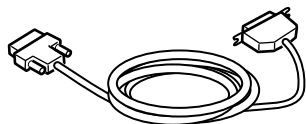
● Windows2000
Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

・日本語以外のOSには対応していません。
・MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。

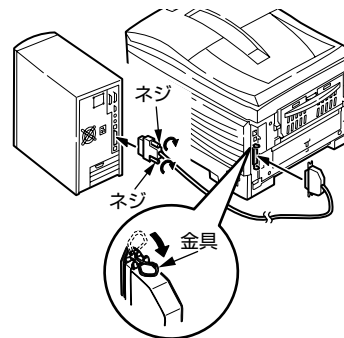
・コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードにすると、データ転送速度が向上する場合があります。設定方法はコンピュータの製造元にお問い合わせください。
・パラレルケーブルはシールドされたものをお使いください。(最長1.8m)

ケーブルを接続します

1 パラレルケーブルを準備します。

注 プリンタケーブルは添付されていません。IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを別途用意してください。

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

メモ プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

3 コンピュータとプリンタを接続します。

❶ パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。

❷ パラレルケーブルをコンピュータのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

メモ パラレル接続のセットアップ手順は、WindowsXP/Server2003の場合、「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(106ページ)、WindowsMe/98/2000の場合、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(110ページ)をご覧ください。

WindowsXP/Server2003にセットアップします

・WindowsXP/Server2003をお使いの方だけご覧ください。
・コンピュータの管理者の権限が必要です。
・パラレルインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタとWindowsXP/Server2003を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP/Server2003で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。

以下の説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

WindowsXP/Server2003 の CD-ROM ドライブを確認します。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

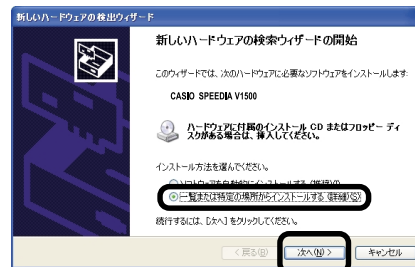
❷ [リムーバブル記憶域があるデバイス]-[CDドライブ(E:)]のカッコ内に表示されている英文字を確認します。

この場合は、[E]がCD-ROMのドライブです。

2 プリンタドライバをインストールします。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面で次の画面が表示されたら、[いいえ、今回は接続しません]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞ 「WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」(113ページ)へ進みます。

❹「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❺［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索］のチェックを外します。

❻［次の場所を含める］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥Winxp2k

❼「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ⓫へ進みます。

❽［完了］をクリックします。

❾［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❿「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。
（Windows Server2003の場合、［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

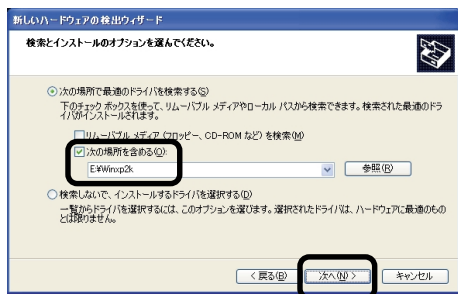
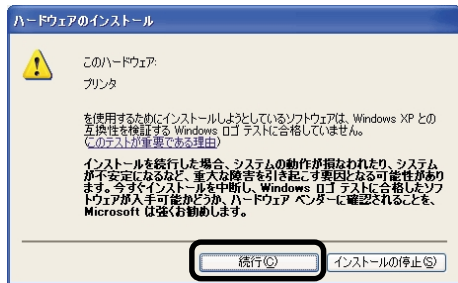
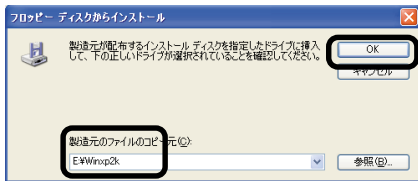
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❼からの続き

⓫「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⑫ [コピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥Winxp2k

ファイルのコピーが開始されます。

⑬ [完了]をクリックします。

⑭ [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

⑮「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。(Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶ コンピュータの電源をONにし、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

❷ [コントロールパネルを選んで実行します]の[プリンタとFAX]をクリックします。(Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❸ [プリンタのタスク]-[プリンタのインストール]をクリックします。(Windows Server2003の場合、[プリンタの追加]をダブルクリックします。)

❹「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

❺ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。

❻「次のポートを使用」画面で[LPT1:(推奨プリンタポート)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [ディスク使用]をクリックします。

❽「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❾ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。 E:¥Winxp2k

❿ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [テストページを印刷しますか?]で[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

セットアップは完了です。

WindowsMe/98/2000にセットアップします

・Windows2000ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示さます。その場合には、[キャンセル]をクリックし、プリンタの電源をOFFにしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷[マイコンピュータ]を開きます。

❸[CSPDV15]アイコンをダブルクリックして開きます。

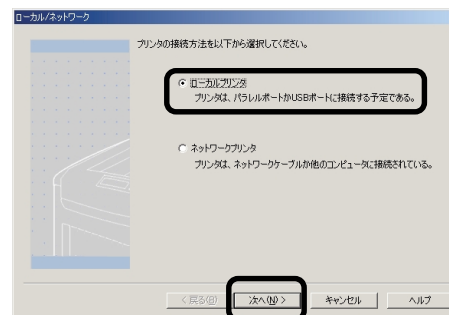
❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

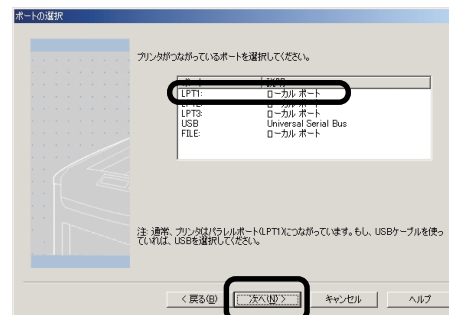
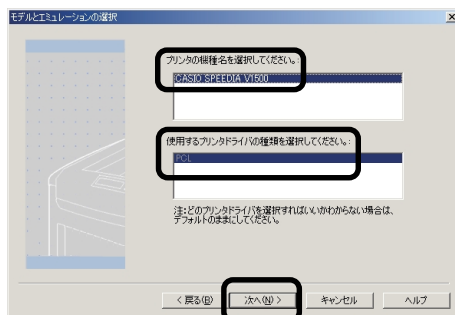
セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

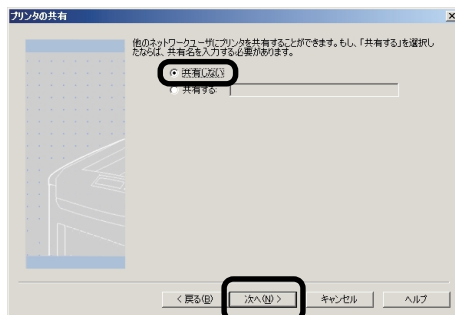
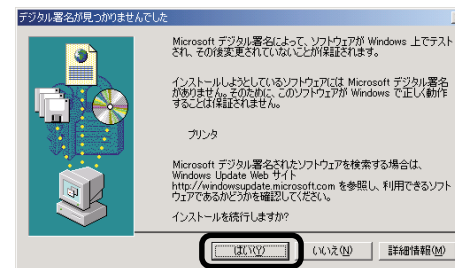
❷[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❸[ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「3　ネットワーク接続でWindowsにセットアップします」(53ページ)をご覧ください。

❹ポートで[LPT1]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

❻ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

WindowsMe/98では、ファイルのコピーが行われます。

❼ Windows2000の場合、「プリンタの共有」画面が表示されたら、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

 WindowsMe/98では表示されません。

❽ Windows2000の場合、「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

 WindowsMe/98では表示されません。

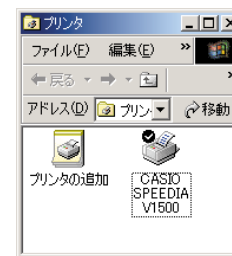
ファイルのコピーが行われます。

❾ [完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合
☞ ⓬に進みます。

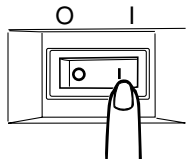
❿ [終了]をクリックします。

⓫ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❾からの続き

⓬「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、[再起動する]を選択し、[完了]をクリックします。

Windowsが再起動されます。

⓭ Windowsが完全に起動したら、プリンタの電源をONにします。

⓮ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

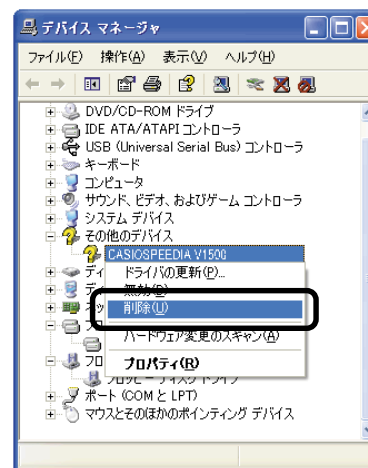
プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

1. [スタート]-[設定]-[プリンタ](WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX])を選択します。
2. プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択します。
3. [詳細]タブの[印刷先のポート](WindowsXP/2000では、[ポート]タブの[印刷するポート])で、接続先のポートを下記の設定にします。

パラレルケーブルで接続する場合	[LPT1]

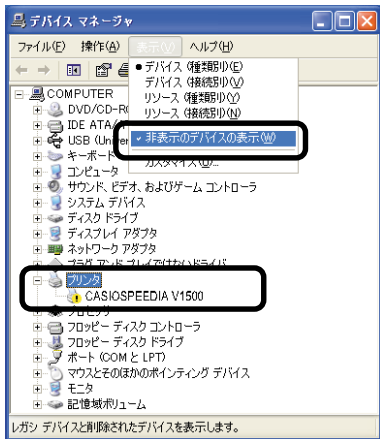
WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

1. [スタート]-[マイコンピュータ](Windows Server2003ではデスクトップ上の[マイコンピュータ])をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
2. [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。
3. [その他のデバイス]の「CASIOSPEEDIA V1500」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

5

セットアップがうまくいかないとき

[その他のデバイス]が表示されなかったら？

[表示]メニューの[非表示のデバイスの表示]を選択し、[プリンタ]の「CASIOSPEEDIA V1500」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

❹「デバイスの削除の確認」画面で[OK]をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックします。

❻ Windowsを再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(106ページ)へ戻ります。

プリンタドライバを削除するには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷［CASIO SPEEDIA V1500］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹「プリンタ」フォルダ（WindowsXP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❺［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。（WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

❸ [CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします。（Windows Me/98の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。）

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

電源の切り方は「電源を切ります」（24ページ）をご覧ください。

❼ [CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾〜❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ（Windows XP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ）の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫Windowsを再起動します。

⓬新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(106ページ)、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(110ページ)をご覧ください。

注
・必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
・WindowsXP/Server2003では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭❶〜❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98
[ドライバで使用されるファイル]以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
[このドライバが使う追加ファイル]以下に記載されているバージョン

注
テストページ上に記載される[ドライバのバージョン](WindowsMe/98の場合、[ドライバ　バージョン])には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

パラレル接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
コンピュータが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	双方向パラレルインタフェースをサポートしているコンピュータを使用してください。
パラレルケーブルが規格に合っていない可能性があります。	IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で[セントロ]を[ユウコウ]にしてください。(46ページ)
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
パラレルケーブルが外れています。	パラレルケーブルを差し込んでください。
パラレルケーブルに問題があります。	予備のパラレルケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブルなどを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。

現　象	対処方法
セットアップの途中で画面に[検索場所の指定]、[場所の指定]が表示されます。	「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：「E:¥Win98me」 （ここではCD-ROMドライブがE：の場合を例にしています。）
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。

6 印刷します

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、プリンタのメニュー設定の[メディアウェイト]、[メディアタイプ]で設定する内容が異なります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」(126ページ)と「メディアウェイトとメディアタイプを設定します」(127ページ)をご覧ください。

種類	サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ
普通紙	A4	210×297	連量55～172kg(64～200g/m²) 両面印刷(オプション)の場合、連量55～90kg(64～105g/m²) 使用できる用紙サイズは、「A4、A5、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブ」です。
	A5	148×210	
	A6	105×148	
	B5	182×257	
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
	リーガル(13インチ)	215.9×330.2(8.5×13)	
	リーガル(13.5インチ)	215.9×342.9(8.5×13.5)	
	リーガル(14インチ)	215.9×355.6(8.5×14)	
	エグゼクティブ	184.2×266.7(7.25×10.5)	
	カスタム	幅　100～215.9 長さ148～1200 ただし、長さが356mm以上の場合は幅は210～215.9mmです。	連量55～172kg(64～200g/m²) 長さが356mm以上の長尺用紙の場合は110kg(128g/m²)です。
はがき	はがき	100×148	官製はがき
	往復はがき	148×200	
封筒	封筒1(長形3号)	120×235	85g/m²の紙を使用したもの
	封筒2(長形4号)	90×205	
	封筒3(洋形4号)	105×235	
	封筒4(A4サイズ)	210×297	
	Com-9	98.4×225.4(3.875×8.875)	24lbの紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	Com-10	104.8×241.3(4.125×9.5)	
	DL	110×220(4.33×8.66)	
	C5	162×229(6.38×9.02)	
	Monarch	98.4×190.5(3.875×7.5)	
ラベル紙	A4	210×297	0.1～0.2mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
OHPシート	A4	210×297	0.1～0.125mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
部分印刷用紙	－	－	連量55～172kg(64～200g/m²)
カラー用紙	－	－	連量55～172kg(64～200g/m²)

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：FX P紙（富士ゼロックス製）（64g/m²）
  FX J紙（富士ゼロックス製）（82g/m²）
  FX JD紙（富士ゼロックス製）（98g/m²）
  エクセレントホワイト A4（OKIカラーページプリンタ用紙）
  （型名：PPR-CA4NA）
  両面印刷の場合は、エクセレントホワイト A4（厚口）
  （型名：PPR-CA4DA）
- 用紙の厚さが連量55～172kg（64～200g/m²）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
  カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
  推奨再生紙　銘柄名　：　Green 100（富士ゼロックス製）
  再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（210度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、光沢紙、湿式PPC用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- マルチパーパストレイで印刷するとシワが出ることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙に表面の向きが表示されている場合は、表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 官製はがき、および折っていない官製往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用官製はがき
- 2mm以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- はがきの自動両面印刷はできません。また、2回通紙で両面印刷するときは、反りを2mm以下に直して1枚ずつ手差しで印刷してください。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- 推奨紙：クラフトサイド閉じ（長形3号：N3S-108）（イムラ封筒）
  クラフトサイド閉じ（長形4号：N4S-108）（イムラ封筒）
- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒
- 長形3号、長形4号、洋形4号、A4サイズは坪量85g/m²の紙を使用した封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒

・印刷後は反りやシワが発生することがあります。
・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約5mmは印刷品位が低下することがあります。
・封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
・必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
・封筒の両面印刷はできません。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-A690～696（コクヨ製）（総厚：147μm）
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式PPC用のラベル紙
- プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが0.1～0.2mmのラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙

・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
・必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

OHPシート

次の条件に合ったOHPシートを使用してください。

- 推奨紙 ：MLカラーOHPシート MLOHP01（沖カラーページプリンタ用紙）
CG3720（3M）
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 電子写真プリンタ用または乾式PPC用に作られたOHPシート
- プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きないOHPシート
- 用紙の厚さが0.1～0.125mmのOHPシート

・OHPシートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
・印刷後はうねりが発生することがあります。
・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・表面に滑りやすいコーティングをしたOHPシートは滑って吸入できないことがあります。
・推奨紙以外のOHPシートを使用すると、種類によっては定着ユニットのローラに巻きついたりしてプリンタが故障するおそれがあります。
・OHP装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で230℃に耐えるもの

印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：±2mm、用紙の斜行：±1mm/100mm、画像伸縮：±1mm/100mm（連量70kg（坪量81.4g/m^2）の場合）

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で230℃に耐えるもの
- 用紙特性が白色紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：エクセレントホワイト　A4長尺(OKIカラーページプリンタ用紙)
(型名：PPR-CT4DA)
- 用紙サイズは幅210〜215.9mm、長さ356〜1200mm　連量110kg (128g/m²)

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑(すべすべ)すぎる用紙、粗い(ザラ紙、繊維質)用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている(湿っている)用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工(シボ)、浮き出し加工(エンボス)、コーティング加工をした用紙(コート紙)
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性(210度)のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、光沢紙、湿式PPC用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
- 長さが400mmを超える用紙は、「きれい」(1200×600dpi)では印刷されません。「ふつう」(600×600dpi)で印刷されます。
- 連量110kg(坪量128g/m²)以外の長尺用紙は、印刷品位は保証できません。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- 長尺印刷を行う場合は、64MB増設メモリモジュールの追加を推奨します。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度20℃、湿度50%RHの環境

次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙」(120ページ)をご覧ください。

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

◎：片面、両面印刷*2 とも使用できます
○：片面印刷のみ使用できます
◬：一部のサイズで使用できます（片面印刷、両面印刷とも）
△：一部のサイズで使用できます（片面印刷のみ）
×：使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙カセット*1		マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
			トレイ1	トレイ2*2			
普通紙*3*8	連量 55～64kg (64～74g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	◬*5	◬*6	◬	◬	◬*5
	連量 65～90kg (75～105g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	◬*5	◬*6	◬	◬	◬*5
	連量 91～105kg (106～120g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	△*5	△*6	○	○	△*5

種類	厚さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙カセット*1		マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
			トレイ1	トレイ2*2			
普通紙*3*8	連量 106～150kg (121～175g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	×	○	○	○	○
		A6	×	×	○	○	×
		カスタム*4	×	△*6	○	○	△*5
	連量 151～172kg (176～200g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	×	×	○	○	×
		A6	×	×	○	○	×
		カスタム*4	×	×	○	○	×
はがき*7		はがき, 往復はがき	×	×	○	○	×
封筒*7*8	— —	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) 封筒4(A4サイズ) Com-9, Com-10, DL C5, Monarch	×	×	○	○	×
ラベル紙*7		A4, レター	×	×	○	○	×
OHPシート		A4, レター	×	×	○	○	×

*1：上から順にトレイ1、トレイ2(拡張ペーパフィーダセット)となります。
*2：トレイ2(拡張ペーパフィーダセット)、両面印刷はオプションです。
*3：全ての用紙は縦送りです。
*4：カスタムは幅100～215.9mm、長さ148～1200mmです。ただし、長さが356mm以上の場合は幅210～215.9mmとなります。両面印刷可能なサイズは幅148～215.9mm、長さ210～355.6mmです。
*5：幅105～215.9mm、長さ148～355.6mmです。
*6：幅148～215.9mm、長さ210～355.6mmです。
*7：はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートを設定すると印刷速度が遅くなります。
*8：高温多湿により波打ちが発生した用紙は使用しないでください。(用紙にシワが発生することがあります。)

用紙サイズをA6、A5サイズおよび用紙幅が150mm以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。

メディアウェイトとメディアタイプを設定します

プリンタの操作パネルでメディアウェイト、メディアタイプを設定します。
メディアウェイトは用紙の厚さ、メディアタイプは用紙の種類に関する設定です。

- メディアウェイト、メディアタイプを適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、定着ユニットを傷めるおそれがあります。
- 用紙の種類と厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。

1 用紙の種類と厚さから、メディアウェイト、メディアタイプの設定値を確認します。

種　類	厚　さ	プリンタドライバの［用紙厚］の設定*2	操作パネルの設定値	
			メディアウェイト（用紙の厚さ）	メディアタイプ（用紙の種類）*1
普通紙*3	55～64kg (64～74g/m^2)	普通紙	フツウシ	フツウシ
	65～89kg (75～104g/m^2)	厚い紙	アツイカミ	
	90～103kg (105～120g/m^2)	より厚い紙	ヨリアツイカミ	
	104～172kg (121～200g/m^2)	ごく厚い紙	ゴクアツイカミ	
はがき*4	104～172kg (121～200g/m^2)	—	—	—
封筒*4	—	—	—	—
ラベル紙	—	ラベル紙1	ヨリアツイカミ	ラベルシ
	—	ラベル紙2	ゴクアツイカミ	
OHPシート*5	0.1～0.17mm未満	OHPシート	—	OHP

*1：メディアタイプの工場出荷時の設定は［フツウシ］です。
*2：用紙の厚さ・種類は操作パネルとプリンタドライバで設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバ設定が優先されます。プリンタドライバの［給紙方法］で［自動選択］が選択されている場合、または［用紙厚］で［プリンタ設定］が選択されている場合は、操作パネルの設定で印刷します。
*3：両面印刷できる用紙の厚さは連量55～90kg(64～105g/m^2)です。
*4：はがき、封筒はメディアウェイト、メディアタイプの設定の必要はありません。
*5：OHPシートはメディアタイプのみ設定します。メディアウェイトの設定は必要ありません。

メディアウェイトの［ヨリアツイカミ］、［ゴクアツイカミ］、メディアタイプの［ラベルシ］、［OHP］を設定すると、印刷速度が遅くなります。

2 操作パネルでメディアウェイトを設定します。

・プリンタドライバでメディアウエイトを設定した場合は、操作パネルで以下の設定を行う必要はありません。
・メディアウエイトは、給紙するトレイごとに設定してください。
・はがき、封筒は設定の必要はありません。

ここでは、トレイ1で普通紙(連量70kg(坪量81.4g/m²)紙)に印刷するときの設定手順([トレイ1　メディアウエイト]を[アツイカミ]に設定します)を説明します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[トレイ1　メディアウエイト]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

❺ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[アツイカミ]を表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

3 操作パネルでメディアタイプを設定します。

・プリンタドライバでメディアタイプを設定した場合は、操作パネルで以下の設定を行う必要はありません。
・メディアタイプの工場出荷時の設定は[フツウシ]です。普通紙に印刷する場合はそのまま使用してください。
・メディアタイプは、給紙するトレイごとに設定してください。
・ラベル紙、OHPシートは必ず設定してください。
・はがき、封筒は設定の必要はありません。
・メディアタイプは[フツウシ]、[ラベルシ]、[OHP]以外は設定しないでください。

ここでは、マルチパーパストレイでOHPシートに印刷するときの設定手順([MPトレイ　メディアタイプ]を[OHP]に設定します)を説明します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ 「設定 ／実行」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[MPトレイ　メディアタイプ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

❺ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[OHP]を表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

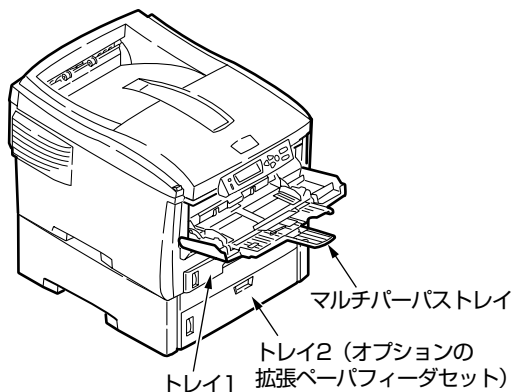
❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

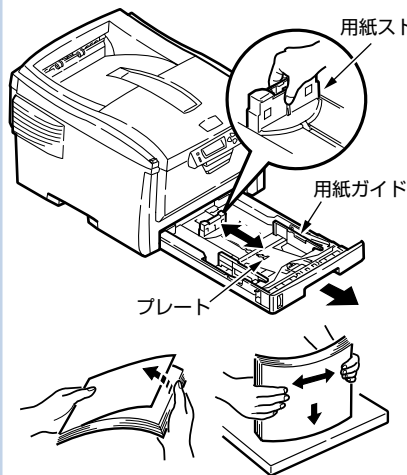
印刷します

給紙方法は、トレイ1、トレイ2(オプションの拡張ペーパフィーダセット)、マルチパーパストレイの3通りあります。

普通紙(A6はトレイ1のみ)は用紙カセットから印刷します。
はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは用紙カセットから印刷できません。
用紙カセットは、トレイと呼ぶ場合があります。
トレイ1、トレイ2とも同じ操作になります。

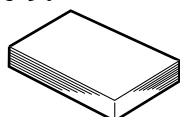
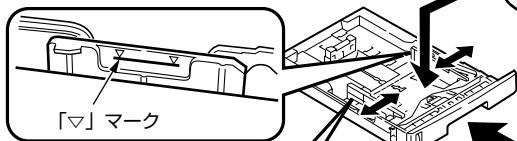
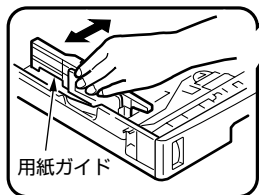
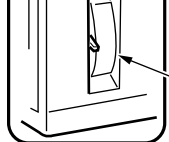
はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートはマルチパーパストレイから印刷します。普通紙も印刷できます。

マルチパーパストレイで手差し印刷をすることもできます。
コンピュータから印刷を実行した後にプリンタに用紙をセットし、1枚ずつ確認してから 「オンライン」スイッチを押して印刷をします。

1 用紙をセットします。

用紙カセットの場合（トレイ1、トレイ2）

❶ 用紙カセットを引き出し、用紙ストッパを使用する用紙サイズの位置に固定します。
A6サイズの用紙(トレイ1のみ可能)をセットするときは、用紙ストッパを取り外し、A6サイズの位置に取り付けてください。

用紙カセットを引き抜いて落とさないようご注意ください。安全のために用紙カセットを取り外して用紙をセットすることをお勧めします。

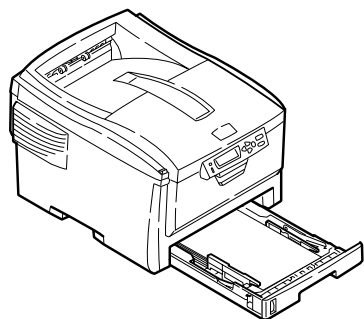
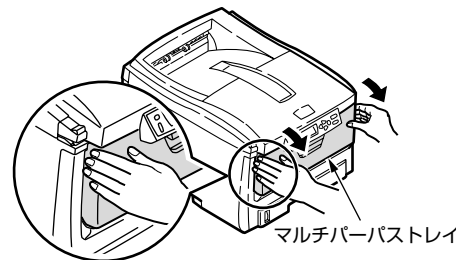
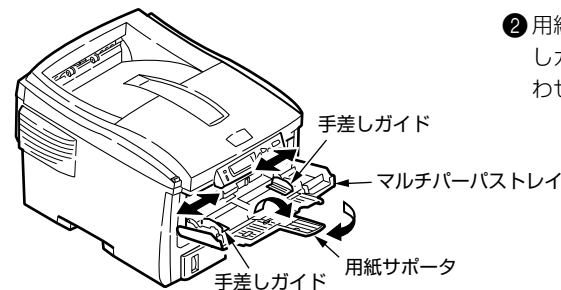
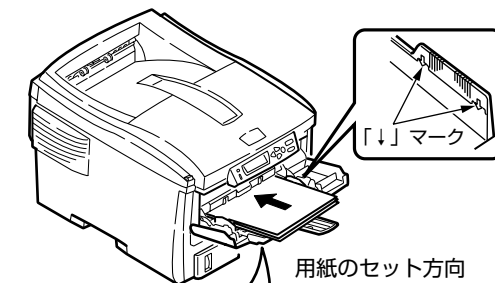
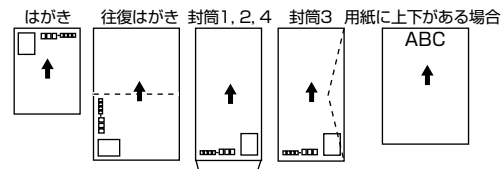
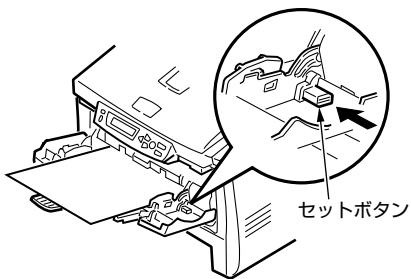
❷ 用紙をさばき、上下左右をそろえます。

用紙で手を切らないようご注意ください。

❸ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

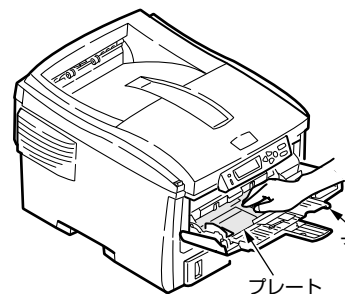
注

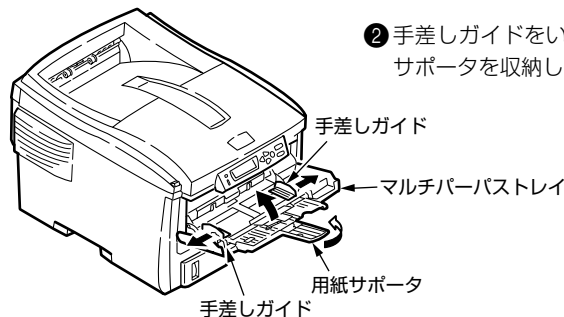
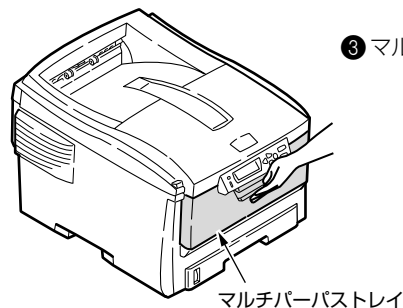
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。(連量70kg(坪量81.4g/m²)紙で300枚)

❹ 用紙ガイドで用紙を固定します。

❺ 用紙カセットをプリンタに戻します。

マルチパーパストレイの場合

❶ マルチパーパストレイを開けます。

❷ 用紙サポータを開き、手差しガイドを用紙サイズに合わせて調節します。

❸ 印刷する面を上向きに用紙をまっすぐにをセットします。
セットできる量は「↓」マークまでです。「↓」マークを越えた用紙は取り除いてください。

❹ セットボタンを横から押して用紙が持ち上がれば準備完了です。

・適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）
・用紙ガイドと用紙ストッパは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
・用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットしてください。（連量70kg（坪量81.4g/m^2）紙で300枚）（トレイ2（オプション）では530枚、マルチパーパストレイでは100枚）
・マルチパーパストレイにセットできるはがきは40枚、封筒は10枚、OHPシートは50枚です。（推奨紙にて）
・用紙は縦送りでセットしてください。
・サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
・用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。用紙を追加した部分で重送（2枚以上が重なって出てくる）が発生しやすくなります。
・用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
・印刷中の用紙カセットおよび両面印刷時やトレイ2（オプション）からの印刷時のトレイ1の用紙カセットは引き出さないでください。
・他のプリンタ等で一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
・用紙カセットでは、はがき、封筒、OHPシート、ラベル紙を使用できません。
・はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以内に修正してください。（マルチパーパストレイ）
・封筒は縦送りでセットしてください。（マルチパーパストレイ）
・封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
・マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

マルチパーパストレイの閉じ方

❶ マルチパーパストレイのプレートを、ロックするまで手で押し下げます。

注 必ずプレートをロックしてからマルチパーパストレイを閉じてください。ロックしないと、マルチパーパストレイが開かなくなる場合があります。

❷ 手差しガイドをいっぱいに広げ、用紙サポータを収納します。

❸ マルチパーパストレイを閉じます。

2 操作パネルで用紙サイズを設定します。

プリンタ出荷時にはトレイ1、トレイ2（オプションの拡張ペーパフィーダセット）、マルチパーパストレイの用紙サイズが［A4］で設定されています。A4 以外の用紙で印刷する場合には、下記の手順に従ってユーザメニューの用紙サイズを変更する必要があります。

・用紙サイズは、Webページからも設定できます。詳しくは、「Windowsソフトウェア」の「Webブラウザ」（応用編 32ページ）をご覧ください。

ここでは、トレイ1でB5用紙に印刷するときの設定手順（［トレイ1　ヨウシサイズ］を［B5］に設定します）を説明します。

❶ ＋ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ ＋ 「メニュー＋」スイッチまたは － 「メニュー－」スイッチを数回押し、［トレイ1　ヨウシサイズ］を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

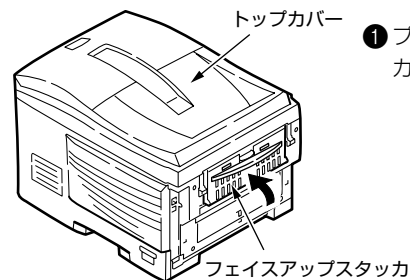
❺ ＋ 「メニュー＋」スイッチまたは － 「メニュー－」スイッチを数回押し、［B5］を表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

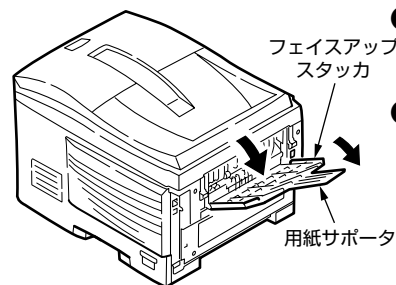
❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

3 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量70kg（坪量81.4g/m²）紙で約250枚をためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量70kg（坪量81.4g/m²）紙で約100枚ためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

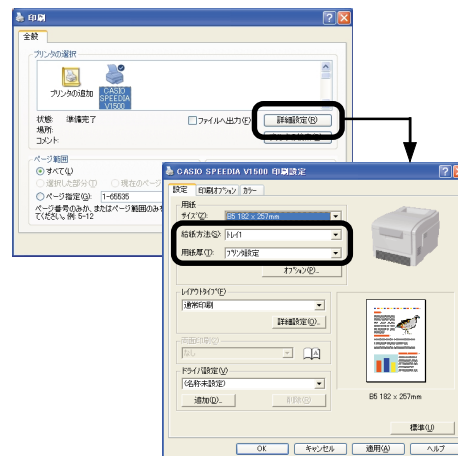
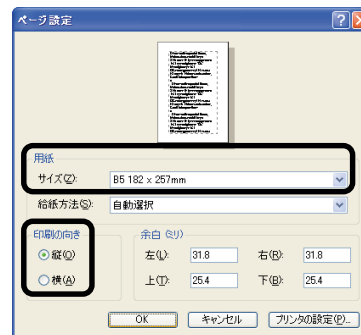
注 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

- Windowsの[ワードパッド]を使い、トレイ1でB5サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの[用紙厚]ではメディアウエイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。[用紙厚]の初期値の[プリンタ設定]では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は、「便利な印刷機能」の「プリンタドライバのデフォルトを変更したい」（応用編 76ページ）をご覧ください。

メモ ［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「便利な印刷機能」の「トレイを自動的に選択したい」（応用編 55ページ）をご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［B5］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1］を選択します。

❻［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❼［OK］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❽「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

7 プリンタの設定項目について

現在の設定を確認します（メニューマップ/ステータスページ印刷）

・ユーザメニューの設定とネットワークの設定情報のみ印刷されます。アドミニストレータメニューの設定は印刷されません。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

A4用紙以外で印刷を行うと、全ての内容が印刷されないことがあります。

❷ 「メニュー＋」スイッチを押し、［インフォメーション　メニュー］を表示します。

❸ 「設定／実行」スイッチを押し、［メニューマップ　インサツ／ジッコウ］を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

メニューマップ印刷が開始されます。（2枚）
続いてネットワークの設定情報（Network Information）が印刷されます。（4枚）

（サンプル）

MenuMap　SPEEDIA V1500

Printer Serial Number:AE4B019821　プリンタ管理番号:
CU version:C1.28 [I01.22 U02.13 S2.4.3v B01.09 PPC750CXe 400MHz 00083410 00020020 F35]
PU version:01.02.07 [PI02.21 L000.12.03 DU01.00.04 T201.00.02]　ET:000000010404041C231E090F01000000　KYMC-0000
PCL Program version:02.14 [0A.16 X01.12 P F]
両面印刷:installed トレイ1:A4　トレイ2:A4(Empty)
Total Memory Size:128 MB　DIMM Slot A:CU Program ROM
Flash Memory:4 MB [F35]
HDD:20.00 GB [F35]
JPOEM1　LCD:T1　PNL:T1

項目	設定
印刷ジョブメニュー	
パスワード入力	
インフォメーションメニュー	
メニューマップ印刷	
ファイルリスト印刷	
PCLフォント印刷	
DEMO1	
エラーログ印刷	
シャットダウン メニュー	
シャットダウン スタート	
印刷メニュー	
コピー枚数	1
両面印刷	オフ
給紙トレイ	トレイ1
自動トレイ切り替え	オン
トレイ選択順序	下方向
MPトレイの使い方	使用しない
用紙チェック	有効
解像度	600DPI
トナーセーブモード	オフ
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ
メディアメニュー	
トレイ1用紙サイズ	A4
トレイ1用紙タイプ	普通紙
トレイ1用紙厚	普通紙
トレイ2用紙サイズ	A4
トレイ2用紙タイプ	普通紙
トレイ2用紙厚	普通紙
MPトレイ用紙サイズ	A4
MPトレイ用紙タイプ	普通紙
MPトレイ用紙厚	普通紙
カスタム用紙設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル
カラーメニュー	
自動濃度補正モード	自動
濃度補正	
カラー調整	
シアン HIGHLIGHT	0
シアン MID-TONE	0
シアン DARK	0
マゼンタ HIGHLIGHT	0
マゼンタ MID-TONE	0
マゼンタ DARK	0
イエロー HIGHLIGHT	0
イエロー MID-TONE	0
イエロー DARK	0
ブラック HIGHLIGHT	0
ブラック MID-TONE	0
ブラック DARK	0
シアン濃度	0
マゼンタ濃度	0
イエロー濃度	0
ブラック濃度	0
自動色ずれ補正	
シアン位置ずれ微調整	0
マゼンタ位置ずれ微調整	0
イエロー位置ずれ微調整	0
UCR	少ない
CMY100%濃度	無効
システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	60 分
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
マニュアルタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
エラーレポート印刷	オフ
言語	日本語
PCL エミュレーション	
使用フォント	内蔵フォント
フォントNo.	1000
フォントサイズ	12.00 ポイント
シンボルセット	WIN3.1J
A4印字幅	78 桁
白紙ページ除外	オン
CR 動作	CR のみ
LF 動作	LF のみ
印刷領域	ノーマル
イメージ黒選択	混合黒
ペン幅補正	オン
セントロ メニュー	
セントロ	有効
双方向セントロ	有効
ECP	有効
ACK幅	狭い
ACK/BUSYタイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
USBメニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
SPEED	480Mbps
シリアルナンバ	有効

現在のメニュー設定を保存します

プリンタの操作パネルでの設定を保存できます。

注
・ユーザメニューのみ保存できます。
・「NETWORK MENU」カテゴリは保存されません。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、［メンテナンス　メニュー］を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、［メニュー　セッテイヲ　ホゾン／ジッコウ］を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押し、［ジッコウシマスカ？］を表示します。

❺ 「設定／実行」スイッチを押します。

設定値が保存されます。

メモ　現在の設定を、保存されている設定に変更することができます。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、［メンテナンス　メニュー］を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、［ホゾンメニューニ　モドス／ジッコウ］を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押し、［ジッコウシマスカ？］を表示します。

❺ 「設定／実行」スイッチを押します。

設定値が、保存されている設定に変更されます。

設定値を初期化します

・ユーザメニューのみ初期化します。
・「NETWORK MENU」カテゴリの初期化は、「NETWORK MENU」カテゴリ内の[INITIALIZE　NIC?]で行ってください。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[メンテナンス　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[メニュー　リセット／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

8 メンテナンスをします

トナーセットを交換します

トナーセットの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに[＊　トナーコウカン　ジュンビ](＊は各色を表わします)のメッセージが表示されますので、新しいトナーセットを準備してください。そのまま印刷を続けると[トナーヲ　コウカンシテクダサイ]を表示して印刷を停止しますので、トナーセットを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーセットを外して、ドラムセット内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーセットに交換してください。
トナーセット交換の目安は、5%の印刷密度の場合(1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合)、A4サイズの用紙(片面印刷時)で以下の通りです。

- 約5,000枚

新しいドラムセットに1本目のトナーセットを取りつけたときの交換の目安は以下のように1,500枚分少なくなります。これは、新しいドラムセット内にトナーが入っていないので、1本目のトナーセットからトナーを充填するためです。

- 約3,500枚

オンライン ＊　トナーコウカン　ジュンビ	→	トナーヲ　コウカンシテクダ゛サイ ｎｎｎ：＊　トナー　ナシ

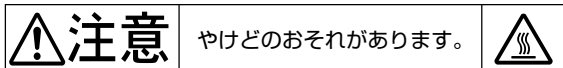
[トナーコウカン　ジュンビ]を表示してから[トナー　ナシ]になるまでの目安は、約250枚です。(A4サイズ、片面印刷、5%印刷密度の場合)

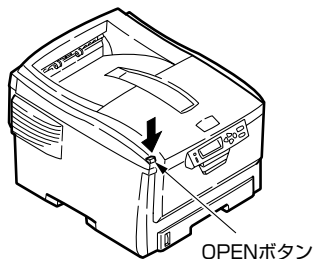
・スタータトナー(製品購入時に添付されているトナーセット)は、A4, 5%の印刷密度の場合、約1,500枚印刷可能です。
・開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーセットを準備してください。
・[トナーヲ　コウカンシテクダサイ]表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、ドラムセットの故障の原因となりますので、トナーセットを交換してください。
・商品本来の性能を発揮させるために、カシオ計算機純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)

品　名	型　名
トナーセット　ブラック	V15-TSK
トナーセット　イエロー	V15-TSY
トナーセット　マゼンタ	V15-TSM
トナーセット　シアン	V15-TSC

※プリンタをお買い求めの販売店でお求めください。

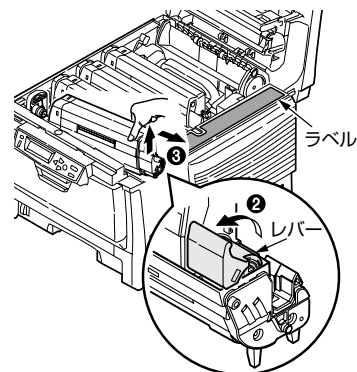
トナーセットを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのトナーセットを取り出します。

警告	使用済みトナーセットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

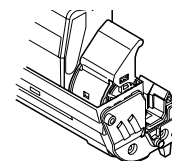
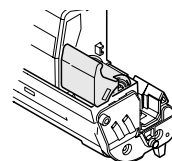
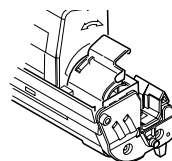
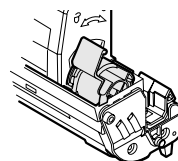
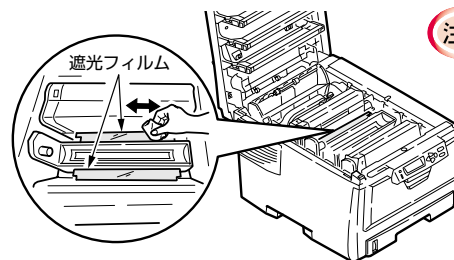
取り外したトナーセットからトナーがこぼれることがありますので、新聞紙、又は同梱の説明書などを敷いて作業してください。

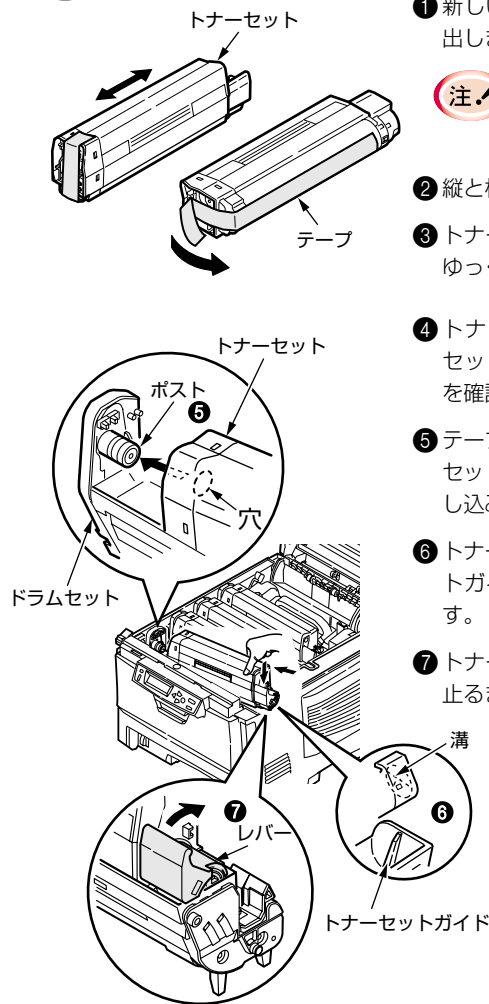
使用済みトナーセットの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(170ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

❶ 交換するトナーセットをラベルの色で確認します。

❷ トナーセットの青いレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

❸ トナーセットのレバー側の端を持って、斜めに持ち上げます。

❹ トナーセットを斜めにしたまま、横方向に引き抜きます。

【トナーセットのレバー位置】

・トナーセットのレバーと反対側はドラムセットのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。
・スタータトナーがセットされている場合は、[トナー　ナシ]になってから交換してください。別売のトナーセットをセットした後は、スタータトナーは使用できなくなります(「54＊：＊トナーセンサーエラー」表示)。

注 トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LEDレンズにトナーがつく可能性があります。LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパで拭きとってください。

3 新しいトナーセットをセットします。

❶ 新しいトナーセットを包装袋から取り出します。

新しいトナーセットの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーセットを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

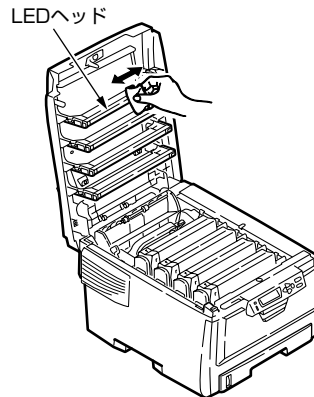
❹ トナーセットのラベルの色とドラムセットのラベルの色が合っていることを確認します。

❺ テープをはがした面を下にして、トナーセットの穴をドラムセットのポストに差し込みます。

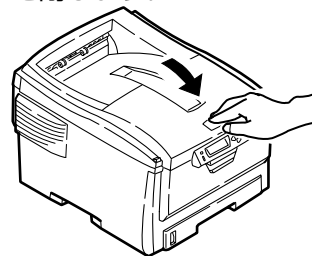
❻ トナーセットの右側の溝を トナーセットガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーセットのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

・トナーセットを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーセットのレバーとドラムセットのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーセットは取り付けられないようになっています。
・トナーセットがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーでLED ヘッドのレンズ面を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ LEDレンズクリーナは、交換用トナーセットに添付されています。

5 トップカバーを閉じます。

メモ トナーセットを交換しても、[トナーヲ　コウカンシテクダサイ]のメッセージが消えないときは、トナーセットを取り付け直してください。

ドラムセットを交換します

ドラムセット交換の目安

ドラムセットが寿命になると操作パネルに[＊　ドラムコウカン　ジュンビ](＊は各色を表わします)のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[ドラムヲ　コウカンシテクダサイ]を表示して印刷を停止します。
ドラムセット交換の目安は、A4サイズの用紙(片面印刷時)で約15,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況(一度に3枚ずつ)で印刷した場合の枚数です。1枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。(連続印刷で約22,000枚に相当します。)

オンライン ＊　ト゛ラムコウカン　ジュンビ	→	ト゛ラムヲ　コウカンシテクタ゛サイ nnn：＊　ト゛ラム　シ゛ュミョウ

メモ　[ドラムコウカン　ジュンビ]を表示してから[ドラム　ジュミョウ]になるまでの目安は、約500枚です。(A4サイズ、片面印刷、一度に3枚ずつ印刷した場合)

・開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいドラムセットを準備してください。
・「ドラムヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとトナーが残っていれば印刷を続けることはできますが、印刷品質が低下することがありますので、早めに交換してください。
・封筒、はがき、ラベル紙、ごく厚い紙の場合、モノクロ印刷でもカラードラムを消費する場合があります。

・商品本来の性能を発揮させるために、カシオ計算機純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。
(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)

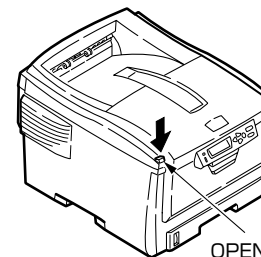
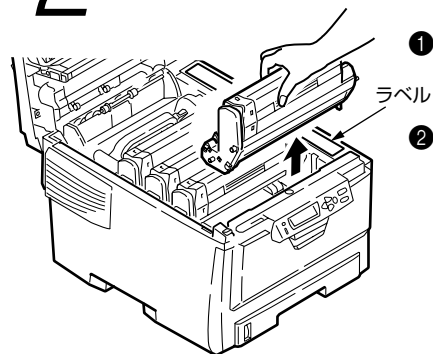
品　名	型　名
ドラムセット　ブラック	V15-DSK
ドラムセット　イエロー	V15-DSY
ドラムセット　マゼンタ	V15-DSM
ドラムセット　シアン	V15-DSC

※プリンタをお買い求めの販売店でお求めください。

ドラムセットを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのドラムセットを取り出します。

❶ 交換するドラムセットをラベルの色で確認します。

❷ トナーセットをつけたまま、ドラムセットを取り出します。

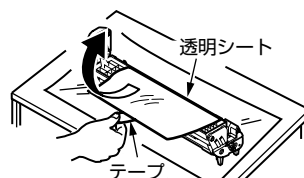
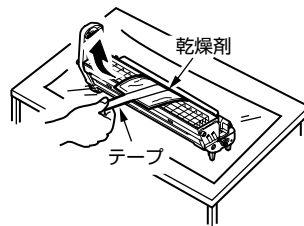
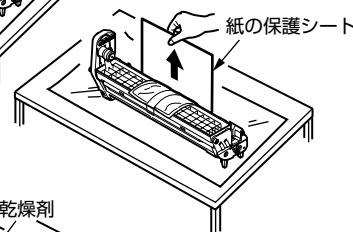
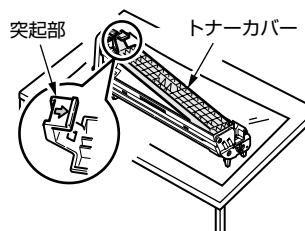
⚠警告	使用済みドラムセットとトナーセットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

注 トナーセットやドラムセットからトナーがこぼれることがありますので、新聞紙、又は同梱の説明書などを敷いて、平らな場所で作業してください。

メモ 使用済みドラムセットとトナーセットの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(170ページ) をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

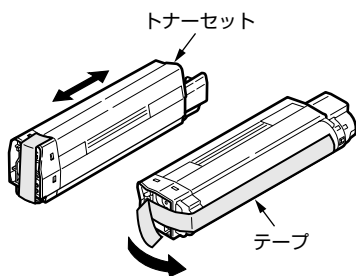
3 新しいドラムセットを準備します。

ドラムセットを傾けないでください。トナーがこぼれる場合があります。

- ドラムセット(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- ドラムセットは、直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

❶ 透明シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❷ 乾燥剤を取り外します。

❸ トナーカバーを取り外します。

4 同梱の新しいトナーセットをドラムセットに取り付けます。

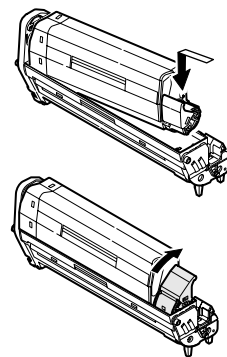
今まで使用していたトナーセットを取り付けることも可能ですが、以下の理由により、同梱の新しいトナーセットを使用されることを推奨します。

- ・今まで使用していたトナーセットが開封後1年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- ・新しいドラムセット内にはトナーが入っていないため、取り付けたトナーセットからトナーが充填されます。残量の少ないトナーセットを取り付けた場合、すぐに「トナーヲ　コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示される場合があります。
- ・今まで使用していたトナーセットを取り付けた場合、「トナーコウカン　ジュンビ」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

❶ トナーセットを包装袋から取り出します。

同梱のトナーセットの色に間違いがないことを確認してください。

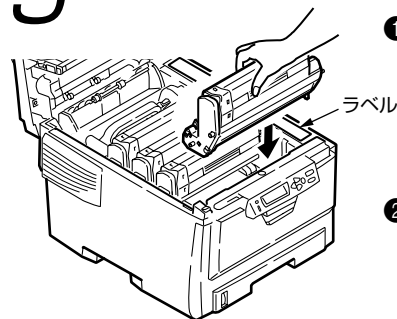
❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーセットを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

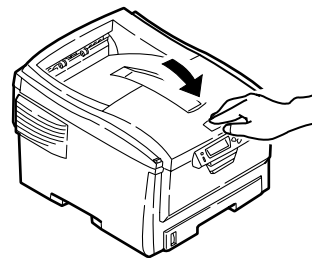
❹ トナーセットのラベルの色とドラムセットのラベルの色が合っていることを確認します。

❺ テープをはがした面を下にして、トナーセットの穴をドラムセットのポストに差し込みます。

❻ トナーセットの右側の溝をトナーセットガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーセットのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

5 ドラムセットをプリンタにセットします。

❶ ドラムセットのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認します。

❷ ドラムセットを静かにセットします。

6 トップカバーを閉じます。

転写ベルト ユニットを交換します

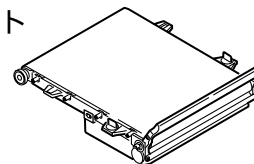
転写ベルト ユニット交換の目安

転写ベルト ユニットの交換時期になると、操作パネルに[ベルト　コウカン　ジュンビ]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[ベルトヲ　コウカンシテクダサイ]を表示し印刷を停止しますので、新しい転写ベルト ユニットに交換してください。

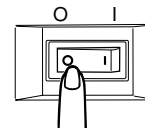
転写ベルト ユニット交換の目安は、A4サイズの用紙(片面印刷時)で約50,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合(一度に3枚ずつ)の枚数です。1枚ずつ印刷する場合には、約半分で転写ベルト ユニットの寿命になります。また、使用する用紙の種類や使用方法によって、劣化の程度が異なりますので、寿命表示よりも早く交換が必要になる場合があります。

オンライン ヘ゛ルト　コウカン　ジュンビ		ヘ゛ルトヲ　コウカンシテクタ゛サイ nnn：ヘ゛ルト　シ゛ュミョウ

[ベルト　コウカン　ジュンビ]を表示してから[ベルト　ジュミョウ]になるまでの目安は、約750枚です。(A4サイズ、片面印刷、一度に3枚ずつ印刷した場合)

「ベルトヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、プリンタの故障の原因となりますので、転写ベルト ユニットを交換してください。

転写ベルト ユニット

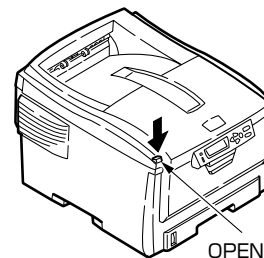
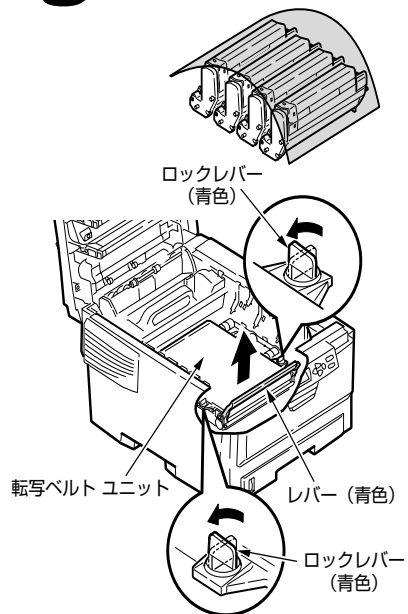
型名：V15-BLT

プリンタをお買い求めの販売店でお求めください。

転写ベルト ユニットを交換します

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みの転写ベルト ユニットを取り出します。

❶ ドラムセット（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

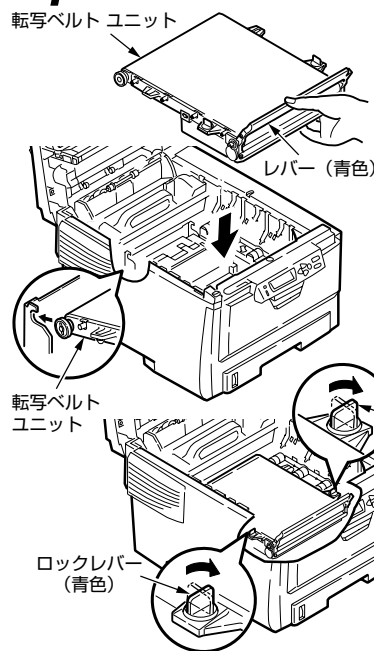
❷ 取り出したドラムセットに黒い紙（新聞紙など）をかぶせます。

❸ ロックレバー（青色2ヶ所）を矢印 の方向に回転し、レバー（青色）を持ち、転写ベルト ユニットを取り外します。

メモ
・使用済みの転写ベルト ユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（170 ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

注
・ドラムセット（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
・ドラムセットは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

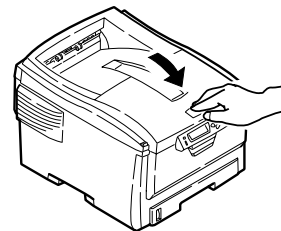
⚠警告	使用済み転写ベルト ユニットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

4 新しい転写ベルト ユニットをセットします。

❶ 新しい転写ベルト ユニットを包装袋から取り出します。

❷ 転写ベルト ユニットのレバー（青色）を持ち、転写ベルト ユニットをセットします。

❸ ロックレバー（青色2ヶ所）を矢印 の方向に回転し、転写ベルト ユニットが確実に固定されたことを確認します。

❹ ドラムセット（4個）を静かにプリンタに戻します。

5 トップカバーを閉じます。

注 ドラムセットがセットできなかったり、トップカバーが閉まらない場合は、転写ベルト ユニットのロックレバーの位置を確認してください。

定着ユニットを交換します

定着ユニット交換の目安

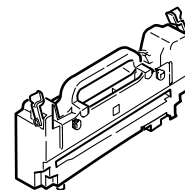
定着ユニットの交換時期になると、操作パネルに[テイチャクキ　コウカン　ジュンビ]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると、操作パネルに[テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ]のメッセージが表示され、印刷を停止しますので、新しい定着ユニットに交換してください。
定着ユニット交換の目安は、A4サイズの用紙(片面印刷時)で約45,000枚です。ただし、使用する用紙の種類や使用方法によって、劣化の程度が異なりますので、寿命表示よりも早く交換が必要になる場合があります。

オンライン テイチャクキ　コウカン　ジ゛ュンビ゛

テイチャクキヲ　コウカンシテクダ゛サイ 354：テイチャクキ　ジ゛ュミョウ

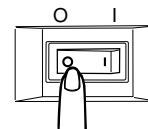
メモ [テイチャクキ　コウカン　ジュンビ]を表示してから[テイチャクキ　ジュミョウ]になるまでの目安は、A4サイズ(片面印刷)で約750枚です。

「テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、プリンタの故障や紙づまりの原因となりますので、定着ユニットを交換してください。

定着ユニット

型名：V15-FUS

プリンタをお買い求めの販売店でお求めください。

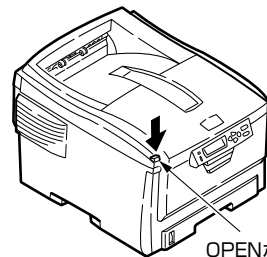
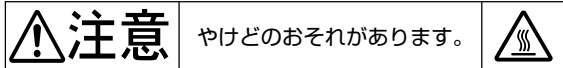
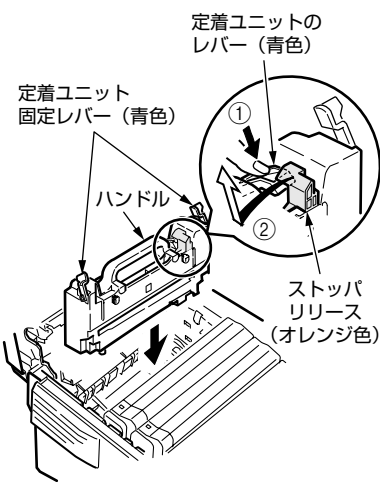
定着ユニットを交換します

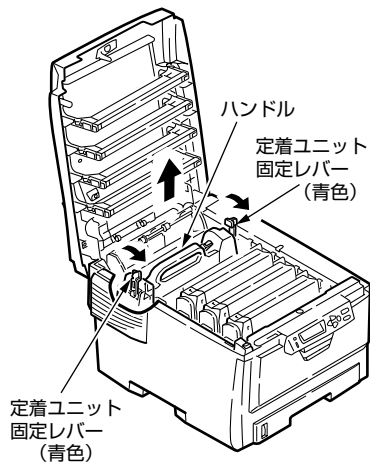
1 プリンタの電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

やけどのおそれがあります。

定着ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

8

定着ユニットを交換します

3 使用済みの定着ユニットを取り出します。

⚠注意 やけどのおそれがあります。

定着ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶ 定着ユニット固定レバー（青色２ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷ 定着ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

メモ 使用済みの定着ユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（170ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

4 新しい定着ユニットをセットします。

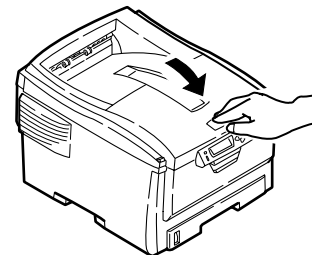
❶ 新しい定着ユニットを包装袋から取り出します。

❷ 定着ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパリリース（オレンジ色）を矢印②の方向へ取り外します。

注 ストッパリリースはプリンタを輸送するときに使います。必ず保管してください。

❸ 定着ユニットのハンドルを持ち、定着ユニットをプリンタの中へ静かに入れます。

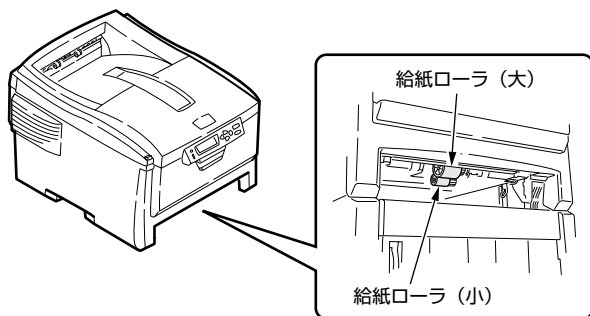
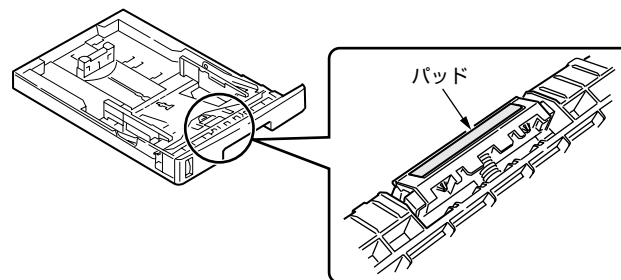
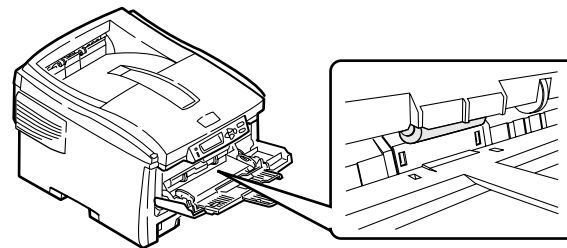
❹ 定着ユニット固定レバー（青色２ヶ所）を奥側に倒し、固定します。

5 トップカバーを閉じます。

給紙ローラとパッドを清掃します

[391：ヨウシ　ジャム]が頻発する場合に行ってください。

1 用紙カセットを引き出します。

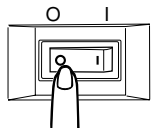
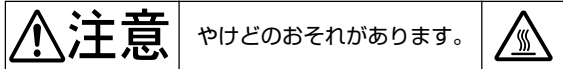
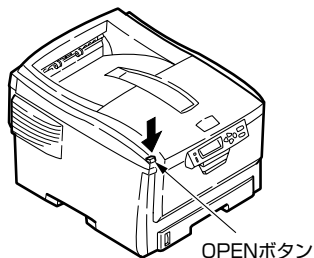
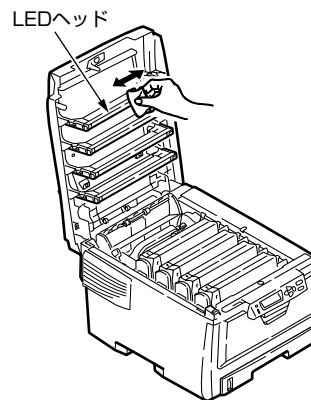
2 給紙ローラ（大）、給紙ローラ（小）を、水を含ませてかたく絞った布またはLEDレンズクリーナで拭きます。

メモ LEDレンズクリーナは、交換用トナーセットに添付されています。

3 用紙カセットのパッド部分を、水を含ませてかたく絞った布またはLEDレンズクリーナで拭きます。

注
- [392：ヨウシ　ジャム]が頻発する場合は拡張ペーパフィーダセット(オプション)を同様に清掃してください。
- [390：チェックMPトレイ]が頻発する場合は、マルチパーパストレイの給紙ローラとパッドを同様に清掃してください。

LEDヘッドを清掃します

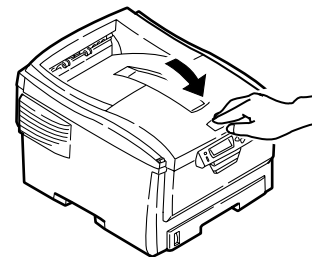
印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面（4ヶ所）を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ LEDレンズクリーナは、交換用トナーセットに添付されています。

4 トップカバーを閉じます。

色ずれ補正調整をします

プリンタは電源をONにしたときやトップカバーを開閉したとき、また連続して印刷しているとき400枚印刷するごとに自動的に色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[ジドウ　イロズレ　ホセイ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

[オンライン／カラー　チョウセイチュウ]と表示して、色ずれ補正調整動作が開始されます。

濃度補正調整をします

プリンタは新しいドラムセットを取り付けたとき、また連続して印刷しているとき500枚印刷するごとに自動的に濃度補正調整を行いますが、印刷濃度が気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

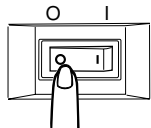
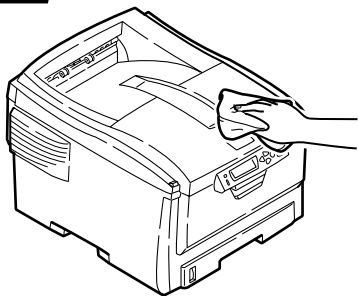
❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[ノウド　ホセイ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

[オンライン／ノウド　ホセイチュウ]と表示して、濃度補正調整動作が開始されます。

プリンタ表面を清掃します

1 プリンタの電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

2 プリンタの表面を拭きます。

❶水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

❷柔らかい乾いた布で拭きます。

- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

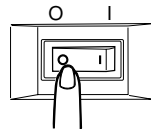
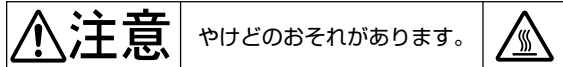
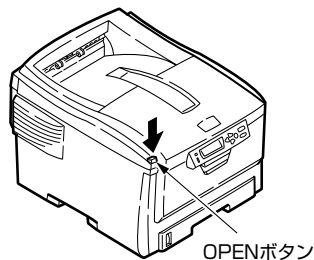
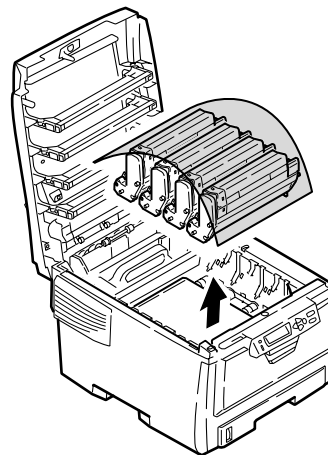
プリンタ内部を清掃します

ABCDE
ABCDE

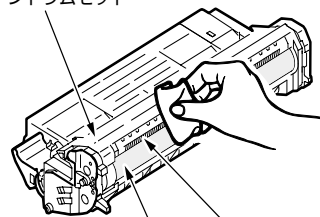
図のようなトナー汚れが発生するときは、以下の手順でプリンタ内部のシアンドラムセットのフレームと、定着ユニット手前の金属シャフトに付着したトナーを清掃してください。特に両面印刷のときに用紙の後端に汚れが発生しやすくなります。

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

やけどのおそれがあります。

定着ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 ドラムセットを取り出します。

1. ドラムセット（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。
2. 取り出したドラムセットに黒い紙をかぶせます。

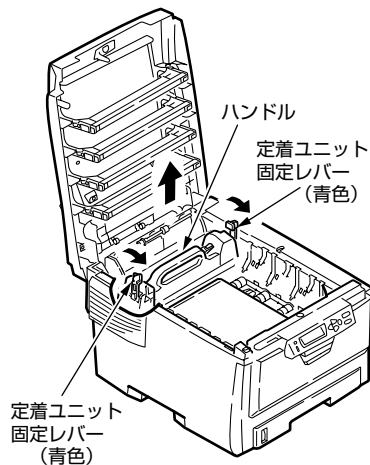
注 ドラムセットは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

4 シアンドラムセットのフレームを拭きます。

1. シアンドラムのフレームに付着しているトナーを、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭きます。

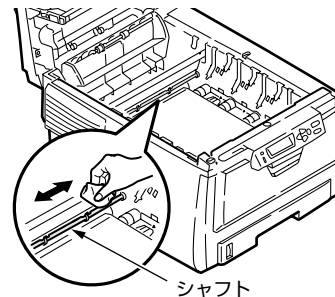
注 ドラムセット（緑の筒の部分）に傷をつけないようご注意ください。

5 定着ユニットを取り出します。

⚠注意	やけどのおそれがあります。

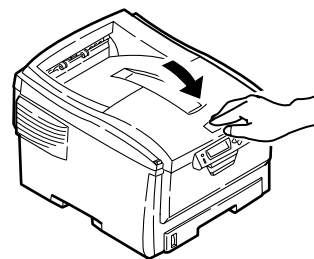
定着ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶ 定着ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷ 定着ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

6 LED レンズクリーナ、柔らかい布、またはティッシュペーパーで金属シャフトを拭きます。

7 定着ユニットをセットします。

詳しくは「定着ユニットを交換します」（148 ページ）をご覧ください。

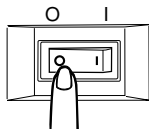
8 ドラムセット（4 個）を静かにプリンタに戻します。

9 トップカバーを閉じます。

プリンタを輸送するとき

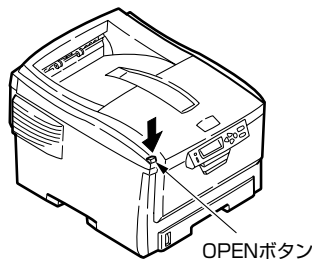
プリンタは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

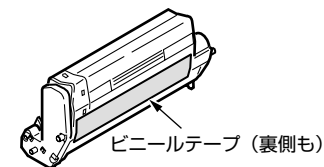
1 プリンタの電源を OFF にし、次の部品を取り外します。

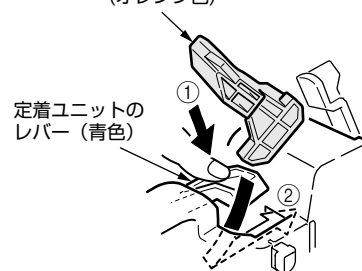
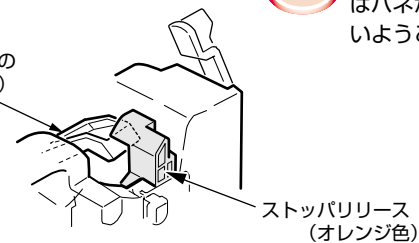
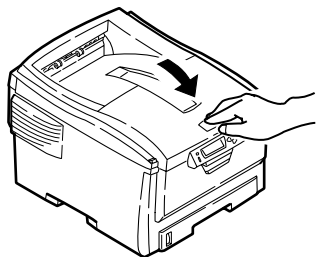
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

- 電源コード、アース線
- プリンタケーブル
- 用紙カセットに入っている用紙

2 トップカバーを開け、ドラムセット（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

注意	やけどのおそれがあります。	

定着ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 ドラムセットとトナーセットの接合部分をビニールテープで止めて、プリンタに戻します。

プリンタにドラムセットを同梱して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。

4 定着ユニットにストッパリリースを取り付けます。

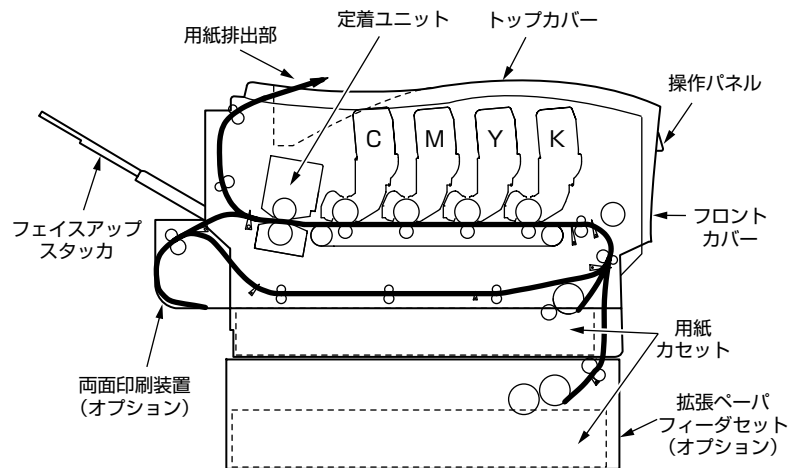
❶ 定着ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、矢印②の方向にストッパリリース（オレンジ色）を取り付けます。

定着ユニットのレバー（青色）はバネが強いので、ケガをしないようご注意ください。

5 トップカバーを閉じます。

6 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

注 プリンタ購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

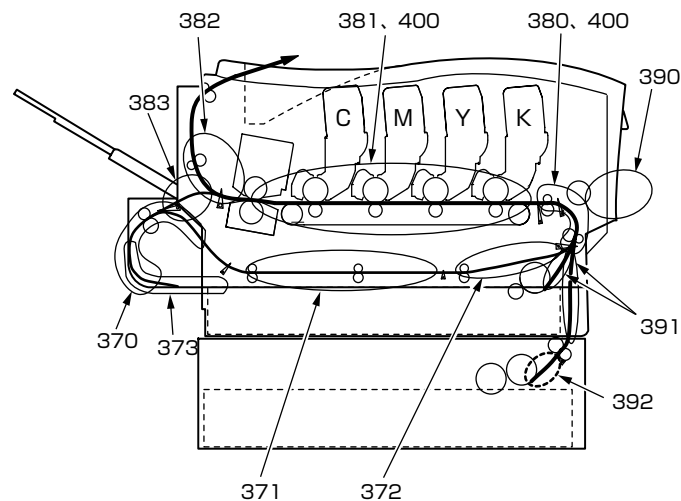
メモ プリンタを輸送後、再度設置するときには、ドラムセットとトナーセットを止めたテープをはがし、ストッパリリースを取り外してください。

9 紙づまりになったとき

紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると、操作パネルに[ヨウシ　ジャム]メッセージが表示されます。
次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

（プリンタを横から見た図）

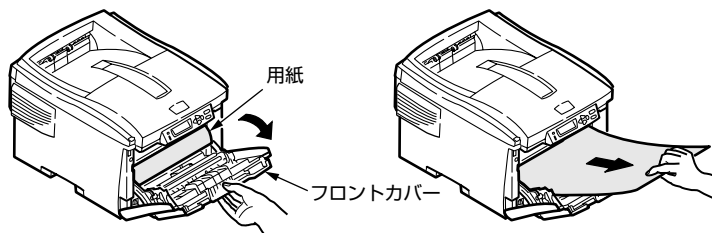
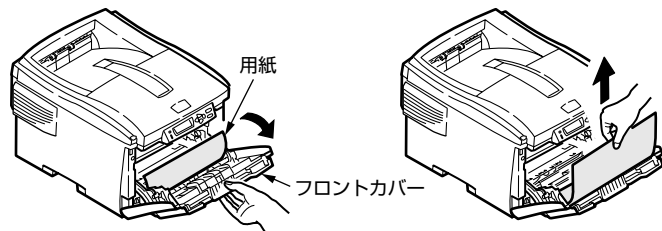
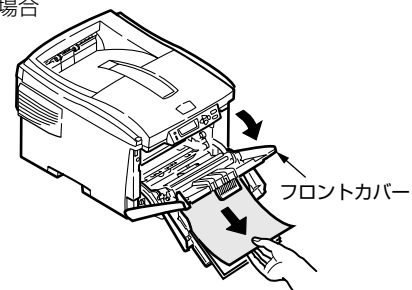
紙づまり（ジャム）発生場所とエラーコード

紙づまりの場所がエラーコードで表示されるので、場所を確認します。

（プリンタを横から見た図）

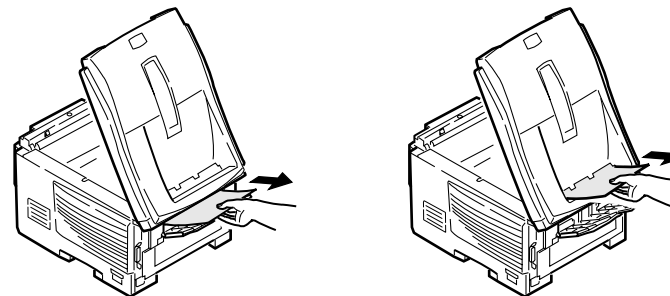
7 つまった用紙を取り除きます。

フロントカバー部(コード：372、380、390、391、400)

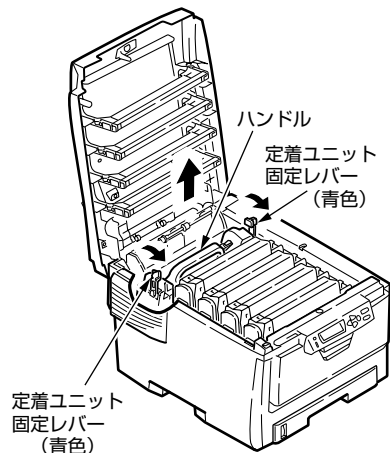
フロントカバーを開け、用紙の先端および後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。
コード400の場合、用紙が自動的に排出されることがあります。この場合は、フロントカバーを開閉するとエラーは解除されます。

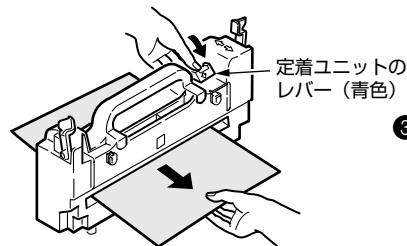
後端が見える場合

先端が見える場合

先端が見えない場合

用紙排出部(コード：382)

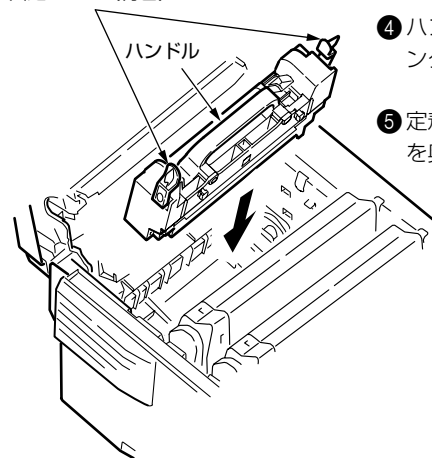
トップカバーを開け、排出口から用紙をゆっくり引き出します。

用紙排出部でつまった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着ユニットを傷めるおそれがあります。

定着ユニット部(コード：381、382、383)

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

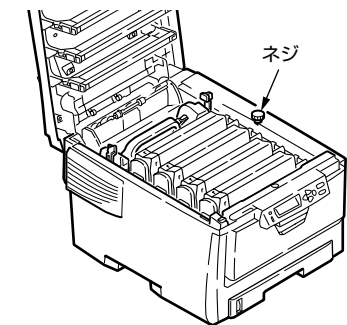
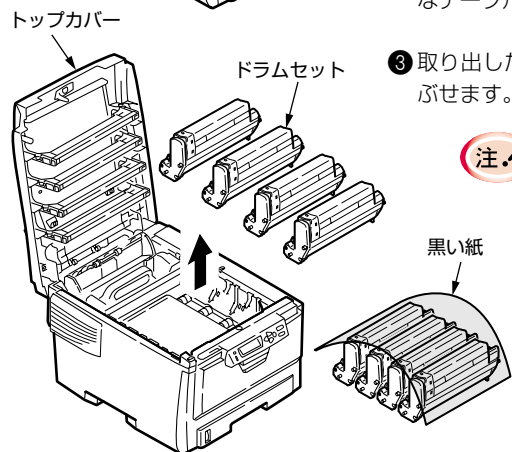
定着ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

❶ 定着ユニット固定レバー（青色２ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷ ハンドルを持ち定着ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

定着ユニットの
レバー（青色）

❸ 定着ユニットのレバー（青色）を矢印の方向に押しながら、つまった用紙を必ず矢印方向（手前方向）へゆっくり引き出します。

❹ ハンドルを持ち、定着ユニットをプリンタの中へ静かに戻します。

❺ 定着ユニット固定レバー（青色２ヶ所）を奥側に倒し、固定します。

注 定着ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、印刷が汚れる場合があります。メニューマップ/ステータスページ印刷(「現在の設定を確認します(メニューマップ/ステータスページ印刷)」(136ページ))、白紙等を数回印刷してください。

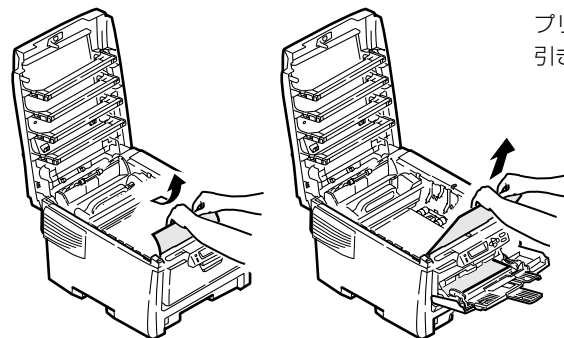
つまった用紙を取り除いても紙づまりエラーが解除されない場合は、以下の手順で他のつまった用紙を取り除きます。

❶ネジに手を触れて静電気を逃がします。

❷ドラムセット（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

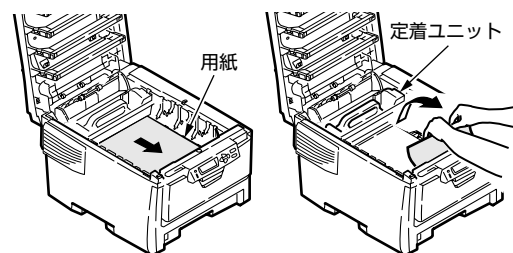
❸取り出したドラムセットに黒い紙をかぶせます。

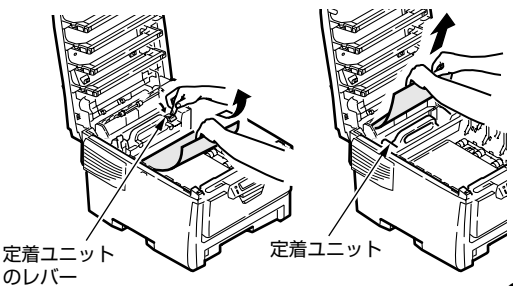
注

- ドラムセット（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- ドラムセットは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5分間以上は放置しないでください。

❹つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙先端が見えている場合

プリンタ内部へゆっくり引き出します。

用紙の先端も後端も見えない場合

つまっている用紙を矢印方向にずらしてからゆっくり引き出します。

用紙の後端が見えている場合

定着ユニットのレバーを矢印方向に押しながらつまっている用紙をゆっくり引き出します。

❺ドラムセットを戻します。

両面印刷装置部(オプション)(コード：370、371、373)

❶ 両面印刷装置部のジャム解除レバーを押して、両面印刷装置カバーを開きます。

❷ つまっている用紙を取り出します。
用紙が見えない場合は、一旦両面印刷装置カバーを閉めてください。用紙が自動的に排出されます。

注 両面印刷装置を抜く場合は、プリンタの電源を OFF にしてください。

拡張ペーパフィーダセット部(オプション)(コード：391、392)

❶ 拡張ペーパフィーダセット部の用紙カセットを抜いて用紙を取り除きます。

❷ 用紙を除去後、操作パネルの下の取っ手を持ち、フロントカバーを開閉してください。

付　録

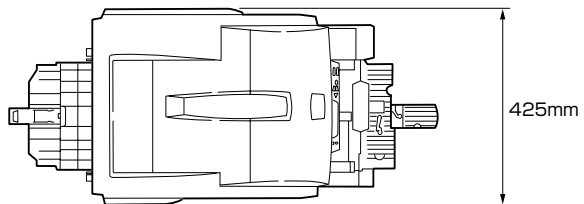
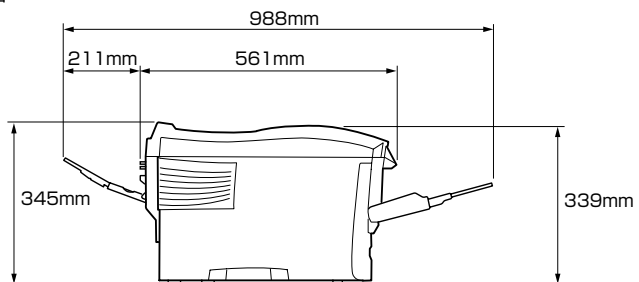
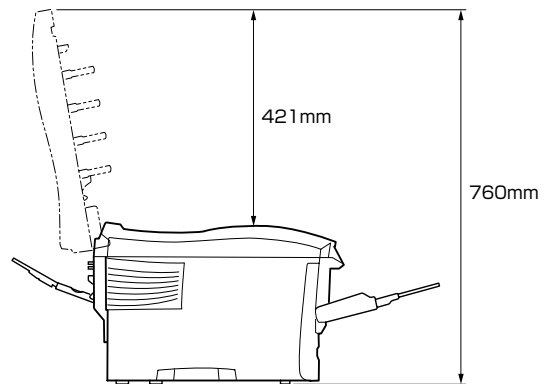
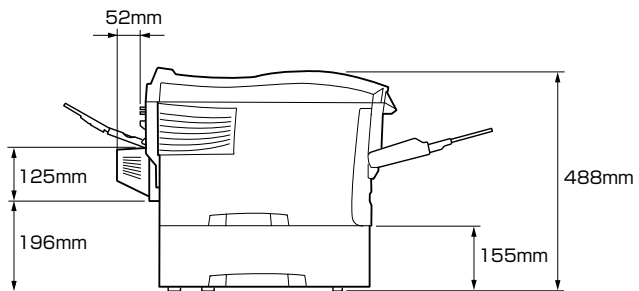
主な仕様

印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600ドット/インチ(LEDヘッド)　600×600dpi/600×1200dpi(印刷解像度)
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の4色
CPU	PowerPC750CXプロセッサ(400MHz)
RAM容量	64MB(最大128MB)
対応OS	Windows Server2003/XP/Me/98/2000
印刷言語	PCL5cエミュレーション
内蔵フォント	PCL5c：日本語4書体、欧文84書体
インタフェース	USB（Hi-Speed USBをサポート）、100BASE-TX/10BASE-T、IEEE std 1284-1994準拠パラレル
印刷速度 *1	カラー　：16ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、5ページ/分（OHPシート）、 7ページ/分（104kg(121g/m^2)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙）、 13ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4時） モノクロ：24ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、10ページ/分、（OHPシート）、 7ページ/分（104kg(121g/m^2)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙）、 19ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4時）
用紙サイズ *2	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル13インチ、リーガル13.5インチ、リーガル14インチ、 エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒（9種）
用紙種類 *2	普通紙／連量55～172kg（坪量64～200g/m^2）、官製はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙 拡張ペーパフィーダセット（オプション）による自動給紙
給紙容量	用紙カセット　:普通紙300枚／連量70kg（坪量81.4g/m^2）　総厚30mm以下 マルチパーパストレイ　:普通紙100枚／連量70kg（坪量81.4g/m^2）　総厚10mm以下 はがき40枚、封筒10枚／坪量85g/m^2
排出方法 *2	フェイスアップ（表排出）／フェイスダウン（裏排出）
排出容量	フェイスアップ：約100枚／連量70kg（坪量81.4g/m^2）
印刷保証範囲	フェイスダウン：約250枚／連量70kg（坪量81.4g/m^2） 用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm ただし、連量70kg（坪量81.4g/m^2）の場合
ウォーミングアップ時間	電源投入後90秒以内（25℃）
電源	AC100V±10%、50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時　：最大950W、平均420W(25℃) 待機時　：最大850W、平均130W(25℃) 節電モード時　：最大25W
突入電流	70A以下(25℃)
使用環境条件	動作時：10～32℃／20～80%RH（最高湿球温度25℃、最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0～43℃／10～90%RH（最高湿球温度26.8℃、最高乾球湿球温度差2℃）
印刷品質保証条件	温度10℃時　湿度30～73%RH、温度32℃時　湿度30～54%RH、 湿度30%RH時　温度10～32℃、湿度80%RH時　温度10～27℃、 カラー印刷時　温度17～27℃、湿度50～70%RH
標準使用条件	平均電源ON時間　：220H／月　平均印刷枚数　：4,000枚／月
消耗品・ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾕﾆｯﾄ	トナーセット、ドラムセット、転写ベルトユニット、定着ユニット
装置寿命	5年または42万枚
総重量 *3/本体重量 *4	約25.8kg/約20.4kg

*1：用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*2：用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*3：本体および消耗品を含みます。オプション、用紙重量は含みません。
*4：本体のみ、消耗品を含みません。

外形寸法

平面図
425mm
側面図
988mm
211mm
561mm
345mm
339mm
オプション装着時
52mm
125mm
196mm
488mm
155mm

421mm
760mm

お問い合わせ窓口

どうしても操作がわからない、解決できない状態に陥った・・・というときは、お問い合わせ窓口へご相談ください。

お問い合わせの際は、次の点についてお知らせください

- ご氏名
- ご連絡先の電話番号
- 製品の機種名
- 製品のシリアルNo.
- 接続パソコン名称、ご使用のソフトウェアの名称およびバージョン
- 機器構成（プリンタ切り替え機電話回線・ネットワーク環境など）
- 現在どういう状態か
- どのような操作を行なったか
- プリンタの設定状態は（表示パネルの表示等）

さらに必要な場合

- 印字サンプル
- 設定内容リスト

インターネット・インフォメーション

各種ドライバ類・製品情報などを提供しております。
http://casio.jp/ppr/

製品の修理・メンテナンスに関するお問い合わせ

カシオテクノ株式会社　カスタマーコンタクトセンター

携帯電話・PHS 等をご利用の場合　03-5294-7330

製品の機能設定方法・ソフト障害に関するお問い合わせ

カシオテクノ株式会社　カスタマーコンタクトセンター

携帯電話・PHS 等をご利用の場合　03-5294-7252

消耗品やオプションのご購入に関するお問い合わせ

お買上の販売店及び弊社営業所または、下記までお問い合わせ下さい。

カシオ計算機株式会社
国内営業統轄部　システム企画部　MSP 企画室
TEL 03-5334-4638

<各窓口の受付時間>
月曜日～金曜日 AM9:00～PM5:30（土・日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く）
※弊社は消耗品および補修用性能部品（修理部品）を、生産終了後も5年間保有しております。

保証について

6ヶ月サービス無償保証とお願い

お客様へのお願い

万一の故障に関しまして、その対応をスムーズに実施するために、弊社ではお買い上げいただいたお客様の登録をさせていただいております。
大変お手数とは存じますが、ご協力の程、お願い申し上げます。

① 製品に同梱してあります「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、必ず設置時に投函をお願いいたします。

② カードが弊社に着信しだい「お客様登録」を実施し、弊社サービス部門より「保証書」を送付いたします。

保証書はプリンタご購入以後6ヶ月間、万一の故障に際し無償にて修理をさせていただくためのものです。保証書は再発行されませんので、大切に保管していただき、修理の際にご提示願います。
当保証書がない場合は、手続き中を除き有償修理とさせていただきますのでご了承ください。また、保証および保守・サービス・各問い合わせ窓口でのサポートは、本製品を日本国内でご使用になる場合に限らせていただきますのでご了承願います。

保証規定

本機は高度な電子技術と機械技術(メカトロニクス)および万全の品質管理の下で造られた製品です。
通常のご使用において、万一故障が生じた場合は、お買い上げの日より6ヶ月間無償修理いたします。
次の場合は無償保証期間内でも有償となり、修理に要した実費を申し受けますのでご了承ください。

(1)誤用・乱用による故障や取り扱い不注意による故障および損傷。
(2)火災・天災などの災害による故障および損傷。
(3)外装を開けた場合、不適当な修理や改造およびトナー、ドラムの消耗品の改造に起因する故障、損傷。
(4)接続している他の機器に起因する故障および損傷。
(5)ご使用中に、外装・操作パネル等に生じたキズなどの外観上の変化。
(6)移動および運搬によって生じた故障および損傷。
(7)「保証書」の提示がない場合、および本証に必要事項(お買い上げ日など)の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(8)用紙、ドラムトナーセットなどの消耗品、および定期交換部品。

- 無償保証期間経過後の修理は、実費にて申し受けます。
- 修理内容などの記録は、修理伝票にかえさせていただきます。
「保証書」は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものであり、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 弊社は消耗品および補修用性能部品(修理用部品)を、生産終了後5年間保有しています。

保守契約制度がありますので、カシオテクノ・コールセンターにお申し込みください。
ご不明な点などありましたら、お客様のご相談窓口としてカシオテクノ・コールセンターをご利用ください。(168ページ)

使用済みの消耗品の回収について

⚠注意

使用済みのドラムセット、トナーセット、転写ベルトユニット、定着ユニットは焼却しないでください。一部可燃性の部材を使用していますので、火災・やけど・ガスの発生など、思わぬ事故の原因になる事があります。

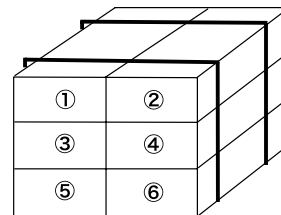
使用済み消耗品の無償回収について

カシオ計算機は、お客様でご使用済みとなりましたドラムセット、トナーセット、転写ベルトユニット、定着ユニットを、地球環境保全と資源の有効活用のために無料にて回収をしております。
弊社の環境保全活動にご協力賜りたく、ご案内申し上げます。

回収のお申し込み方法

ご使用済みのカシオ製ドラムセット、トナーセット、転写ベルトユニット、定着ユニット回収のご用命は、新しいドラムセット、トナーセット、転写ベルトユニット、定着ユニットに同梱の「消耗品回収申込書」に必要事項をご記入の上、ファクシミリでお送りいただくか、弊社ホームページにてお申し込みください。
後日、宅配業者が回収にお伺いいたします。(費用は弊社にて負担させていただきます)
回収申込ファクシミリ番号、回収申込ホームページなど、詳細は新しい消耗品に同梱の案内書をご覧ください。

お願い

お手数ですが、ご使用済みの消耗品は、新しい消耗品が入っていた梱包箱・ポリ袋・緩衝材を再使用し、元通りに梱包して宅配業者にお渡しください。
環境への負荷を極力低減するために、図のように4〜6個をまとめて、ガムテープなどでしばっていただきますようお願い致します。

やむを得ず、使用済み消耗品を処分されるときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

使用済みパソコン・プリンタ・情報通信機器の回収再資源化について

カシオ計算機はご使用済みとなりました事業系パソコン、プリンタおよび情報通信機器の回収・再資源化を有償にて行っております。
回収お申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

http://www.casio.co.jp/csr/env/recycle/pc.html

索　引

オ

カ

キ

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

テ

カシオ計算機株式会社
国内営業統轄部　システム企画部　MSP企画室

〒151-8543 東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4638

西日本地区	電話 06-6243-2100
中部地区	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道地区	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北地区	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国地区	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国地区	電話 087-864-3025
カシオ情報機器　九州地区	電話 092-475-3939
カスタマーコンタクトセンター	0570-066044
インターネット・ホームページ	http://casio.jp/

＊本書は再生紙を使用しています。

SPEEDIA V1500

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

2006年6月23日　第3版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

目次へ 戻る 前へ 索引へ 検索する

CASIO®

SPEEDIA V1500

ユーザーズマニュアル〈セットアップ編〉

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

T-845PB
MA0606-C